

新庁舎整備に向けた検討状況について

1. 「第10回品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会」について

(1) 日時 令和4年10月17日(月)午後2時から4時

(2) 内容 パブリックコメントの実施結果について

(意見提出者数118名:のべ344件) 別紙1参照

新庁舎整備基本計画(答申案)の検討 別紙2、3参照

(3) 主な意見

- ・ワンストップサービスの検討を着実に進めてほしい
- ・テレワークの推進に際し、庁外施設の機能の充実を合わせて検討してほしい
- ・これまでの策定委員会での議論が今後どのように反映されるか気がかりである
- ・これからの設計の段階でも、区民への周知・広報を続けてほしい
- ・将来を担う児童・生徒や20代の学生など、若い世代の意見聴取に工夫ができるとよい
- ・品川らしさ・広町らしさを反映していくにあたり外構の設計が重要と考える
- ・従来方式の採用を謳っているにもかかわらず、否定的に感じられる表現が一部ある
- ・ユニバーサルデザインの導入に関し「すべての来庁者が」とするより、「誰もが」のほうが職場で働く職員のことも含む表現としてより適切と感じる

2. 「第11回品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会」について

(1) 日時 未定

(2) 内容 新庁舎整備基本計画(案)の答申

「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」 へのパブリックコメント

期 間：令和4年8月1日～31日

意見提出者数：118名（344件）

区民の皆さまからいただいたご意見と区の回答一覧

	(意見数)	(掲載ページ)
1 基本計画全体について	32 件	P 1～
2 検討の経緯について	23 件	P 7～
3 導入機能の基本計画について	119 件	P 13～
4 施設計画について	55 件	P 34～
5 新庁舎の規模の整理について	13 件	P 43～
6 事業費・事業計画について	25 件	P 46～
7 その他	77 件	P 51～
	(意見数 344 件)	
意見原文		P 64～

※お寄せいただいたご意見のうち、複数の分野に該当するものは分割して掲載しています。

※ご意見は「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」の章立てに大きく区分しています。

※回答中に記載の「(POO)」は、「品川区新庁舎整備基本計画（答申案）」における掲載頁を示しています。

令和4年11月

品川区総務部

1 基本計画全体について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
全-1	区民への周知・意見の取り入れ	品川区役所新庁舎には反対。 住民に知らせないまま勝手に進めず、情報公開すべき。	71	新庁舎の整備計画については、これまでも広報紙や区ホームページ、各種SNS、ケーブルテレビやラジオなどを通して情報発信を凶ってきたところです。 区民の皆様への情報発信と意見募集については、今後も様々な方法と機会を活用しながら行ってまいります。
全-2	区民への周知・意見の取り入れ	合意形成をするなら、WS形式と説明会、意見交換会をたくさん実施してほしい。	17	
全-3	区民への周知・意見の取り入れ	周知の徹底もお願いする。	93	
全-4	区民への周知・意見の取り入れ	具体的な説明会（インタラクティブな）をより多く開催する。高齢者に対してはHPやSNSは使用できないと思われるので、別の方法を検討して多くの意見を収集して活用してもらいたい。	28	
全-5	区民への周知・意見の取り入れ	新庁舎の計画及び、隣接する区事業のにぎわい施設に関しては、住民参画の機会を増やしてもらいたい。	132	
全-6	区民への周知・意見の取り入れ	万が一、建て替えるとして、区民に相談なく場所等を決め、説明だけすればいいという対応の仕方はいかがなものか。	88	
全-7	区民への周知・意見の取り入れ	計画は全て「そう考えている」という内容であり、具体化されていないのでイメージできない。個々の施設・機能について区民に広く要望を求め、具体化するべき。	87	「基本計画」は、令和3年度に策定した「基本構想」を踏まえ、建物配置や動線、ゾーニング計画、建物性能などの施設計画を示すものです。個々の施設・機能については、次のステップである基本設計において具体化を進めます。 区民の皆様への情報発信と意見募集については、今後も様々な方法と機会を活用しながら行ってまいります。
全-8	区民への周知・意見の取り入れ	説明会では、いろいろな意見がでた。解決は急がない。	82	本パブリックコメントや説明会などで皆様からいただいた多くの意見を勘案しながら、区として基本計画を策定していきます。

1 基本計画全体について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
全-9	区民への周知・意見の取り入れ	是非、新庁舎を利用する当事者、当事者団体へのヒアリングの場を設けるべき。トイレ、エレベーター、庁舎内の動線、構造化など、完成してしまってからでは遅い。	117	障害者をはじめとした区内団体・個人からのご意見については、今後の設計段階でも幅広く伺ってまいります。
全-10	区民への周知・意見の取り入れ	たくさんの区民からの意見を聞いた形にしてほしいので、あらゆる年代に合った説明会を企画するべき。基本設計の前に利用者（障害者）の意見が反映される説明会等の企画はあるのか。	108	
全-11	区民への周知・意見の取り入れ	新庁舎の基本設計をするにあたって障害者団体の意見を聞いてもらいたい。また、新庁舎構想委員に障害者団体からも代表者を参加させてもらいたい。	119	
全-12	区民への周知・意見の取り入れ	新庁舎の基本設計をするにあたって障害者団体の意見を聞いてもらいたい。また、新庁舎構想委員に障害者団体からも代表者を参加させてもらいたい。	61	
全-13	区民への周知・意見の取り入れ	新庁舎の基本計画を策定するにあたって品川区の主要な障害者団体から個別にヒアリングを行ってほしい。障害者区民の代表的意見が基本計画に反映されにくいという問題点がある。これから基本設計をするにあたって、障害者団体代表者を委員に選定し、障害者区民の意見を今以上に新庁舎施策に反映できるようにしてほしい。	121	
全-14	区民への周知・意見の取り入れ	新庁舎の検討には障害当事者の意見を取り入れてもらいたい。	128	
全-15	区民への周知・意見の取り入れ	近々実施予定の「品川区障害者計画」「品川区障害福祉計画・障害児計画」の実態・意向調査の際、新庁舎への要望に関する質問や自由記述欄を設けてほしい。	61	「品川区障害者計画」および「品川区障害福祉計画・障害児計画」の実態・意向調査については、当該計画の策定を目的に実施されるものです。新庁舎整備に係る要望や質問については、新庁舎整備課まで直接お問い合わせいただくか、区ホームページの「電子意見フォーム」をご利用ください。

1 基本計画全体について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
全-16	区民への周知・意見の取り入れ	都度ごとに、計画の進捗状況を開示してほしい。	20	設計段階においても、広報誌や区ホームページをはじめ、各種SNSなど様々な方法で区民の皆様へ情報を発信します。
全-17	区民への周知・意見の取り入れ	パブリックコメントの実施時期の問題ですが、現在は基本計画段階で行われている。区民にとってこれだけの大事業であるから、区民の意見をより取り入れるために、パブリックコメントは、基本構想段階にて行われるべきではなかったか。この疑問について、回答、公表してほしい。	138	基本構想段階においても、令和3年10月にパブリックコメントを実施し、令和4年1月に結果を公表しております。区ホームページからご覧いただけます。
全-18	区民への周知・意見の取り入れ	策定委員会の議事録および検討された資料・情報を区民に公開すべき。	99	区ホームページにおいて、毎回策定委員会の資料および議事録について公開しています。また、当日の議論の内容などをまとめた「新庁舎整備ニュース」を、区内各地域センター、図書館や文化センターなどに設置しています。
全-19	区民への周知・意見の取り入れ	策定委員会の方々は公募区民も含め、本委員会が終了するまでまったく同じメンバーで行われるのか。広く区民に意見を求めるという観点から短い任期で交代し、新しい意見を取り入れることにより斬新なアイデアを取り込める考えはないのか。策定委員会の在り方とともに、メンバーの在り方について考えて結果を回答、公表してほしい。	138	「品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会」の委員については、「委員名簿」(P65)に示すとおりです。なお、「設置要綱」(P63)に基づき、区長の諮問にかかる答申の日をもって、その任期を終えます。
全-20	建て替え反対	基本計画(素案)に反対である。将来(20~30年後)人口減少が確実であり、そういう中で区内では高層ビル建設計画が増えている。将来空室が増えて、高層ビルの廃墟化が予想される。街づくりは永いレンジで考えるべき。	73	本庁舎は、築54年が経過し、建物だけでなく設備の老朽化も進行しており早急な対応が求められています。また、DX推進による区民の利便性向上や業務の効率化など新たな要望や将来の社会情勢の変化に対応するためにも、長期的な視点を持って、新庁舎整備の検討を進めることが重要であると考えます。
全-21	建て替え反対	素案について、基本的に現段階での建築は必要がない。	49	将来的に余剰スペースが生じた場合は、区民の方々が利用できるスペースや、多目的に活用できるスペースとなるようフレキシブルな対応ができる設計を進めていきます。
全-22	建て替え反対	耐震工事をしたばかりの今、建て替えるのは疑問である。	88	

1 基本計画全体について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
全-23	建て替え反対	新庁舎整備理由として、防災対応、ICT化対応では、新庁舎に速やかに移らなければならない理由が見当たらない。現状のICTでも、技術進歩のたびに端末側の負荷が軽く、大きさも小さくなっている。大規模な機器導入をする必要はない。機器導入により利便性が増すのは当たり前であり、区民の生活が苦しい状況下では、予算を掛けず現庁舎でいかに区民のための利便性を向上できるかに焦点をあてるべきと考える。これについても速やかに区民に説明すべき。	99	<p>本庁舎は、築54年が経過し、建物だけでなく設備の老朽化も進行しており早急な対応が求められています。また、DX推進による区民の利便性向上や業務の効率化など新たな要望や将来の社会情勢の変化に対応するためにも、長期的な視点を持って、新庁舎整備の検討を進めることが重要であると考えます。</p> <p>将来的に余剰スペースが生じた場合は、区民の方々が利用できるスペースや、多目的に活用できるスペースとなるようフレキシブルな対応ができる設計を進めていきます。</p>
全-24	建て替え反対	コロナ禍で区民は苦しんでいる。新庁舎の前に急いで区民の為にやる事があるのではないか。	31	
全-25	建て替え反対	新庁舎建設に反対する。区民が経済的に苦しい中、400億円以上もかけるのは反対である。	32	
全-26	建て替え反対	今の経済状況では、コロナ対策や医療、暮らしの対策にお金をかけた方がいいのではないか。JRに便宜を図り、儲けるための開発ではないか。	14	

1 基本計画全体について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
全-27	高層化に反対	地震や災害時にエレベーターがとまらないか心配であるため、建物の高層化には反対である。作るなら図書館や保育園や美術館など、区民の生活を豊かにするものを併設してほしい。	7	新庁舎において求められる機能を整備するには、建設予定地（P32）の敷地条件を考慮すると、一定程度の高さが必要と考えています。 地震発生時のエレベーターについては、最寄階に自動的に停止して扉を開放し、利用者の避難を促すことのできる計画とするほか、自動診断・復旧機能の導入も検討していきます。なお、新庁舎は行政機能を集約した施設とするため図書館、保育園や美術館などを整備する予定はありません。
全-28	高層化に反対	新庁舎は低層がよい。	95	
全-29	高層化に反対	超高層は希望しない、低層を望む。	108	
全-30	高層化に反対	超高層ビル区役所のデメリットの説明が足りない。	139	新庁舎において求められる機能を整備するには、建設予定地（P32）の敷地条件を考慮すると、一定程度の高さが必要と考えています。 低層建物と比較し、高層建物のデメリットとしては、縦移動に時間を要することがあげられます。新庁舎においては、「ゾーニング計画の考え方」（P42）に示すように、窓口や協働・交流スペースなど区民の皆様の利用が多い機能を低層階に集約し、利便性向上を図ってまいります。

1 基本計画全体について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
全-31	高層化に反対	高層化するとビル風もひどくなるので、周辺環境にも配慮してほしい。	11	新庁舎において求められる機能を整備するには、建設予定地（P32）の敷地条件を考慮すると、一定程度の高さが必要と考えています。 今後の設計段階で風洞実験を実施し、建物に起因する風環境の変化を確認します。その結果を踏まえて、現状の風環境に配慮した計画としていきます。
全-32	高層化に反対	本当に今400億円（もっとかかる）かけて高層の新庁舎を建てる必要があるのか。 温暖化、自然災害（特に地震）を考えて高層の建て物はこれ以上必要ない。 ビル風でお年寄、子どもはたおされそうで町を歩くのもこわい。 建て替えるのであれば現庁舎を利用した低層の、人にやさしい行きたくなる庁舎を望む。	136	

2 検討の経緯について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
①-1	これまでの経緯	事業計画では、令和4年度内に基本計画の策定を完了する予定となっているが、品川区は10月に区長選挙が予定され、新区長が誕生後、すぐに基本計画が決まる運びでは、新区長が計画に関与する時間がない。選挙があることを勘案し、令和5年度上期まで計画策定を伸ばし、発注時期もこれに合わせて先延ばしすべき。	81	「これまでの経緯」(P2)に示すように、令和3年度に策定した「基本構想」および今回の「基本計画(素案)」については、これまで「品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会」において検討を進めてきました。今後、本策定委員会で議論された内容を踏まえて区として基本計画を決定するとともに、現庁舎における課題(P4)を解決するために、早期の新庁舎建設を目指す考えです。
①-2	これまでの経緯	「新庁舎整備」の必要性について、広報しながら2022年8月1日付P3には「区を取り巻く環境の変化や多様化する行政への要望に対応する庁舎の機能が求められていることから」と記されている。具体的にいつこの誰にどんな要望があったのか事例と実名を明記して公表して貰いたい。	100	令和3年度に「基本構想」の策定に向けた区民アンケート(2,500名の区民を無作為抽出)を実施したところ、90%の方が「ICTの活用による窓口サービスの充実や業務の効率化」を求めています。また、同アンケートにおいて現庁舎の課題を尋ねたところ、庁舎内の移動や動線の面に不満を持たれている区民が70%以上を占めていました。なお、これらのアンケート結果については、区ホームページで公開しております。
①-3	これまでの経緯	「品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会」で検討を進めていると記されているが、「基本計画策定委員会」の委員はいつ・誰が・何を基準に決めたのか全く不明である。その経過も明らかにして貰いたい。区は区民の共有財産の処分に係る事であるを重く受け止め全区民に信を問うべき問題である。大井町駅に近い方の土地をJR東日本に譲渡するのは区民の利便性や区民が望む施設を考慮しない姿勢が顕著であると思わざるを得ない。JR東日本とは一線を画し、区は区民の求めている施設の拡充に最優先課題として取り組むべき。	100	区ホームページにおいて、毎回策定委員会の資料および議事録について公開しています。広町地区における各機能の配置は、令和2年に策定した「大井町駅周辺地域まちづくり方針」に位置付けられており、この方針に沿って整備を進めていきます。

2 検討の経緯について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
①-4	これまでの経緯	区民からの賛意が求められていない。きわめて残念なのは、本計画が前区長選の公約では触れられなく、かつ次期区長選の前に通そうとしているのがあからさまなことである。単に金額だけでなく、品川区民全員にとって防災・福祉・情報において適切な計画であるのか、品川区として責任を果たしているようには思えない。	102	「これまでの経緯」(P2)に示すように、令和3年度に策定した「基本構想」および今回の「基本計画(素案)」については、これまで「品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会」において検討を進めてきました。今後、本策定委員会で議論された内容を踏まえて区として基本計画を決定してまいります。
①-5	上位計画等との関連(大井町駅周辺地域まちづくり方針)	大井町駅前の広大な用地は、商業・経済の活性化に最適な場所であると思われる。区役所が立地するよりも、商業施設や企業誘致に活かすべき。	35	<p>広町地区における各機能の配置は、令和2年に策定した「大井町駅周辺地域まちづくり方針」に位置付けられており、この方針に沿って整備を進めていきます。</p> <p>なお、現庁舎における機能分散によるわかりにくさを解消するため、新庁舎では機能集約を図ります。</p>
①-6	上位計画等との関連(大井町駅周辺地域まちづくり方針)	新庁舎が運用開始したあとに現庁舎は取り壊されると聴いている。付近住民に対して行われたJR東日本による説明では、既存の同社の土地と合わせ、ホテル、賃貸住宅、商業施設、などが計画されている。現庁舎の土地と交換用意される新庁舎用の土地は、①果たして土地評価上、等価交換に値する地価か。②JR東日本の開発に便宜を図っているのではないか。疑念を持たざるを得ない。	99	
①-7	上位計画等との関連(大井町駅周辺地域まちづくり方針)	コロナ禍のあと働き方が大きく変化しつつあり、計画立案した今までとこれからの変化の曲がり角にあって、庁舎を含めた近隣の街づくりにどう変化・発展していくのか、庁舎とそれを取り巻く全体を一体として理解していくようにしたい。	84	
①-8	上位計画等との関連(大井町駅周辺地域まちづくり方針)	できるだけ大井町駅近くに建替え用地を交換するようになることはできないのか。多額の税金を使うのだからこそ、区民の意見を取り入れ、より行きやすく、使いやすいものにしたい。	88	

2 検討の経緯について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
①-9	上位計画等との関連（大井町駅周辺地域まちづくり方針）	新庁舎単独の計画とせず、広町地区全体をひとつのまちとして計画すべき。100年に一度の大事業となるので、全国に誇れるまちづくりをしてほしい。	20	<p>広町地区における各機能の配置は、令和2年に策定した「大井町駅周辺地域まちづくり方針」に位置付けられており、この方針に沿って整備を進めていきます。</p> <p>なお、現庁舎における機能分散によるわかりにくさを解消するため、新庁舎では機能集約を図ります。</p>
①-10	上位計画等との関連（大井町駅周辺地域まちづくり方針）	土地交換されたあとの現庁舎跡地には JR東日本が賃貸住宅やホテル、アリーナを建てることを付近の区民に説明している。これらの事業は同社の公共性のある鉄道、運輸事業とは関係がないとともに、品川区と土地等価交換がなされることが前提で、新庁舎と一体の開発事業といえる。新庁舎整備については、JR東日本の事業と切り離し、高層化の計画を断念し、ゼロベースで考え直す事を表明していただくとともに区民に確約してほしい。	99	
①-11	上位計画等との関連（大井町駅周辺地域まちづくり方針）	先ず、広町にあった区の土地につくらないのかという点がある。出来るだけ駅前に造ってほしい。区役所は大勢の区民が利用する場所なので、出来るだけ便利な場所につくるべき。	122	
①-12	上位計画等との関連（大井町駅周辺地域まちづくり方針）	区有地とJR東日本の土地を交換する理由の説明がされていない。駅に近い区有地は区民がもっとも望む利用方法として活用すべきもの。今回の計画は白紙に戻し、区民の意見を聞くことから始めるべき。	139	
①-13	上位計画等との関連（大井町駅周辺地域まちづくり方針）	土地区画整理事業ありきではないか。しかも対象がJR東日本と限られている。複数の案を検討すべきである。	99	

2 検討の経緯について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
①-14	上位計画等との関連（大井町駅周辺地域まちづくり方針）	8月28日に荏原スクエアで配布された資料においては、基本理念、基本方針について述べられているが、基本となる「新区庁舎はどこにあるべきか」について区民に広く意見を求めたような記載はない。「新区庁舎はどこに建てられるべきか」について広く区民のアンケートをとった形跡がない。今なら間に合うので、最優先で「新区庁舎はどこに建てられるべきか」の意見を集め、取り入れたのち「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」を組みなおすべきと考える。	138	広町地区における各機能の配置は、令和2年に策定した「大井町駅周辺地域まちづくり方針」に位置付けられており、この方針に沿って整備を進めていきます。 なお、現庁舎における機能分散によるわかりにくさを解消するため、新庁舎では機能集約を図ります。
①-15	上位計画等との関連（大井町駅周辺地域まちづくり方針）	品川区の再開発は都内でも目立って多いと聞いている。今回の新庁舎整備計画が大井町駅周辺の再開発の呼び水として企まれているとも聞いている。そこに住んでいる、営業している一人ひとりには、かけがえのない生活がある。再開発の名の下に生活を踏み潰していく。未来の区民にこのような計画を引き継ぐわけには断じていかない。	140	「大井町駅周辺地域まちづくり方針」では、大井町駅周辺の将来像として「生活のステージとして人々が集い楽しく安全に暮らすことができるまち」を掲げており、コンセプトの一つに「時代をつなぐ」と示しています。 新庁舎整備にあたっては、広町地区内の開発関係者と連携しながら、多様な区民の生活の場としてのまちづくりを進めていきます。
①-16	上位計画等との関連（品川区まちづくりマスタープラン）	品川区の住民から空を奪い取らないでいただきたい。 この計画の完成図を見ると高層ビルオフィスと高級住宅、ホテルが入り、劇場・ホールのようなものが加わる。文化は感じられず、軽薄な虚しさがそびえ立つ。大井町駅周辺は広大な空を見渡せる稀有な地域だ。国民の共有財産・区民の共有空間を巨額の税金を使って醜悪な建造物で埋め尽くすのは野蛮極まりない行為だ。未来の区民にこのような計画を引き継ぐわけにはいかない。	140	「品川区まちづくりマスタープラン」では、大井町駅周辺を「区の中心地」と位置づけ、広町地区においては土地利用転換による機能更新を進め、多様な機能の集積を図り、ポテンシャルを活かした新たな開発事業を促進していくこととしています。また、快適な歩行者ネットワークや豊かなみどりの形成も定めており、地区ごとに適切な役割を担い地域全体として多様な区民の生活の場を整備していくこととしています。

2 検討の経緯について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
①-17	周辺地域 ・周辺開発	広場1号の部分にスポーツ関係の施設を設けることは、可能か。 屋外の平面施設はできるのではないか。 子どもたち、高齢層のスポーツ環境を整えてほしい。 スポーツを管理する、指導員の勉強の場もほしい。	33	広場1号は「広町地区地区計画」では、にぎわいと潤いのある緑豊かな広場とし災害時には行政機能やしながわ中央公園と連携した防災拠点として活用すると定められており、この方針に基づきJR東日本が整備します。
①-18	基本理念	区民が来庁しやすい雰囲気にしてほしい。	16	基本理念（P5）に示すように『にぎわい都市』の魅力をつなぐ明るく親しみやすい庁舎とすることを理念としています。
①-19	基本理念	基本理念の「にぎわい都市」、「国際都市」は本当に区民が望んでいるものとずれている気がする。	16	区が目指すべき将来像を踏まえ、品川区らしい新庁舎整備の基本理念としています。
①-20	基本理念	「国際平和・人権尊重」都市宣言品川にふさわしい新庁舎を目指してもらいたい。	58	基本理念・基本方針（P5）を実現し、非核平和都市品川宣言、人権尊重都市品川宣言にふさわしい新庁舎を整備していきます。

2 検討の経緯について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
①-21	基本理念	品川区庁舎の建替えについては、隣接の広町二丁目のJRサイドの開発と併せてこれまでも幾たびか目にしてきた。大井町駅周辺地域まちづくり方針あたり二年程前から、公表の機会のたびに少しずつ細部が見えるようになってきたが、やはり今回もそこに新鮮味や意外性、つまり個性的な魅力・オリジナリティを感じることはできなかった。言い換えれば想定された範囲内に位置する内容である。	110	
①-22	基本理念	説明会資料では、日本のどこの庁舎でも考慮すべき項目の羅列となっている。品川の広町地区の歴史的な記憶や風土や経済活動も他の地域と何が異なるのか、また、大井町の品川区の中での位置づけ、品川区は東京都の中でどのような立ち位置にあるのか、それらを読み込んでどのように計画に反映しているのか。このままでは他の再開発と何ら変らないまちになってしまう。品川区が主導して広町地区の開発全体を俯瞰して、何処とも違う、ここにしかないまちをつくってほしい。そのためにも区民への分かり易い説明を繰り返しながら計画を進めてほしい。	103	「3つの基本理念」(P5)に示す庁舎像は、「品川区長期基本計画」をはじめとした関連する上位計画や区民アンケートの結果を踏まえて設定しました。基本理念を具体化する整備内容は「導入機能の整備方針」に示していますが、今後の設計段階で更に検討を深め、“品川らしさ”を感じられる建物を整備したいと考えています。 また、広町地区全体においても、開発関係者と連携し、品川区の歴史や文化などを踏まえた魅力的なまちを形成できるよう検討していきます。
①-23	基本理念	JR東日本の開発(商業・ホテル等)に合せた一体の事業計画になっているのではないかと。JR東日本の計画と切り離して区民の声を聴き、事業計画をゼロベースで検討しなおすべき。	85	

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-1	区民協働・交流	庁舎建物内に、「喫茶店」もしくは低価格でコスパの良い「カフェ」を入居させてほしい。コンビニエンスに併設する広めのカフェスペースでも良いし、庁舎内に「着席できる」カフェスペースがあるととても助かる。	52	レストラン、食堂やカフェなどの飲食スペースは、現庁舎の利用実態や周辺の整備状況などを踏まえ検討していきます。
②-2	区民協働・交流	区民の方にも広く解放できる品川食堂を作ってほしい。	47	
②-3	区民協働・交流	他区の食堂のように最上階で見晴らしの良い席で食事したい。屋上部分にテラス席などがあると区民の憩いの場になる。一階には、区民がひと休みする場として、カフェなど誘致してほしい。見やすいところに、電光掲示板などがあると順番待ちで呼ばれたのがわかって便利だと思う。	135	
②-4	区民協働・交流	手続き等が終わった後、庁舎内で休憩が出来るカフェ（民間経営でも良い）を作ってほしい。	78	
②-5	区民協働・交流	食堂運営については、抜本的な見直しを行い、地域住民の食への関心を高めるとともに、特に学校給食のない夏休み期間中等に区内の「子ども食堂」の機能の役割を果たし、園児・児童・生徒等に食事の提供が可能になるサービスを実施してほしい。 新型コロナウイルス対策の課題の一環として自宅療養者への食事配布支援センターとしての運営をお願いする。上層階に展望ロビー室を創設し、そのコーナー内に食堂の設置をお願いしたい。	58	
②-6	区民協働・交流	食堂をレベルアップして見たことのないような食を楽しむ場所にしてほしい。	67	

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-7	区民協働・交流	今の庁舎のような屋上開放、食堂の開放なども検討すべき。	69	レストラン、食堂やカフェなどの飲食スペースは、現庁舎の利用実態や周辺の整備状況などを踏まえ検討していきます。
②-8	区民協働・交流	レストラン、カフェの充実。	94	
②-9	区民協働・交流	展望レストランやカフェなど区民が手頃な料金で利用できるお店が庁内にあると良い。できれば大手チェーンのカフェではなく、福祉施設が運営するようなコミュニティカフェが望ましい。	101	
②-10	区民協働・交流	コンビニやレストランを併設するほか、きれいなトイレを整備する。	4	
②-11	区民協働・交流	高層の新庁舎は眺望も良さそうであり、美味しい展望レストランを併設してほしい。	46	
②-12	区民協働・交流	子どもが遊べるフロアを是非検討頂きたい。区役所で色々なイベントを開催することも、区政の関心に繋がるので、そのような区民が集う場所にしてほしい。	19	イベントなどが開催できるスペースについては、整備方針「協働・交流機能」(P12)に基づき、低層階に設ける協働・交流スペース内に導入を計画しています。
②-13	区民協働・交流	子供連れでも気軽に利用できる、フリースペースや公園のような場所を作ってほしい。	45	
②-14	区民協働・交流	大井町には子供が遊べる室内施設が少ないので、赤ちゃんから小学生くらいまでが遊べる場所があると助かる。	112	子どもたちが楽しめる場については、他の来庁者にも十分配慮しながら、低層階に設ける協働・交流スペースや屋外の敷地内空地において導入を検討していきます。
②-15	区民協働・交流	災害に強く、住民が使いやすい庁舎として、デザインの工夫もして区民の憩いの場、子供たちが楽しめる場となることが望ましい。	24	

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-16	区民協働・交流	キッズコーナー、高齢者コーナーや、区内の小・中・高・大学の情報掲示、在学生の為の相談室の設置、区内の外国大使館のイベント情報等の提供。	94	様々な属性の方が交流できるスペースや情報発信スペースについては、整備方針「情報発信機能」および「協働・交流機能」(P12)に基づき、低層階に設ける協働・交流スペース内での導入を検討していきます。
②-17	区民協働・交流	広場はカフェの誘致や全天候に対応できる屋内休憩スペースも設置して、わざわざ遊びに来る魅力を作してほしい。	1	カフェなどの飲食施設や屋内休憩スペースなどについては、整備方針「協働・交流機能」(P12)に基づき、低層階に設ける協働・交流スペース内での導入を検討していきます。
②-18	区民協働・交流	ちょっと立ち寄った区民に、新庁舎内に一時休憩スペースを設置してほしい(特に外気温が著しく高い時などの一時避難、またスマートフォンなどの充電スペースの設置)。	83	
②-19	区民協働・交流	区民が利用できるレストラン、展望室等を上層階にほしい。	97	レストラン、食堂やカフェなどの飲食スペースは、現庁舎の利用実態や周辺の整備状況を踏まえ検討していきます。展望スペースについては、廊下や待合空間のスペースと兼用するなど、面積の有効利用とセキュリティ区分に配慮しながら整備に向けて検討していきます。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-20	区民協働・交流	人寄せのアリーナを造ってもそれなりの集客力のある施設は、都内各地・隣接区にも十分存在している。それよりも区民が廉価でいつでも活用できる小会議室・楽器練習室等の充実した施設を望みたい。	100	会議スペースや区民の活動スペースについては、低層部に配置する協働・交流スペース内での整備を検討していきます。(P12)
②-21	区民協働・交流	区民の交流の場として会議室（中・小）がほしい。	97	
②-22	区民協働・交流	将来の品川像、或いは直面する行政諸課題を解決・検討するための品川区独自のシンクタンクの常設の機構を設立する。有識者・区民・業界団体関係者等の横断的な会議を設置する。そのための特設の会議室を創設し、地域住民も自由に利用できるようにしてほしい。	58	
②-23	区民協働・交流	区立学校の生徒や区民の作品を掲示や展示するスペースを作ったり、憩いのスペースや展望室、区内のお店の商品を販売するスペースを作ってみてはどうか。	47	
②-24	区民協働・交流	生涯学習教育を充実するために、IT装置を具備した会議室・集会室・サークル室を設置して、「憩いの場」「集いの場」「学習の場」を提供してほしい。	58	
②-25	区民協働・交流	中学生や高校生が、しずかに勉強できる場所、自習室を設置してほしい。	131	

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-26	区民協働・交流	新庁舎にアールブリュット専用のミニギャラリーを新設してほしい。	61	ミニギャラリー（演奏スペース）にも活用できる協働・交流スペースの整備を検討していきます。（P12）
②-27	区民協働・交流	新庁舎にアールブリュット専用のミニギャラリーを新設してほしい。	119	
②-28	区民協働・交流	品川区は先進性と古き善き雰囲気が残る住みやすい街である。歴史も古く区内には複数の文化団体がある。新庁舎に楽器を演奏・練習できる場があると良い。	70	
②-29	区民協働・交流	地域振興を図るためにも自治体と多様な各種協定を結び、各地の特産物・農産物・海山産物の産地直送の販売スペースを新庁舎内に作ってほしい。	58	販売スペースについては、低層部に配置する協働・交流スペース内での整備を検討していきます。（P12）
②-30	区民協働・交流	生活相談スペースや区民協働スペースがほしい。	16	整備方針「相談機能」（P11）および「協働・交流機能」（P12）に基づき、区民の皆様が利用しやすい低層階を中心にスペースを整備します。
②-31	区民協働・交流	図書館の本の貸し出しと返却窓口も設置してほしい。	55	ご意見として承ります。
②-32	区民協働・交流	幼稚園、保育園の情報館。	137	幼稚園、保育園の情報スペースについては、低層部に配置する協働・交流スペース内での整備を検討します。（P12）
②-33	ユニバーサルデザイン	誰にでも優しい新庁舎になることを期待する。	13	整備方針「ユニバーサルデザイン」（P28）に基づき、すべての来庁者が不自由なく利用できるよう、ユニバーサルデザインに配慮した計画とします。
②-34	ユニバーサルデザイン	小さなお子さんを連れの子育て関連窓口や身体の不自由な方、高齢者関連の窓口は、出来るだけ区役所の出入りに近い所にできないか。	47	建築計画「ゾーニング計画の考え方」（P42）に示すように、窓口は、道路や歩行者デッキより通じる建物出入口から近い位置に集約配置する計画です。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-35	ユニバーサルデザイン	庁舎の出入口は4方向（4面）だと住民は利用しやすい。	21	出入口については、道路や歩行者デッキから安全に出入りができる位置に複数箇所設ける計画とします。
②-36	ユニバーサルデザイン	庁内の案内、表示などは高齢者にも分かりやすいように。カタカナ言葉には、日本語も付けてほしい。	21	整備方針「ユニバーサルデザイン」（P28）に基づき、多言語対応のデジタルサイネージや音声誘導装置も併用しながら、障害者や高齢者、外国人などのすべての利用者を円滑に誘導できる設備の導入を検討していきます。
②-37	ユニバーサルデザイン	外国人専門、専用受付の設置。	94	
②-38	ユニバーサルデザイン	現庁舎には外国板案内図が少ない。	137	
②-39	ユニバーサルデザイン	バリアフリーはもちろん、分かりやすい表示をお願いします。	101	
②-40	ユニバーサルデザイン	各階に案内図を置けば良い。	137	来庁者が迷うことなく目的の部署に向かえるよう、案内図も併用したわかりやすいサインを整備します。
②-41	ユニバーサルデザイン	安全性の保たれた鍵付きの授乳室やおむつ替えスペースを複数箇所整備する。	6	授乳室やおむつ替えスペースについては、今後の設計段階で詳細に検討していきます。
②-42	ユニバーサルデザイン	赤ちゃんコーナーを創設して、明るく清潔感のある授乳室をお願いします。	58	乳幼児連れの来庁者の利便性に配慮し、子育て関連窓口などのカウンターのすぐ横など、目の届きやすい場所に授乳室やキッズスペースを設けます。
②-43	ユニバーサルデザイン	段差をなくし、転倒しにくい素材を使う。	54	整備方針「ユニバーサルデザイン」（P28）に基づき、利用しやすい庁舎を目指して、今後の設計段階で詳細に検討していきます。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-44	ユニバーサルデザイン	新国立競技場に設置された「介護などによる異性付添利用対応」のトイレ、「待機者への付添利用対応」のトイレの設置もお願いします。 「カームダウン・クールダウンスペース」の設置をお願いします。有明アリーナ、新国立競技場、羽田・成田・旭川空港等に設置されている。知的障害のある方だけでなく、発達障害、精神障害、認知症のある方や乳幼児が、慣れない視線・音・光等の刺激に過敏に反応してしまった時に、気持ちを落ち着かせる場として設置をお願いします。	117	トイレについては、整備方針「ユニバーサルデザイン」(P28)に基づき、多様な利用者のニーズに配慮した計画とします。 カームダウン・クールダウンスペースについては、だれもが安心して来庁できるよう、今後の設計段階で設置を検討していきます。
②-45	ユニバーサルデザイン	トイレ等洗面施設については、十分な数を確保するとともに、衛生的で機能性の高い設備にしてほしい。	58	トイレなどの洗面施設については、フロアごとの想定使用人数に応じて十分な器具数を確保します。整備方針「ユニバーサルデザイン」(P28)に基づき、だれもが使いやすく、衛生的な設備を導入します。
②-46	ユニバーサルデザイン	生理用ナプキンがもらえる機械(オイテル等)を設置してほしい。	37	生理用品の配付は、現在区施設6か所でも実施しています。機器については、整備方針「ユニバーサルデザイン」(P28)に基づき、トイレ内などへの設置を検討していきます。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-47	区民サービス	案内係の方がとても効率的でありがたい。移転しても同じかそれ以上のサービススピードを保てるよう、ハード面でもソフト面でも工夫してほしい。	55	<p>整備方針「窓口機能」(P9)に基づき、手続内容や区民の皆様のニーズに応じて、利便性を考慮した「ワンストップサービス」を導入を検討していきます。スマートフォンやタブレットの活用により、「申請書類の簡略化や統合」も進めていくなど、更なるサービス向上に努めます。また、区役所以外で発行できる証明書類についても、区民の皆様の要望を踏まえて拡充を検討しています。</p> <p>オンラインによる相談については、きめ細やかな対応が可能な従来の対面方式を主としながら、相談内容に応じて導入を検討していきます。</p> <p>なお、「ゾーニング計画の考え方」(P42)は、現段階でのイメージです。利用者の利便性向上に配慮し、今後の設計段階において総合的に配置を検討していきます。</p>
②-48	区民サービス	I T化を進めて待ち時間を削減してほしい。	64	
②-49	区民サービス	障害者が区役所で各種申請をする場合に申請窓口をワンストップに（窓口のたらいまわしをなくす）してもらいたい。	119	
②-50	区民サービス	転入届や身体障害者の転入手続き等可能な限り同じ場所で、同じ書類もしくはタブレットを用いて必要最低限の書面記載でできるようにしてもらいたい。	25	
②-51	区民サービス	<p>障害者についてもワンストップ行政サービスにより、複数の窓口に戻らなくとも、一つの窓口による一人の担当により、すべて済むようにできないか。</p> <p>保健所と保健センターが中層階にゾーニングされている。障害者がエレベータやエスカレーターを使用しなくても済み、庁舎窓口でのワンストップサービスを実現することは大切なこと。</p> <p>さらに、DX、オンライン化などにより外出回数を減らせないか。</p>	107	

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-52	区民サービス	区民の多くが年何回区庁舎を訪問するか。区庁舎の窓口を整備するよりもICT化により各地域センター、文化センターなど区民に身近な施設や区民のパソコン、スマートフォンなどで行える区民サービスを充実する方法はないか。果たして証明書類を紙でかつ区庁舎で発行する必要があるのか、税や保険料の納付をキャッシュレスで行えるなら区庁舎の窓口で行わなければならないのか。相談はオンラインでできる部分はないか、区の職員が逆に地域センターに出向くなど、方法はないか。	99	整備方針「窓口機能」(P9)に基づき、手続内容や区民の皆様のニーズに応じて、利便性を考慮した「ワンストップサービス」を導入を検討していきます。スマートフォンやタブレットの活用により、「申請書類の簡略化や統合」も進めていくなど、更なるサービス向上に努めます。また、区役所以外で発行できる証明書類についても、区民の皆様の要望を踏まえて拡充を検討しています。 オンラインによる相談については、きめ細やかな対応が可能な従来の対面方式を主としながら、相談内容に応じて導入を検討していきます。 なお、「ゾーニング計画の考え方」(P42)は、現段階でのイメージです。利用者の利便性向上に配慮し、今後の設計段階において総合的に配置を検討していきます。
②-53	区民サービス	窓口の待ち時間がわかる「番号表示モニター」の他に、QRコードから携帯電話で自分の順番がわかるものがあると便利である。こちら豊島区で採用されている。待っている時に、トイレや授乳、飲み物を買ったり、子どもが暴れてしまったりなど子供の都合で席を外す時等に助かった。	123	「番号表示モニター」や待ち状況を確認できるシステムに加えて、「事前申請システム」の整備や証明書発行窓口「クイック発行窓口」を設けることで、区民ニーズの高い申請や証明書発行手続きなどについて、より迅速に対応できるように導入を検討していきます。
②-54	区民サービス	窓口での待ち人数がわかる「番号表示モニター」の設置を。知的障害のある方は、一人で留守番出来ない方もいて、どうしても一緒に来庁しなくてはならないこともある。もし、受付番号がQRコードでの読み取りで待ち状況がわかれば、庁舎を出て公園や店舗等で待つこともできる。	117	
②-55	区民サービス	オンラインでの窓口相談は時間予約の他に、窓口のように予約無しで順番待ちもできるような仕組みがあると便利になる。	123	

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-56	区民サービス	障害者が区役所で各種申請をする場合に申請窓口をワンストップに（窓口のたらいまわしをなくす）してもらいたい。現庁舎の福祉関係の窓口は、簡単な仕切りがあるものの相談内容が筒抜けで、プライバシーへの考慮がなされていない。新庁舎の窓口はプライバシーが保てるつくりにしてもらいたい。	61	整備方針「窓口機能」（P9）に基づき、手順内容や区民の皆様のニーズに応じて、利便性を考慮した「ワンストップサービス」を導入を検討していきます。プライバシーの確保については、声が漏れにくいブースや個室の相談室など様々なタイプの相談機能を検討していきます。
②-57	DXの推進	デジタル機能を活用し、より利便性を向上させることを期待する。デジタル技術の進歩・向上は、行政のライフサイクルの数倍速い速度で起こるため、計画段階での最先端は建設時の時代遅れになってしまう。デジタル技術の導入には、最先端の先を考える必要がある。	81	新庁舎の共通機能として「DXの推進」（P29）を掲げ、区民の皆様の利便性向上と業務効率化を目指していきます。今後、新庁舎に導入が必要なデジタル技術の実証を重ね、新庁舎整備後も技術革新に伴うデジタル設備の更新などを容易に行える計画となるよう検討していきます。
②-58	DXの推進	庁舎の中で完結する手続きをICT化するだけではDXとは言えない。区庁舎に来なくても区内各地や区民のパソコン、スマートフォンなどを活用し手続きできてこそDXと言えるのではないかと。手続きそのものを減らさなくてはならない。	99	ICTを活用し、窓口サービスの充実やペーパーレスなどの実現による業務効率化・環境の負荷低減を図ります。行政手続きのオンライン化など、窓口業務のDXに対応するとともに、AIの導入による窓口業務の自動化や審査業務の迅速化などを検討していきます。また、将来的に、インターネット上に構成される仮想空間（メタバース）においても行政サービスを利用できる仕組みを、個人情報などの取り扱いに十分配慮しつつ検討していきます。
②-59	DXの推進	区役所の業務がアナログすぎる。手作業が多すぎて、正直生産性が低いと感じている。業務効率化すべき。	65	新庁舎の整備にあたっては、「DXの推進」（P29）を掲げ、区民の皆様の利便性向上と業務効率化を目指していきます。
②-60	DXの推進	品川区のアプリなどを作り、区からのお知らせや案内、ほしい情報が探しやすいよう入手しやすいようにしてほしい。	65	

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-61	DXの推進	様々な申請などは電子申請で手続きできるようにしてほしい。	65	新庁舎の整備にあたっては、「DXの推進」(P29)を掲げ、区民の皆様の利便性向上と業務効率化を目指していきます。
②-62	DXの推進	庁舎へ行かなくても済むようITを整備するならそちらに費用を充ててもらいたい。	72	
②-63	DXの推進	AI技術の積極的導入と人智との連携による的確な行政判断・業務の効率化・作業の迅速化を期し、情報システムの推進のための総合情報管理処理センターを創設してほしい。	58	AI技術の導入による、窓口業務の自動化や審査業務の迅速化などを積極的に進めていく考えです。
②-64	DXの推進	ワンストップ行政の推進・実現を図るため、デジタル化を推進して行政組織の再編と簡素化を行い、利用者の利便向上に資するフロアーを作ってほしい。そのために必要に応じて、フリーアドレスのある業務室を設置する。	58	新庁舎の共通機能として「DXの推進」(P29)を掲げ、区民の皆様の利便性向上と業務効率化を目指していきます。執務空間においては、業務内容に応じて、フリーアドレスの導入を検討していきます。
②-65	DXの推進	各課にまたがる納付金・給付金を一元管理するシステムの構築を図る。	58	個人情報などの取り扱いに十分配慮しつつ、個々の手続き・業務がデジタルで完結する仕組みや、何度も同じ情報を入力しない仕組みづくりを進めます。
②-66	DXの推進	手続きに必要な手数料、レストラン、自動販売機の支払いを電子マネーにする。	83	現庁舎においても証明書の発行手数料の支払いなどに一部導入している「キャッシュレス決済システム」について、より幅広い場面でご利用いただけるよう拡充していく考えです。
②-67	DXの推進	テレビを置いて情報を得られるようにする。	54	整備方針「情報発信機能」(P12)に基づき、デジタルサイネージなど、視認性の高い方法を利用した情報発信機能の整備を検討していきます。
②-68	DXの推進	オンライン申請や電話などによる相談を充実させるため、通信回線の大幅な増強と複数の通信会社の導入を検討してほしい。	83	通信回線については、将来的な設備更新を見据えて計画してまいります。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-69	DXの推進	DXの推進からIP電話の利用も想定されているが、他区で導入した際につながりにくく、事業者も区民も利用できず混乱したことがあった。 コールセンターの設置や災害時の公衆回線の利用など、様々な手法を検討してもらいたい。	89	電話設備については、区民の利便性向上と業務効率化の観点から、先行自治体や民間事業者における導入事例も参考にしながら、様々な手法を検討していきます。
②-70	セキュリティ対策	職員の執務スペースは、来庁者への対応スペースを除き、ある程度見えない形になるのが良いと思う。	6	整備方針「セキュリティ対策」(P30)に基づき、来庁者が利用するエリアを明確化し、重要度に応じてセキュリティエリアを段階的に設定することで、来庁者の利便性と職員の業務効率性の両立を目指していきます。
②-71	セキュリティ対策	公衆衛生面や防犯面から、夜間は屋外広場などへの出入りを制限した方がよい。	4	整備方針「セキュリティ対策」(P30)に基づき、時間帯によって解放エリアを制限するとともに、やむを得ず死角となる場所には、センサー式ライトの設置などにより、防犯対策を強化します。
②-72	セキュリティ対策	市庁舎や周りの歩道の整備については、死角や陰ができないよう、人目につく、開けた環境にしてほしい。	55	新庁舎の建物内部および外部空間については、視認性がよく、開けた環境となるよう十分配慮して計画します。やむを得ず死角となる場所には、センサー式ライトの設置などにより、防犯対策を強化します。
②-73	議会機能	議会機能について、幼い子供連れの方に対応できるよう、防音性の高いブースを設けてほしい。知的・発達障害のある方は見知らぬたくさんの人に囲まれたりするのは苦手な方が多い。また、聴覚過敏の方も多くおり、そのような方にも開放していただきたい。	117	整備方針「議会機能」(P16)に基づき、多様な人々の利用を想定し、ユニバーサルデザインを採用した傍聴席とします。具体的な整備内容は、今後の設計段階で検討していきます。
②-74	行政・議会	来庁者(大衆)の目に触れない勤務者専用の休憩スペースを確保した設計とすべき。	56	来庁者対応エリアと区分けして「職員用リフレッシュスペース」を設け、休憩や飲食、打合せなどに利用できるようにします。
②-75	行政・議会	職員の更衣室、休けい室の充実、外廻りして来た職員用の簡素なシャワー室、職員の声も大事にして。	137	

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-76	行政・議会	I T化を進め、ペーパーレス化を推進するとオフィススペースがかなりコンパクトになる。	40	整備方針「執務機能」(P14)に基づき、I C T化とペーパーレスを推進し、効率的で機能的な執務空間を整備します。コンパクト化により余裕ができたスペースについては、現庁舎において不足している区民の皆様のご待合スペースや職員用のリフレッシュスペースなどに活用する考えです。
②-77	行政・議会	物を少なくし、レイアウトの変更ができるようにする。	54	
②-78	行政・議会	フリーアドレスの導入にあたっては、単に座席位置の問題にとどまらず、テレワーク導入、端末のシンクライアント化、もちろんペーパーレスなどを同じタイミングで実施しなければかって非効率となる。またフリーアドレスとしても部課長に特別席、特別部屋を設けるようではスペースの活用はもちろん、システム導入の意義が問われる。	99	フリーアドレスは、職務内容に応じて向き・不向きがあるため、今後検証を進めてまいります。なお、現庁舎においても、ペーパーレス化を推進しているところです。
②-79	行政・議会	議会図書室をはじめ議会施設を子どもたち・区民のために開放して、政治・行政の学習教育の場にする等柔軟性のある空間を作り、利活用の拡大を図ってほしい。	58	整備方針「議会機能」(P16)に基づき、区民に開かれた議会の整備を検討しているところです。議会施設の開放については、議会運営に配慮した上で、運用の中において可能な範囲で多目的利用を検討していきます。
②-80	行政・議会	区長応接室を設置して、今まで以上に区長・副区長と区民とのふれあいの機会を増やして、意見交換の活発化に寄与してもらいたい。	58	ご意見として承ります。
②-81	環境	耐用年数が残存するにも関わらず建て替えをする以上、無機質な高層ビル形式ではなく、環境に配慮された技術を駆使し、建て替えの意義がある建物にしてほしい。	11	環境にやさしい脱酸素型の庁舎とするため、費用対効果を見極めながら、CASBEE(キャスビー)-建築(新築)の取得目標「Sランク」およびZEB(ゼブ)の取得目標「Nearly ZEB(ニアリーゼブ)」を目指していきます。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-82	環境	太陽光発電は予定されていないのか。	21	環境にやさしい庁舎を目指していることより、太陽光発電をはじめ様々な「省エネ」設備や「創エネ」設備の導入を考えています。
②-83	環境	近くに品川中央公園もあるが、壁面緑化や環境に配慮した太陽光発電などを取り入れ、雨水はトイレの処理水に活用するなど検討してほしい。	47	
②-84	環境	予算が限られていると思うが、今ある最高の省エネ技術を導入したり、最高の防災施設にすることで、情報発信や学習の場としても誇れる建物にしてほしい。	24	基本方針「区民の安全・安心を支える防災指令拠点となる庁舎」および「環境にやさしい脱炭素型の庁舎」(P5)となるよう、今後の設計段階で防災機能、建築物の環境性能を高めることについて、費用対効果を見極めながら検討していきます。
②-85	環境	災害時想定として耐震性の高い中圧ガスおよびコージェネレーションシステムなどによる電源のバックアップを確保するのは良い事だと思う。その上で、そのシステムを充実させ、太陽光パネルの設置は見直してほしい。	35	基本方針「環境にやさしい脱炭素型の庁舎」(P5)および「環境に配慮した設備計画」(P50)に示すように、太陽光発電をはじめ様々な「省エネ」設備や「創エネ」設備を導入し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していく考えです。
②-86	環境	ガラスは割れにくい素材を使用し、窓を大きくして明るい自然採光を取り込む庁舎に。	54	日射による熱負荷抑制に配慮しつつ、十分な採光を取り込める窓を計画します。
②-87	環境	新庁舎建設予定地は、航空機の羽田空港への新ルート直下にあたるので、外壁や窓ガラス等における騒音対策を考えてほしい。	130	誰もが快適で利用しやすい庁舎を目指します。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-88	環境	二重玄関にして、夏は涼しく、冬は暖かかくなるように木材を多く使う。	54	整備方針「周辺環境への配慮」(P26)に基づき、内装材や家具などに、木材を積極的に活用します。
②-89	環境	現在国の政策として、公共建築物の木材(国産材)利用が推進されているが、本計画ではまったくその気配が見えない。高層建築が前提とされているのが一因と思うが、中低層であればコスト的にも低減され、かつ解体時の再利用も容易である(これからの建設費は解体廃棄費用を含まなければ意味をなさない)。	102	
②-90	環境	「公共施設の木材使用」という法律上の要請も踏まえ、国産木材の積極的活用を図り随所に木質感を醸し出す新庁舎を建設してほしい。	98	
②-91	環境	施設のエネルギーを自前で賄えるようになれば行政機能の持続性を発揮できる。 周辺敷地を使った太陽光発電の設置、ソーラーカーポートのような屋根付き太陽光発電を最大限利用して、完全なるZEBを目指すべき。	59	建物竣工時点での「ZEB」達成については、建設予定地における敷地条件や既存技術を考慮した場合、相当ハードルが高いものと考えています。将来的な機器更新時の技術革新や新エネルギーの普及などに期待し、運用段階において達成を目指していきます。
②-92	環境	新庁舎建設に伴うCO2排出量も算定すべきである。	99	CO2排出量については、今後の設計段階において算定してまいります。
②-93	環境	将来のエネルギー事情に鑑み、多様な供給源を考えるとともに、循環・省資源・再利用型のサイクル構造を構築することを検討してほしい。	58	基本方針「環境にやさしい脱炭素型の庁舎」(P5)となるよう、今後の設計段階で環境性能を高めることについて、費用対効果を見極めながら検討していきます。 また、「実現可能性のあるSDGsの項目」(P7)に示すように、新庁舎の建設時、運用時、改修時など各段階において、廃棄物量の抑制と資源循環に配慮します。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-94	環境	太陽光発電は、時間変動・季節変動が大きく、庁舎電源を安定的に供給することは難しい。また、屋上緑化とは、相反する。	81	基本方針「環境にやさしい脱炭素型の庁舎」(P5) および「環境に配慮した設備計画」(P50) に示すように、太陽光発電をはじめ様々な「省エネ」設備や「創エネ」設備を導入し、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進していく考えです。 なお、屋上緑化のみならず、壁面やバルコニーなども活用しながら、敷地内の緑化を積極的に進めていきます。
②-95	環境	太陽光発電は、時間変動・季節変動が大きく、これのみでは、庁舎電源を安定的に供給することは難しい。時間変動・季節変動を抑えるために、蓄電設備との併用が望ましい。	125	太陽光発電については、敷地条件により大容量の設置は難しいと考えています。そのため、蓄電設備に加えてコージェネレーションシステムとの併設によるピークカット（電力消費の多い時間帯の電力使用を削減）およびピークシフト（電力消費の少ない時間帯に電力を溜めておき、電力消費が多い時間帯に使用）を検討していきます。
②-96	環境	風力・バイオマス発電など他の再生可能エネルギーの導入も検討すべき。 バイオマス発電の場合は、家庭から定期的に出る生ごみなどを厳格に分別収集し、これを燃料資源とすることで、廃棄物量の削減にもつながり、環境性能が向上する。	125	新庁舎においては、「Nearly ZEB」の達成を目指しています。再生可能エネルギーの導入については、敷地条件や費用対効果を見極めながら積極的に導入を検討していきます。
②-97	防災	災害時において区民のために役立つ庁舎を、あらためて検討してほしい。区民の命を本気で守ろうとするならば、あえて狭い土地に停電などに弱いとされる超高層の新庁舎を新築する意図が理解できない。	140	整備方針「耐震性・災害時のバックアップ機能」(P19) に示すように、国土交通省が定めた「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」の最高水準である「構造体Ⅰ類」を目標とします。これは、通常の建物の1.5倍の強度に相当します。ライフラインのバックアップ機能については、エネルギー、通信網の多重化を図り、業務継続性を確保します。(P49)
②-98	防災	災害時の電力確保など、防災センターとの連携も工夫が必要と感じた。	89	「耐震性・災害時のバックアップ機能」(P19) に示すように、7日間電気を供給するための非常用発電機の整備や、エネルギー・通信網の多重化など、ライフラインのバックアップ機能の確保に努めてまいります。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-99	防災	非常時に備え、屋上にヘリポートを設置する。	15	ヘリポートは、新庁舎には設置せず、しながわ中央公園西側にあるヘリポートを有効に活用してまいります。災害発生時は、整備方針「周辺施設との連携機能」(P18)に基づき、広町地区内の各施設、しながわ中央公園と災害時の役割を分担・補完しあいながら防災指令拠点の強化を目指していきます。
②-100	防災	災害に強い低層の建物による庁舎（現庁舎含む）で防災対応を図るべきであり、高層建築により床面積が狭いと活動に支障が出るのではないかと。また防災対応の物資や情報を区庁舎に集中すると、区庁舎にアクセスできない区民には届かないことになるため、区内各地に分散する防災体制が望ましい。	99	新庁舎は、災害対策本部機能の充実・強化を図り「防災指令拠点」とするため、現在区内各所に分散配置している避難所や防災備蓄などの機能を集約する考えはありません。なお、災害対策本部機能として活用できる面積については、1フロアで確保できると想定しています。
②-101	防災	高層になるのは地価が高いのでやむを得ないと思うが、地震の発生時に上階からの避難がスムーズにできるように職員の安全を第一に考えて設計してほしい。	101	災害発生時における来庁者および職員の安全確保を最優先に、今後の設計を進めていきます。特に地震発生時のエレベーターについては、最寄階に自動的に停止して扉を開放し、利用者の避難を促すことのできる計画とするほか、自動診断・復旧機能の導入も検討していきます。
②-102	防災	防災指令拠点の強化は必要である。	81	
②-103	防災	品川区の防災指令拠点として、災害非常時において、区内各出先機関や区外支援元との緊密な連絡調整を図るために、従来の防災無線以外にも、防災能力のデジタル化を図るべきである。衛星インターネットシステム・区政情報を格納した独立したデータセンターサーバ・区としてのプラットフォーム・各出先機関での通信用端末などが必要となる。	106	基本方針「区民の安全・安心を支える防災指令拠点となる庁舎」(P18)となるよう、今後の設計段階で必要な防災設備について検討していきます。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-104	防災	新庁舎が、防災拠点として情報の収集・発信をする能力があったとしても、電源が喪失してしまうと、この能力は活かせない。 このため、新庁舎には、安定的な発電能力が求められる。太陽光発電システムだけでは、天候・季節により、発電能力が大幅に変動するため、安定的な電源にはなりえないので、複数の再生可能エネルギーなどによる電源バックアップ体制を整える必要がある。	106	太陽光発電のみならず、変電所からの2回線引き込みを基本とするほか、7日間電気を供給するための非常用発電機を整備します。また、耐震性の高い中圧ガスおよびコージェネレーションシステムなどの導入を検討し、災害時の電源のバックアップを確保していきます。
②-105	防災	新庁舎および周辺施設は災害時、帰宅困難者一時滞在施設となっている。その際、ヘルプマークを付けている配慮の必要な方、乳幼児を連れている方、外国人、高齢者など、ゾーン分けをお願いしたい。また、知的・発達障害のある方、外国の方へのコミュニケーション支援をお願いしたい。（例：荒川区で作成したコミュニケーション支援ボード） 品川区の要配慮者を対象とした二次避難所のほとんどはシルバーセンター、福祉避難所のほとんどは特別養護老人ホームである。是非、新庁舎および周辺施設にも福祉避難所機能を持たせてもらいたい。	117	帰宅困難者一時滞在施設の運用方法については、今後、設計と合わせて検討を進めます。 なお、新庁舎は、災害対策本部機能の充実・強化を図り「防災指令拠点」とするため、「避難所」としての整備は予定していません。
②-106	防災	予期せぬ異常気象、首都直下地震等々の大規模災害を想定して、強靱な躯体とともに、災害発生時の区役所の業務継続能力を有するバックアップ装置を重層的に構築してほしい。	58	整備方針「耐震性・災害時のバックアップ機能」（P19）に示すように、国土交通省が定めた「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」の最高水準である「構造体Ⅰ類」を目標とします。これは、通常の建物の1.5倍の強度に相当します。ライフラインのバックアップ機能については、エネルギー、通信網の多重化を図り、業務継続性の確保に努めます。（P49）

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-107	防災	<p>「導入機能の整備方針4）防災（ア）周辺施設との連携機能」（P.17）において、災害発生時の周辺施設との連携が記載されている。周辺施設は別途検討中とされているが、災害発生時には新庁舎から周辺施設に対してエネルギー供給が必要になる場合があると考えられることから、以下の追記、変更を提案する。</p> <p>○周辺施設との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 広町地区内の各施設、しながわ中央公園と災害時の役割を分担・補完しあいながら防災指令拠点の強化を目指します。 ・ 第二庁舎は災害対応従事者の休憩・宿泊場所、第二庁舎駐車場は協定先や支援団体の車両駐車スペースとするなど後方支援拠点としての活用を検討します。 ・ 第二庁舎等の周辺施設に対し、必要に応じて、災害発生時における本庁舎からのエネルギー供給を検討します。 ・ 効率が良い低炭素で、災害時の業務継続性を可能とする面的エネルギーシステム導入を検討します。 	109	ご意見として承ります。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-108	障害者雇用	区民が利用するカフェやコンビニには、障害のある方が通う施設や、障害のある方を積極的に雇用している企業の導入をお願いします。 福祉作業所で作られた自主製品販売する「kurumiru」（東京都福祉保健局自主製品魅力発信プロジェクト）のようなお洒落な店舗を設置してほしい。	117	障害のある方が働き、活躍できる場について、将来の技術革新なども視野に入れながら、実現内容を設計段階で検討していきます。
②-109	障害者雇用	区内の障害者施設の自主製品販売ショップを設置して、しっかり障害者の自立を後押ししてほしい。	34	
②-110	障害者雇用	庁舎維持のために必要な「清掃」は、障害のある方が通う施設や、障害のある方を積極的に雇用している企業の導入をお願いしたい。	117	
②-111	障害者雇用	庁舎内の売店やレストランに障害者を優先的に雇用してもらいたい。庁舎内の売店で障害当事者の作った菓子やパン、雑貨などを販売するコーナーを作ってもらいたい。	119	
②-112	障害者雇用	庁舎内の売店やレストランに障害者を優先的に雇用してもらい、売店で障害当事者の作った菓子やパン、雑貨などを販売するコーナーを作してほしい。	61	
②-113	障害者雇用	総合案内などには、障害のため出勤できない在宅の障害者の方をOriHimeなどを利用して雇用してもらいたい。	61	
②-114	保健センター機能	感染症対策を強化するため計画されている保健所センターについては、初期応急医療措置が施される組織とし、人材と危機の配備をお願いしたい。また、区民健康増進室等を設置して、健康情報発信機能センターとして保健業務を充実させ「健康長寿都市品川」を現実することに努めてもらいたい。	58	ご意見として承ります。

3 導入機能の基本計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
②-115	保健センター機能	保健センター機能を一部新庁舎に移転するとの事だが、どの部分か。保健センターの機能のうち、精神手帳の窓口だけでも、新庁舎に移転してほしい。	18	保健センター機能の一部集約により、利便性や業務効率の向上を目指します。詳細な機能や配置計画については、設計段階で検討していきます。
②-116	保健センター機能	保健センターの機能を区役所に組み込んで、一箇所で手続きが済ませられるようにしてほしい。	25	
②-117	保健センター機能	今回、新庁舎に保健センターが入り、精神手帳も庁舎で手続きができると良い。また、その後の支援についても、保健センターと福祉課で連携をとって、この機会に障害福祉全体の支援体制を使いやすく、わかりやすくしてほしい。	86	
②-118	保健センター機能	障害を持つ者が支援を受けやすくなるように、福祉課と保健センターの連携が出来るよう、体制を整えてもらいたい。	22	
②-119	保健センター機能	新庁舎内に保健所の機能を持たせる。	119	

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-1	建設予定地	建設候補地が挙がっているなら、その土地が誰の所有で地価はいくら、規制はないかなどの情報は記載すべき。また、現庁舎を継続利用した場合の費用についても情報を出すべき。	99	新庁舎建設予定地は、土地の交換や売買により取得するものではなく土地区画整理事業により再編されます。建設予定地における主な規制については、「法的規制の制約」(P35)、「施工上の制約」(P36)に記載しています。
③-2	敷地防災	区役所が災害に遭うと区民の安全が守れないので、豪雨時の水害対策などもきちんとしてほしい。	24	津波や高潮での浸水には問題ない立地として考えています。大雨による浸水は、今後の設計内で対応策を検討していきます。「品川区ハザードマップ」(P38)。
③-3	敷地防災	「ハザードマップ」によると、新庁舎計画地の洪水による浸水の想定は、0.1~0.5m未満であるとの事であるが、そもそも浸水想定区域内に新庁舎建設すべきではない。	35	新庁舎の建設予定地については、令和元年度に4つの庁舎建て替え候補地を区議会行財政改革特別委員会に提示し、区民利用のしやすさ、用地取得の問題、交通アクセス、広域的なまちづくりの観点などを総合的に勘案しています。洪水による浸水は、今後の設計内で対応策を検討していきます。
③-4	敷地防災	大井町は海岸が近いエリアである。津波や濁流に備えるためにも柱の強度を上げる点や濁流で建物が流されない堅牢な高めの建物を希望する。	66	新庁舎の建設予定地は、津波や高潮の恐れはない立地として考えています。「品川区ハザードマップ」(P38)。なお、建物は高い耐震性を確保するため、国土交通省が定めた「官公庁施設の総合耐震・対津波計画基準」の最高水準である「構造体Ⅰ類、非構造部材A類、建築設備甲類」を目標として整備します。
③-5	動線計画	歩行者デッキのことしか図に書いてないので、他の自転車・自動車・バス・タクシーについての考え方が読み取れない。	36	自転車・自動車・バス・タクシーなどの動線計画については、広町地区内における他の事業者や交通事業者と連携を図りながら、区民の皆様をはじめとした来街者が安全で快適にご利用できるよう、検討していきます。
③-6	動線計画	区民が利用しやすい庁舎にするためのアクセスの利便性を高める必要がある。	81	

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-7	公共交通	現状行政サービス拠がない東品川住民としては、区役所行きシャトルバスを定期運行してほしい。現在の都営バスではなく、区役所に向かうことを目的とした公共交通機関の新設を希望する。	43	建築計画「動線計画の考え方」(P40)に基づき、交通事業者と連携した利便性向上について検討していきます。
③-8	公共交通	各バス事業者と連携して、仮称品川区役所前停留所の設置。	94	
③-9	公共交通	現区役所も急坂の場所で利用が困難だったが、さらに遠くなるのは大変である。大崎から区役所の循環バスを。	12	
③-10	公共交通	老人は電車で事故に遭いやすい。武蔵小山からは大井町は遠い。巡回バスが必須。	87	
③-11	公共交通	東西の交通連携。	74	
③-12	公共交通	コミュニティバスの発着場所を設置してほしい。	8	コミュニティバスの新庁舎建設予定地近辺での運行計画については、現在の試行運行(西大井駅～大森駅)における実績に基づき、導入を判断します。
③-13	公共交通	歩行者デッキだけではなく、コミュニティバスなど年配、子連れ、障がい者の方への配慮をしてほしい。(大崎～区役所～大井町を循環するなど利用しやすいコミュニティバス)	11	
③-14	公共交通	新庁舎の玄関前に、今、運行しているコミュニティバスのターミナルを作って、新庁舎(区役所)を起点として3～4路線を考えた方が、本当に親しみやすい品川区役所となる。	90	
③-15	駅からの動線	現庁舎よりも新庁舎予定地は大井町駅に近くなるが、遠いことに変わりなく、歩道を走る自転車も多いことから、自転車禁止の来庁者専用歩道があればよいと思う。	43	今回、新庁舎とあわせて整備する「歩行者デッキ」(P40)は、歩行者の安全性を確保するために自転車通行不可とする予定です。また、敷地内に歩道と一体となった歩道状空を整備し、安全で快適な歩行動線を確保します。

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-16	駅からの動線	小さな子ども連れや高齢者が区役所に行くのに少しでも負担を減らせるように、区役所までの道のりはすべてフラットで段差なく行けるようにしてほしい。	47	建築計画「動線計画の考え方」(P40)に示すように、大井町駅からバリアフリー環境に配慮した屋根付き歩行者デッキによりアクセスできる計画とします。
③-17	駅からの動線	駅からバリアフリーで雨に濡れず行ける品川区役所になってほしい。	47	
③-18	駅からの動線	大井町駅から新庁舎までの歩行者デッキは、降雨・降雪などによる影響ないよう屋根付きのペDESTリアンデッキを採用してもらいたい。	83	
③-19	駅からの動線	大井町駅の出口と直結してもらいたい。	76	
③-20	駅からの動線	現区役所から大井町駅にかけての通りは、非常に道幅が狭い歩道を大量の自転車が行き交っている。新庁舎の整備等によりさらに人の往来や自転車がが増えて、自転車事故も増えることが予想される。新庁舎の整備と併せて道路や駐輪場などを整備して、新庁舎から大井町駅にかけての自転車交通量を減らすなどの交通対策を取るようすべき。	50	歩道の混雑緩和に資する、大井町駅からしながわ中央公園方面につながる「歩行者デッキ」(P40)を整備する予定です。駐輪場については、広町地区内の開発関係者と連携を図り、十分な台数を確保する計画です。
③-21	駅からの動線	朝の通勤ラッシュ時は大井町駅から市庁舎方面に向かっての人の流れが多く、大井町住民にとっては厳しい。人流に対して狭いので、広くとってほしい。	55	
③-22	駅からの動線	歩行者デッキは不要である。20億円以上の外構工事費の過半を占めると思われるが、区民ではなくJRの周辺開発に配慮したものと思える。大井町駅からのアクセスは、地上レベルに緑豊かな歩道を設ければ、夏日にも快適な散歩路となり、防災上もはるかに有益である(落下物防止には屋根をつける)。	102	歩行者デッキの整備により、駅や周辺道路との高低差の解消や歩車分離を図ることで、安全で快適な歩行者ネットワークを形成します。

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-23	駅からの動線	手動車椅子ユーザーだが、りんかい線からも雨に濡れずに庁舎へ行けるルートを計画してほしい。庁舎前の坂を車椅子を漕ぎながら登るのが大変なので、迂回ルートにはなるが駅西側交番前エレベーターからりんかい線エレベーター口までと、駅東側のスロープを屋根化してくれたほうがバリアフリーになる。一部でも屋根がないと結局濡れるので、420号線の上にも屋根がほしい。	72	広町地区の開発にあたっては、JR大井町駅東口から新庁舎までの間は、屋根付き歩行者デッキによりアクセスできる計画です。一方、りんかい線から新庁舎までの移動についてバリアフリー化を検討いたしましたが、りんかい線大井町駅の構造上の理由から実現することが困難な状況です。しかしながら、今回いただきましたご意見は鉄道事業者に伝えるとともに、様々な機会を捉え大井町駅周辺のバリアフリー化を検討していきます。
③-24	駅からの動線	現在の区役所はバスがなく、最寄駅からのアクセス性に問題があった。大井町駅から歩道橋が作られる計画と聞いているが、りんかい線経由で地下から区役所へ行けたり、動く歩道を設ける方がよい。	25	地上からりんかい線へ通じる階段の踊り場から広町地区へ直接つながる出入口を設置する計画となっています。
③-25	駅からの動線	庁舎利用を最終目的として、品川区各地区から新庁舎へ移動する場合、鉄道を使う場合は、大井町駅・下神明駅の両駅を使うことになる。このため、各駅から庁舎への移動について利便性を高める必要がある。 バス停については、庁舎前に到達する道路が整備されれば、確保ができる。 歩行者デッキにて、フラットスペースでのアクセスを可能とする計画になっている。しかし、大井町駅から直線で約200m、歩行距離とすれば300m強をオープンエアで風雨に晒される環境を健常者でない人も通行することを考えると、バリアフリーとは言い難い。歩行者デッキの下部、1階フロアの方がむしろ、天候に左右されず、安定的に、新庁舎にアクセスできる。ここに、動く廊下設備を設置すれば、移動が困難な人も容易に新庁舎を利用できる。	126	建築計画「動線計画の考え方」(P40)に示すように、大井町駅から屋根付き歩行者デッキによりアクセスできる計画とします。3階レベルでの整備を予定しています。 なお、動く歩道の設置は予定していません。
③-26	駅からの動線	周辺各駅から品川区役所までの外国語併記の案内板地図等の整備。	94	来庁者が迷わないよう、施設全体の総合案内サインに加え、広町地区内の各施設や駅までの誘導サインの設置を検討していきます。

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-27	周辺道路整備	大井町駅東口から品川駅方面へ向かう線路沿いの道は細く、いつも混雑しており自転車の通行量も多いのでとても危険。駅前の再開発にあたり、駅周辺の道路の整備をお願いしたい。	42	ご意見として承ります。引き続き、歩行者が円滑に通行できる道路空間の確保に向け検討していきます。
③-28	周辺道路整備	周辺無電柱化を検討すべき。	29	新庁舎周辺では、新たに整備する「区画道路1号・2号」(P34)において無電柱化を実施し、防災機能の強化、安全で快適な歩行空間の確保、良好な都市景観の創出を図ります。
③-29	ゾーニング計画	議会は1階や地下など、区民がアクセスし易い低層階に配置すべき。	10	建築計画「ゾーニング計画の考え方」(P42)に示したように、議会機能は大空間となる議場の上部に室を設けず、合理的な構造計画とするため高層階への配置を基本としています。アクセスに関しては、一般フロア用エレベーターと議会フロア用エレベーターを分離するなど、動線の効率化を検討していきます。 なお、遮熱性の高い外装材や窓ガラスの採用、日射遮蔽効果のある太陽光パネルの屋上設置などにより、急激な温度上昇を防ぐことを検討していきます。
③-30	ゾーニング計画	議会機能を最上階としているが、区民から離れてしまう印象にならないか。また、最上階はおそらく遮熱ができず暑い。	81	
③-31	ゾーニング計画	高層化については、高齢者や障がい者等にはわかりにくい。執務室が上階にあるが、区民へのサービスとの関係で配慮がされていない。議会棟も上層階では、区民からの陳情も受けにくい。	49	新庁舎において求められる機能を整備するには、建設予定地(P32)の敷地条件を考慮すると、一定程度の高さが必要と考えています。 建築計画「ゾーニング計画の考え方」(P42)に示したように、議会機能は大空間となる議場の上部に室を設けず、合理的な構造計画とするため高層階への配置を基本としています。アクセスに関しては、一般フロア用エレベーターと議会フロア用エレベーターを分離するなど、動線の効率化を検討していきます。 窓口は、道路や歩行者デッキより通じる建物出入口から近い位置に集約配置する計画です。

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-32	ゾーニング計画	建設予定地における法的規制のために、新庁舎は高層建築物にならざるを得ない計画になっているのではないかと考える。なるべく低層の区庁舎の方が防災上も区民の利便性も高いと考える。用地計画から根本に見直し、現庁舎を部分的に更新しながら新庁舎を建設するなど、ゼロベースでやり直す必要がある。	99	新庁舎において求められる機能を整備するには、建設予定地（P32）の敷地条件を考慮すると、一定程度の高さが必要と考えています。 新庁舎においては、「ゾーニング計画の考え方」（P42）に示すように、窓口や協働・交流スペースなど区民の皆様の利用が多い機能を低層階に集約し、利便性向上を図ってまいります。
③-33	展望スペース	高層階が議会機能のみになっており、このまま高層階が議会専用にならないか危惧している。低層階に集まる区民と、高層階の議会とで分断されている。展望ロビーで交流機能の一部を展開し、展望ロビー兼議場で、議場が展望ついでに眺められるならば理解できる。高層階のうち、少なくとも最上階層は展望階を設けるべきである。	36	展望スペースについては、廊下や待合空間のスペースと兼用するなど、面積の有効利用とセキュリティ区分に配慮しながら整備に向けて検討していきます。
③-34	展望スペース	展望の良い高層階は、展望スペースとするなど区民が広く使える場とすべき。	10	
③-35	展望スペース	都庁や文京区のシビックセンターに負けない展望スペースを作ると、区内の住民だけでなく、観光客にも品川区の素晴らしさを分かって頂ける良い契機なる。	40	
③-36	展望スペース	最上階もしくは屋上に周囲を見渡せる展望スペースを設けてほしい。	62	
③-37	展望スペース	JRの車両基地が良く見えるのなら、そのための展望設備を作っても良い。	29	

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-38	外観計画	無機質ではなく数十年経った時に、保存を望まれるようなデザインの建物にしてほしい。外観など決定前に区民の声を聴く機会を必ず設けてほしい。	11	新庁舎は区のシンボルとして建設後も長きにわたり利用される建物となるよう、区民の皆様にも長く愛されるデザインとします。具体的な外観デザインについては、設計段階で多くの区民の皆様にご覧いただけるよう、様々な方法を検討していきます。
③-39	外観計画	大井町には区役所があるとシンボルとなる。	137	
③-40	外観計画	庁舎は、区民のシンボルであり、ランドマークとして立派なものにしてもらいたい。	24	
③-41	外観計画	新庁舎は、現区民が喜び誇れるだけでなく、日本中、東京中の人たちが品川区に憧れ、住みたくするようなシンボリックな新庁舎であってほしい。	46	
③-42	外観計画	出来れば著名なデザイナーなどを使って、シンボリックな庁舎になると良い。	69	
③-43	外観計画	新庁舎は、15階から20階建てになる計画とのことだが、「おおよその高さが何メートルになるか」を公表すべき。	127	建物高さは、階数、階高（ある階の床面から、上階の床面までの高さ）や屋上設置物（太陽光発電設備など）によって決まります。今後の設計段階で詳細に検討し、平面計画や外観計画などとあわせて区民の皆様へ情報を発信していきます。
③-44	外観計画	設計が進む段階で日影図を区役所ホームページ上に掲載してほしい。	129	今後の設計段階において、適宜、区民の皆様へ情報を発信していきます。
③-45	構造計画	新庁舎の構造において、木造CLTも検討してはどうか。	59	通常の建物よりも高い耐震性を確保した建物とするため、建物の全部もしくは大部分に木材を採用することは難しいと考えています。整備方針「周辺環境への配慮」（P26）に基づき、内装材や家具などに積極的な活用を検討していきます。

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-46	設備計画	震災時および火災時等のエレベータ使用不可時の身体障害者脱出対応、議会機能が高層階にあることによる高齢議員脱出対応などの防災対策、高層化による基礎及び躯体構造強化にかかる建設費抑制、来訪者や職員の業務における垂直移動削減による生産性向上などの観点から、高層ではなく第二庁舎を活用しながらの低層庁舎とすることを望む。	53	新庁舎において求められる機能を整備するには、建設予定地（P32）の敷地条件を考慮すると、一定程度の高さが必要と考えています。 地震発生時のエレベーターについては、最寄階に自動的に停止して扉を開放し、利用者の避難を促すことのできる計画とするほか、自動診断・復旧機能の導入も検討していきます。また、新庁舎と第二庁舎の間に道路が新設されることや高低差の問題から直接接続することは難しく、区民の皆様の利便性を勘案し、一つの建物として機能集約する考えです。
③-47	設備計画	エレベーターは来庁者と職員向けの2種類しか設けておらず、最上階にアクセスする高層階専用のエレベーターもない。何基設けるか書かれていないため、また混みそう。	36	低層階と中高層階で時間帯に応じ着床階を変更することや、業務用エレベーターを別個に設けるなど、動線の効率化を検討していきます。また、低層階においてはエスカレーターを設置して利便性を高めることで、エレベーターへの集中を避ける考えです。
③-48	設備計画	エレベーターは性能の良いものにしてほしい。今のエレベーターは皆上に上がってしまったり、下がってしまったりで待つのにストレスがたまる。	135	エレベーターについては、職員数や来庁者数を基に、適切な台数と大きさを確保します。 また、区民の皆様の利用が特に多い低層階ではエスカレーターも併設することで、エレベーターの混雑緩和を図ります。
③-49	設備計画	災害対策を強化するため、地下雨水貯留槽を設置してほしい。	58	上水道の途絶に備え、飲料水に使用可能な貯水槽を確保するとともに、トイレ洗浄水などに利用する雨水槽や中水槽を整備します。（P49）
③-50	緑化・オープンスペース	自然との共生を考え、できる限り緑を取り入れて、季節感や花々の安らぎを感じる環境を作してほしい。	9	外構計画「緑化の推進」（P51）に基づき、四季折々の季節を感じられる緑化計画とするほか、建物壁面や屋上も活用しながら、視覚的にも楽しめるみどりを多角的に配置します。
③-51	緑化・オープンスペース	今の庁舎周辺は殺風景なので周辺を緑化し、ぬくもりある建物にしてほしい。	11	

4 施設計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
③-52	緑化・オープン スペース	感染症はこれからも続く。屋上や緑がある部分はテラスなど少し外の空気を吸ったり外に出られる場所があると嬉しい。	123	屋上については、太陽光パネルなどを設置する想定であることから、屋上庭園として活用することは難しいと考えています。 外構計画「区民が利用しやすい憩いの場の形成」(P51)に基づき、敷地空地を中心に、緑地やウッドデッキ、ベンチなどを備えた、区民が気軽に利用できる憩いの場を整備します。
③-53	緑化・オープン スペース	現庁舎の屋上にある庭園を1階に作り、子どもから大人までみんなが楽しめる場所にする。	54	
③-54	緑化・オープン スペース	屋上庭園を作る。ビオトープや花壇を配置して誰でも憩えるようなスペースや散策路を設ける。	101	
③-55	緑化・オープン スペース	見晴らしが良く、視覚的に広々とした空間をつくる。屋上でも良いが、気軽に行けるように地上にできるとよい。リラックスできる椅子と、自動販売機がほしい。	3	

5 新庁舎の規模の整理について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
④-1	施設規模	現庁舎が第二庁舎と合わせて約46,000㎡なのに対し、新庁舎建設想定規模が60,000㎡となっている、防災対応が多少膨らむのはわかるが、表では「行政・議会機能など」と一緒になっており内訳が不明瞭。第二庁舎はそのまま使用すると、新庁舎の建設想定規模は50,000㎡以内に圧縮すべきではないか。不要なものが含まれているのではないか。	99	施設規模については、現庁舎における課題（P4）のうち、「執務スペースの狭隘化」、「交流スペースや交通部分面積などの不足」や「多様化する行政への要望対応」に必要な面積増を想定しています。 「行政・議会機能など」の内訳については、事務室、倉庫、会議室、災害対策関係諸室、議会関係諸室など様々な室を想定しており、現段階で決定しているものではありません。今後の設計段階において、整備方針の実現に必要な面積を精査していきます。
④-2	施設規模	「DXを推進し区民の利便性向上と業務効率化を目指します」とあるが、将来的な国レベルでの人口減少とDX推進を踏まえて延床面積の増加は納得いかない。DX推進によって住民は来庁機会も減るものと思われるがなぜ面積増加の検討なのか。	35	施設規模については、現庁舎における課題（P4）のうち、「執務スペースの狭隘化」、「交流スペースや交通部分面積などの不足」や「多様化する行政への要望対応」に必要な面積増を想定しています。 将来的に余剰スペースが生じた場合は、区民の方々が利用できるスペースや、多目的に活用できるスペースとなるようフレキシブルな対応ができる設計を進めていきます。
④-3	施設規模	行政・防災・議会機能の規模を約35,000㎡と算出した根拠について、もう少し詳細に記載してほしい。オンライン化や、職員のテレワーク推進等を考慮すると、従来の規模算定（一人当たり床面積）とは違う算定方法もあるのではないか。昨今の働き方改革を踏まえた執務空間や、住民窓口の規模算定を検討してもらいたい。	51	
④-4	施設規模	1棟に集約して60,000㎡とする高層庁舎は不適當。今後50年間利用することを考えれば、時代に合わせた機能、設備、収容人数等に対応するため、複数棟（一部は仮設）にすることが合理的である。引越し回数が増えるとのことだが、十年単位で要・不要に合わせて部署を増減させれば、建設コストも運営コストも激減する。3割増しの増床は、少子化、DX化が進む中、数十年遅れの発想である。	102	
④-5	施設規模	DXの進展によって、対面でなくても、来訪しなくても行政手続きがでオンラインで身近にできる社会が想定される。将来のDXを見据えて、施設規模を検討すべき。	59	

5 新庁舎の規模の整理について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
④-6	施設規模	基本在宅勤務として、区役所スペースの削減、費用削減を求める。	64	新しい働き方や臨時発生業務などに柔軟に対応できるようユニバーサルレイアウトを導入します。また、将来的に余剰スペースが生じた場合は、区民の方々が利用できるスペースや、多目的に活用できるスペースとなるようフレキシブルな対応ができる設計を進めていきます。
④-7	施設規模	新庁舎は高層の建物との想定であり各階の床面積が少なくなっている。果たしてこの条件で施策が実現できるだろうか。また低層階は防災対応で利用することが想定されるため、協働・交流スペースが邪魔になる。この部分を大きくきれいにする必要はないと考え、現庁舎でも対応可能と考える。現状で完成している他の庁舎を参考するよりも、数年先のサービスを見据えた設計や、先進的なテクノロジーが出てくるのを待つ、という考え方もできる。	99	新庁舎の1フロアあたりの床面積は、整備方針「協働・交流機能」を実現するにあたり十分な広さを確保できる想定です。協働・交流スペースは、現庁舎において不足している機能(P4)であり、「大井町駅周辺地域まちづくり方針」(P33)におけるにぎわい創出の観点からも、整備を目指すものです。 なお、整備方針「災害時区民対応機能」(P21)に示すとおり、災害発生時は、帰宅困難者の一時滞在施設や証明発行場所、生活再建相談での活用も想定して整備します。
④-8	施設規模	平面構造が床面積に対応するものであれば、高層の新庁舎には不利な条件である。	99	新庁舎の1フロアあたりの床面積は、将来の行政ニーズや行政組織に対応したレイアウト変更を実施するのに十分な広さを確保できると想定しています。
④-9	施設規模	3割ほど現在の庁舎より容量が大きくなるということだが、最低限必要な機能(議会棟や、執務機能、都の機関、災害対策機能、窓口機能など)を入れるのに15階から20階の高層建築が必要なのか。それともそういった区の機能とは別にホテルやカフェ、といった商業施設を含む複合施設にされるつもりなのか。	114	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、庁舎にホテルや商業施設を建設する考えはありません。必要な機能を集約し、現庁舎に不足している協働・交流スペースなどを整備するために、3割程度の面積増を想定しています。なお、レストラン・食堂やカフェなどの飲食スペースは、現庁舎の利用実態や希望調査、周辺の整備状況を踏まえ検討していきます。

5 新庁舎の規模の整理について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
④-10	駐車場	駅近の施設は駐車場を利用できないところが多いが、新庁舎は是非、駐車場設備が利用できるようにしてもらいたい。	68	屋内駐車場は、現庁舎駐車場と同等数以上かつ東京都駐車場条例における附置義務台数を確保することを基本に、適正規模について検討していきます。
④-11	駐車場	SDGsを標榜するならば、現在より駐車場面積を大幅に縮減すべき。数十年後には公共交通機関の一層の充実が図られているはずで、また大井町駅との往復は、高齢者には自動走行車が用意されると思う。	102	
④-12	駐車場	駐車場が地下駐車場で便利になるのは良いが、駐車料金が言及されていない。現在の駐車料金サービスが無くならないか。	36	引き続き区民の皆様が便利に使っていただけるよう、庁舎利用時における駐車場の料金設定を検討していきます。
④-13	駐輪場	自転車来庁者には1回百円を入金してもらおう。時代的に自転車優遇は遅れている。	137	ご意見として承ります。

6 事業費・事業計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
⑤-1	費用	初期費用よりランニングコストが膨大とのことで、地下の構造などで可能ならば、他区でも例のある高層化の上階を賃貸マンションにし、賃料をコストに充てるのが良い。	1	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、民間住宅の併設は予定していません。
⑤-2	費用	大田区や目黒区のように、ビルを買う方向で検討し、庁舎については足りない部分を作る。	92	現庁舎における機能分散によるわかりにくさを解消するため、新庁舎では機能集約を図ります。
⑤-3	費用	現庁舎は耐震工事を施したばかりで、あと13年ほど使用可能と聞いている。早急に新庁舎を建てる理由はないのではないかと。建設費用も高すぎる。	7	本庁舎は、築54年が経過し、建物だけでなく設備の老朽化も進行しており早急な対応が求められています。また、基本構想の策定に向けて実施した区民アンケートでは、90%の方が「ICTの活用による窓口サービスの充実や業務の効率化」を求めています。こうした新たな要望や将来変化に対応するためにも、新庁舎整備の検討を進めることが重要であると考えます。 事業費については、今後、設計段階において精査し、可能な限り縮減に努めていきます。
⑤-4	費用	区民が支払った税金を使って建設する、という意識を常に持って取り組んでもらいたい。	11	
⑤-5	費用	5・10・50年先を見据えて、しっかりと財源を確保して新庁舎を建設してほしい。	58	事業費については、今後、設計段階において精査し、可能な限り縮減に努めていきます。
⑤-6	費用	現庁舎の建替えを急ぐ必要はないと思う。規模の縮小、費用などを現実的に考えてもらい、できるだけお金のかからない計画を強く求める。	91	

6 事業費・事業計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
⑤-7	費用	起債は区の借金であり、後年度経費を次の世代に渡すよりは、現庁舎をどこまで利用できるか検討すべき。古い庁舎を有効活用している自治体の事例こそ学ぶべき。	99	<p>本庁舎は、築54年が経過し、建物だけでなく設備の老朽化も進行しており早急な対応が求められています。また、DX推進による区民の利便性向上や業務の効率化など新たな要望や将来の社会情勢の変化に対応するためにも、長期的な視点を持って、新庁舎整備の検討を進めることが重要であると考えます。</p> <p>事業費については、今後、設計段階において精査し、可能な限り縮減に努めていきます。</p>
⑤-8	費用	実際の費用をどれくらい見積もられているのかわからないが、豪華に見える。コロナ禍や物価高、年金減額等で苦しんでいる区民が多くいる中で、この写真のようなスペースを見れば「お金の使い方が間違っている」と思うのではないか。それは本計画全てに言えることである。	99	
⑤-9	費用	記載事項の多くは現庁舎でも対応可能と考える。機能も大事だが、費用対効果を考えなるべく安価に構築することが適当。	99	
⑤-10	費用	あと14年もつ現庁舎の建て替えを急ぐ必要はない。工事費に見積もられている400億円は区民の血税であり、新庁舎建設よりも困窮する区民生活に、コロナで疲弊している業者等に、急を要している用途は他にある。税金の使い方が間違っている。	139	
⑤-11	費用	現在の区庁舎を活用した計画も検討すべきであり、現在の区の財政状況や区民の生活における優先順位を鑑みた場合、400億円がどのようなインパクトを区政に与えるかも検討すべき。	99	

6 事業費・事業計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
⑤-12	費用	現在は新庁舎整備費用400億円(イニシャルコスト)しか提示されていない。現庁舎を継続利用した場合の費用はいくらか。ランニングコストはいくらか。新庁舎のランニングコストはいくらか、については本計画(素案)には数字が見当たらない。現庁舎と新庁舎の資金、費用、負担内容の比較とともに、それらの根拠を速やかに区民に情報提示してほしい。	99	<p>新庁舎建設予定地は、土地の交換や売買により取得するものではなく土地区画整理事業により再編されます。</p> <p>現庁舎の改修費用などを含めたランニングコストは、劣化箇所の改修のみならず、今後必要とされる機能を、いつの時点でどのように導入するによっても変わってきます。また、それらを逐次改修しても、庁舎本体の劣化が進むことには変わりはないため、新庁舎の整備が必要と判断しています。</p> <p>なお、新庁舎のランニングコストは、採用する構造部材、内装材、外装材や設備など建物の仕様や、運営・維持管理方法によって大きく変動するものです。今後の設計段階で精査していきます。</p>
⑤-13	費用	現庁舎利用と新庁舎整備の価格比較を土地代含め、比較精査すべき。現状新庁舎整備の400億円しか基本計画に掲載されていない。しかもイニシャルコストである。氷山の一角の絵の通りランニングコストも精査して金額を出すべき。	99	
⑤-14	費用	現庁舎改修補修の費用と新庁舎建設費用を比べないことには、基本計画を前に進めることはできない。	99	
⑤-15	費用	J R東日本と交換する土地の価格がいくらなのか。交換して損するのか、得をするのか。まったく金額の提示がない。	26	
⑤-16	費用	区画整理により土地の交換をするようだが、お金の流れが不明になるので反対。	92	
⑤-17	費用	新庁舎移転の際、現庁舎の取り壊し後の土地利用について、土地交換の価格がいくらなのか、本当に等価交換なのか、というが検証がなされていない。本計画を検証するためには、土地交換、土地取引について明確な内容提示をお願いしたい。地価を含めた総費用において、現庁舎と新庁舎を比べ、本計画の是非を判断する材料が最重要課題として必要。	99	

6 事業費・事業計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
⑤-18	費用	予算に関して合計400億円以上というのはいかがなものか。面積を広げることにも違和感を感じる。	48	事業費については、昨今の急激な物価状況や費用対効果を見極めたZEB化対応などより上昇を見込んでいることから、「以上」という表現で示しています。今後、設計段階において精査していきます。 施設規模については、分散している機能を集約することによる面積増や、区を取り巻く環境変化や多様化する行政への要望に対応するための機能強化・充実に必要な面積増を想定しています。
⑤-19	費用	事業費「約400億円以上」は、高いと感じる。少しでも安くする方法、考えはあるのか。 更に移転費、解体工事費、備品更新費がプラスになるのだから、この部分の概算額を表示するべきだ。	108	事業費については、今後、設計段階において精査し、可能な限り縮減に努めていきます。 移転費、備品更新費については、現庁舎において使用している什器などの新庁舎での活用性を精査し、算出します。解体工事費についても、今後、解体に必要な調査・設計を実施していきます。
⑤-20	費用	新庁舎建築ともなると相当な税金が使われるはず。高い税金が更に上がったりしないのだろうか。	75	財源については、起債・基金を活用するほか、別途、国および都からの分担金で確保することを予定しています。
⑤-21	費用	現庁舎がどこまで使えるか、金額、予算データに関する情報がほとんどない。	26	現庁舎は、築54年を経過し、耐用年数上ではまだ利用できることとなりますが、老朽化が進み、またバリアフリーや狭隘化などの問題を抱えています。さらに防災機能の強化やDXへの対応も求められていることから、整備が必要と判断しています。 建替えに必要な費用は、約400億円以上と想定されていますが、財源については、起債・基金を活用するほか、別途、国および都からの分担金で確保することを予定しています。

6 事業費・事業計画について

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
⑤-22	費用	設備更新が容易な建築計画を。30年後は確実に大規模修繕になるが、現計画にはその点への配慮が見えない。空間の可変性はもちろんだが、それよりも30年後に想定される百数十億（建設費の3割として）の修繕費をいかに抑えられるかが区の財政にとっては重要。	102	高耐久な構造体により長寿命化するとともに、更新が容易な内装材・設備を採用し、事後保全ではなく予防型保全の補修や改善を行うことで修繕費・改善費の縮減を図ってまいります。
⑤-23	費用	小中学校でも老朽化した施設があり、学校によって学習環境に大きな格差がある。庁舎移転には多額の費用がかかるが、移転に費用を使うことで、そういった老朽化した学校の建て替えへ費用があてがえず、延期になったり見送られることのないようにしてもらいたい。	77	区立学校の整備に要する経費については、義務教育施設整備基金を計画的に活用してまいります。
⑤-24	費用	区庁舎の整備には400億円ものコストがかかるとのことだが、その後の庁舎の維持管理コストを抑えることは区民の財源を守るために非常に重要な観点になる。当初の計画案にあった13から15階建てのシンプルな立方体のビルに比べて、現在のイメージではさらに高層で複雑なフロア構成となっている。当初の理念にあった維持管理のしやすいビル設計を検討すべき。	134	新庁舎において求められる機能を整備するには、建設予定地（P32）の敷地条件を考慮すると、一定程度の高さが必要と考えています。外観イメージについては、高層部を後退させることで圧迫感の軽減に配慮したのですが、今後の設計段階で高さや建物形状を詳細に検討していきます。建物の維持管理については、高耐久な構造体により長寿命化するとともに、更新が容易な内装材・設備を採用し、コスト縮減を図ってまいります。
⑤-25	事業手法	事業方式の比較について、DBやPFIが従来方式よりもメリットが少ないという評価自体が疑問である。客観性に基づく評価が行われているのか。	35	各事業方式の比較検討にあたっては、資料編「対話型市場調査」（P84）のとおり、類似の庁舎整備事業に関する業務実績を有する設計事務所および建設会社計17社に対して市場調査を実施しました。

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-1	併設施設	大井町駅周辺には児童センターがないので、庁舎内に作ってほしい。愛知県豊橋市の「こども未来館ここにこ」のように品川区の子育て支援の目玉になるシンボリックな施設が良い。	1	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、児童センターをはじめとした子育て支援施設を建設する予定はありません。各種施設の整備については、中長期的な視点から総合的に検討していく必要があると考えています。
他-2	併設施設	住み慣れた街で精神障害者が暮らせるように、精神障害者施設を作っていただきたい。	39	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、各種障害者施設を建設する予定はありません。各種施設の整備については、中長期的な視点から総合的に検討していく必要があると考えています。
他-3	併設施設	新庁舎内にぜひ各種障害者施設を入れてほしい。新庁舎内に障害者施設を併設するのは無理というのであれば、せめて旧庁舎に各種障害児者施設を入れるべき。	128	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、各種障害者施設を建設する予定はありません。各種施設の整備については、中長期的な視点から総合的に検討していく必要があると考えています。
他-4	併設施設	ゆうぽうとなどこれまでの文化発表やイベントの場所がなくなっており、防災拠点とスポーツや文化振興を考えて区民アリーナを建設してほしい。	60	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、新庁舎敷地内にアリーナを建設する予定はありません。
他-5	併設施設	フロアの一部をシェアオフィスの空間（例えば、品川産業支援交流施設・SHIPのようなシェアオフィス）に使えると、区内の中小企業（特にスタートアップ企業）の支援につながる。	40	現段階ではシェアオフィスの導入予定はありませんが、将来的に余剰スペースが生じた際に、区民の皆様や区内企業などのニーズに基づいて用途転用できるよう、可変性を持たせた建物として整備する予定です。
他-6	併設施設	区役所と福祉事業が一体となった特例区営住宅併設を考えて、福祉・医療・区政が一体となった事業として、全国モデルに発展してほしい。	41	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、区営住宅を建設する予定はありません。各種施設の整備については、中長期的な視点から総合的に検討していく必要があると考えています。
他-7	併設施設	区役所近くに分散している子ども家庭支援センターや観光プラザ等も全て同じ庁舎内に入らないか。	47	新庁舎に集約する機能は、区民の皆様の利便性、他の機能との連携面や既存施設の立地特性などを総合的に勘案して決定します。

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-8	併設施設	現庁舎、第二庁舎敷地を含めて、特養又は住宅などを作ってほしい。	95	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、特別養護老人ホームや住宅を建設する予定はありません。 各種施設の整備については、中長期的な視点から総合的に検討していく必要があると考えています。
他-9	併設施設	24時間預けられる託児所の併設を希望する。	64	現庁舎内のオアシスルーム（生活支援型一時保育）は、新庁舎においても整備する予定ですが、24時間開所している託児所を建設する予定はありません。 各種施設の整備については、中長期的な視点から総合的に検討していく必要があると考えています。
他-10	併設施設	庁舎内に近隣住民が利用できる図書館を作ってほしい。	42	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、図書館を建設する予定はありません。 各種施設の整備については、中長期的な視点から総合的に検討していく必要があると考えています。
他-11	併設施設	図書館がほしい。	16	
他-12	避難施設	新庁舎内に障害者用の防災避難所を併設してほしい。	61	新庁舎は、災害対策本部機能の充実・強化を図り「防災指令拠点」とするため、「避難所」として整備する予定はありません。
他-13	避難施設	新庁舎内に障害者用の防災避難所を併設してほしい。	119	
他-14	避難施設	災害時にペットと同行避難できる施設も検討してほしい。	42	

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-15	避難施設	核シェルターを地下に作ることも検討してほしい。	66	新庁舎は、災害対策本部機能の充実・強化を図り「防災指令拠点」とするため、核シェルターを有する「避難施設」として整備する予定はありません。 なお、区内における、国民保護法に基づく地下避難施設は、地下体育館を併設する小中学校などが指定されています。
他-16	避難施設	新庁舎に核シェルターを整備し、普段はジムで使用するなど工夫する。	2	
他-17	避難施設	国際情勢が緊迫する中、有事の際に対応するために「国民保護法」に規定されている避難施設を国、東京都のみならず、品川区においても区民の安全・安心を確保して避難・保護のため、初期の避難先としての地下避難施設を設置することを検討すべき。	58	
他-18	ドッグラン	屋内ドッグランの併設を希望する。	5	新庁舎は行政機能を集約した施設とするため、室内ドッグランを整備する予定はありません。
他-19	ドッグラン	室内ドッグランの併設を希望する。	64	
他-20	ドッグラン	最近ではペットブームである反面、愛犬と出かけるスポットが品川区に少ないと考えます。ドッグランの設営をすべき。	63	ご意見として承ります。
他-21	喫煙所	喫煙所を設けてほしい。	8	喫煙所の導入有無については、法令順守を原則として、今後の設計段階で検討していきます。
他-22	喫煙所	構内も敷地内も全面禁煙とし、喫煙コーナーを一切設けないでほしい。	44	
他-23	現庁舎跡地	本庁舎跡地は、第二庁舎と広場1号、しながわ中央公園との連動性を高めた防災機能を備えた方が良くはないか。	93	現庁舎跡地についても、災害発生時は周辺の各施設と相互に補完しあえるよう、整備内容を検討していきます。
他-24	現庁舎跡地	現庁舎の跡地をJRに売却する予定と聞いていたが、説明会では跡地の利用は何にするかまだ未定という説明だった。JRに譲り渡す可能性はあるか。	114	現庁舎の跡地は、引き続き区が所有します。

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-25	現庁舎跡地	現区庁舎敷地のアリーナ建設は反対。建設費だけでなく維持費にも多額の費用（税金）が必要。	79	現庁舎跡地の活用について、決定した計画はありません。
他-26	第二庁舎	第二庁舎の利用は、リノベーションして事務棟として継続使用すべき。帰宅困難者一時滞在施設が必要であれば、周辺開発をするJRなどに、災害時の避難先として転用できる空間を開発緩和条件付きで求めれば良い。避難者収容場所は、集中させるのではなく、区内全域に広く分散することを区民として求める。	102	第二庁舎は、現在の機能を新庁舎に集約します。建物は取り壊さずに、主として災害対応などに活用していく考えです。
他-27	第二庁舎	第二庁舎もバリアフリーや老朽化への課題に対応するために、建て直した方がよい。	96	
他-28	第二庁舎	品川区新庁舎整備基本計画（素案）令和4年7月版では、現庁舎の今後の扱いが明確に描かれておらず、「現庁舎敷地および新庁舎建設予定地については、今後、事業の進捗に合わせて都市計画手続きを進めていきます。」とあり、外構計画の周辺からのアクセスでは「第二庁舎へのアクセス」と記載され、第二庁舎は残るようにも読み取れる。	36	

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-29	歴史・文化的建築物の保存	旧国鉄施設と民間施設を有機的に連携させ、一体的な歴史的建造物の雰囲気醸し出す新庁舎を建設してほしい。	58	<p>広町地区の整備計画にあたり、土地の歴史も考慮して検討してまいります。 煉瓦造建築物については所有者がJR東日本のため、同社にお伝えしました。</p>
他-30	歴史・文化的建築物の保存	新庁舎建設整備に際し、品川の大井町と共に100年の歴史を刻んできたレンガ倉庫を移築するなどして、文化施設等として品川区内にはほとんどないランドマークとして、何とかして残してほしい。	27	
他-31	歴史・文化的建築物の保存	煉瓦倉庫の建物を残し、活用することで街の個性を発揮した再開発及び区画整理ができるのではないかと。将来にわたって語り継げる財産として活用すべき。	124	
他-32	歴史・文化的建築物の保存	煉瓦造の御料車庫建物を文化施設などとして前向きに活用してほしい。この建物を品川区の地域資源ととらえ、文化施設やにぎわい施設、交流施設などに活用することをぜひ考えてほしい。	132	
他-33	歴史・文化的建築物の保存	御用（料）車庫を含めて、土地の歴史を残して、未来につなげてほしい。	20	
他-34	歴史・文化的建築物の保存	広町地区が持つ土地の記憶として、また日本の近代化に寄与した鉄道と煉瓦の歴史的象徴として、御料車庫は品川区が後世に引き渡すべき貴重な財産であり、その保存利活用は品川区のまちづくりにとっても重要な要素となるはず。御料車庫の価値について十分な評価がなされ、保存利活用が実現することを望む。	104	
他-35	歴史・文化的建築物の保存	計画敷地には大正初期に建築された煉瓦の「御料車庫」が含まれている。整備計画ではこの赤レンガを活かし、計画の一部として、活用した計画とするよう望む。本整備計画でも是非「御料車庫」を保存活用する計画とするべき。	105	

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-36	歴史・文化的建築物の保存	御料車庫はまちにとっても重要です。ぜひとも保存再生し、市民が使う施設として活かしてほしい。	111	<p>広町地区の整備計画にあたり、土地の歴史も考慮して検討してまいります。 煉瓦造建築物については所有者がJR東日本のため、同社にお伝えしました。</p>
他-37	歴史・文化的建築物の保存	現庁舎と新庁舎の間に存する素晴らしいレンガ倉庫の保全と将来の利用を行うべき。	113	
他-38	歴史・文化的建築物の保存	品川区庁舎新築計画地と現庁舎の間にある、レンガ造の御料車庫の保存再生・利活用を行うべき。	115	
他-39	歴史・文化的建築物の保存	煉瓦造の御料車庫の扱いがどうなるのか心配。せっかくの震災戦災を免れた建築を活かしてほしい。	116	
他-40	歴史・文化的建築物の保存	計画敷地内には大正初期に建設された煉瓦造の「御料車庫」が立地している。本整備計画において煉瓦造の「御料車庫」を保存利活用してほしい。	118	
他-41	歴史・文化的建築物の保存	計画敷地には大正初期に建築された煉瓦の「御料車庫」が含まれている。この煉瓦建築を活かし、計画の一部として活用した計画とするよう望む。	120	
他-42	歴史・文化的建築物の保存	明治初期から広町地区の北側には品川白煉瓦、品川硝子製造所、南側には東京毛織など日本の近代産業を支えた会社があった。大正からは日本国有鉄道大井工場が数千人の従業員を抱え、大井町周辺は共に発展してきた。JRの敷地内には煉瓦造の御料車庫や旧変電所が百年を越えて健在で、煉瓦建築ファンや鉄道ファンにとっては聖地でもある。	103	

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-43	賛同意見	未来の品川のため頑張ってもらいたい。	38	基本理念・基本方針（P5）を実現し、区全体の魅力や価値を高め、これまでよりも住みやすいまちを目指していきます。
他-44	賛同意見	品川区民が誇りに思えるような素晴らしい庁舎になることを楽しみにしている。	40	
他-45	賛同意見	新庁舎は、区民にとっては念願がかなって嬉しい。品川区は住みやすい場所にして頂きたい。	57	
他-46	賛同意見	日本国内に収まらず、世界に誇れる理想を叶えられる品川区であってほしい。	80	
他-47	賛同意見	新庁舎の計画は、品川区庁内で一丸となったプロジェクトチームをつくり進めてほしい。新庁舎の計画敷地は、広町地区再開発地区に含まれているため、他の施設と整合を取りながら計画を総合的に進めてほしい。広町地区再開発は、ただの再開発ではなく、大井町駅に接する“品川区の顔”となる品川区の中心地区であり、区民の期待も大きいため、開発スケジュールを含めて、品川区が主体となって全体を統括しながら進めてほしい。	132	広町地区は、区が策定した「大井町駅周辺地域まちづくり方針」に基づき、大規模土地利用転換による新たな都市機能の集積に加え、区庁舎再編と連携し、区を中心核としてふさわしい複合拠点的形成することを整備方針としています。各地区の整備内容については、開発関係者間で情報の共有や取組の調整・連携を図りながら、一体的にまちづくりを進めているところです。
他-48	出張所	品川シーサイドフォレスト内に、大井町駅前のような行政サービスの出張所を作ってもらいたい。東品川、八潮、南品川、東大井の行政サービスを担える出張所があれば、新庁舎の混雑緩和にもなる。	43	ご意見として承ります。

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-49	他の自治体との情報共有	隣する区との情報共有。	74	<p>新庁舎の整備を完了した、あるいは現在進めている自治体とは、建物の現地視察などを通して情報共有を図っているところでは、区民の皆様への情報発信と意見募集については、今後も様々な方法と機会を活用しながら行ってまいります。</p> <p>「品川区新庁舎整備基本計画（素案）に関する説明会」は、新庁舎をどのような建物にするか、ご説明することを目的に開催したものです。</p>
他-50	他の自治体との情報共有	他の自治体の役所も参考になる。藤沢市役所も新庁舎となり駅から余裕のある歩道でアクセス良く、受付の屋根も高くして広々として、コンビニ併設、時間外窓口あり、江ノ島は見えないが展望デッキもあり、とても居心地が良く、市民が使いやすい。	43	
他-51	説明会	新庁舎整備の話をご区の方から聞くことができて良かった。	23	
他-52	説明会	前回意見を述べた説明会の5か所以上の開催については感謝する。但し、出席した説明会では、残念ながら十分に意見を聞く姿勢は見られなくて残念。	49	
他-53	説明会	何よりも区民の施設ですので、できるだけ多くの人の意見が反映されるようお願いしたい。	30	
他-54	説明会	今後基本設計等の原案時に、こういった説明を実施するのか。	97	
他-55	説明会	説明会を開くのに、土地区画整理事業は所管外だとして答弁しないのはやる意味がない。	30	
他-56	説明会	説明者の女性の語尾が不愉快である。また写し出された文字がピントが合っていないのか不鮮明であった。	30	

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-57	説明会	食堂事業の問題で、職員に対するアンケートは、来庁者の意見を聴いていないので、偏りがあるデータとなっており、新庁舎整備問題と結びつかない。	99	庁舎内における食堂は、職員の福利厚生の一環として導入した経緯があることから、食堂に関するアンケートは職員に対して実施したところです。
他-58	表記の工夫	基本計画内のZ E BやDXなどのカタカナ言葉は、一般区民にはわかりにくいので、わかりやすい言葉にしてほしい。	16	基本計画内で使用しているカタカナ用語や専門用語については、注釈をご参照ください。今後の設計や工事段階においても、区民の皆様によりわかりやすい表現となるよう努めていきます。
他-59	その他	品川区のマークの鏡を作り飾る。	54	ご意見として承ります。
他-60	その他	道路が嘔吐物等で汚れていることが多い。死角をなくしたり清掃を重点的に行ってほしい。	55	ご意見として承ります。
他-61	その他	魚系で美味しいお店がないので、焼き魚定食が美味しいテナントが入ると嬉しい。	55	ご意見として承ります。
他-62	その他	品川区には、葛飾区・江東区のように区民が利用出来るサッカー場が無いので（天王洲グランドはサッカー場ではなく野球場）、フルピッチの人工芝グランドを作してほしい。	79	ご意見として承ります。
他-63	その他	区民としては、自分の住む地域に、医療、防災などの施設が設けられることを願う。	91	医療、防災などの施設の整備については、将来的な行政への要望を踏まえ、総合的に検討していく必要があると考えています。
他-64	その他	再開発の部分では、シネコン、美術館などの文化施設、誰でも気軽に利用できるスポーツ施設があると嬉しい。	101	ご意見として承ります。
他-65	その他	飼い主のいない猫の保護・譲渡のための預かり施設を作してほしい。	133	ご意見として承ります。

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-66	その他	またぜひ劇団四季を大井町に誘致してもらいたい。「四季劇場夏」は、大井町駅から近く、羽田空港や新幹線品川駅からも近く、日本全国から来る四季ファンにとっては大変魅力的な劇場で、ずっと広町にいてほしかった。今は江東区に行ってしまう大変残念。期間限定の劇場なので今は名古屋に行っているが、数年後にはまた東京に戻ってくる可能性が高い。その時にまた誘致出来る様に広場的な空間を作っておいてキャッツが東京に来る時に、誘致出来たら良いと思う。そうすれば、全国からまた大井町にお客様が来てくれる。	135	ご意見として承ります。
他-67	その他	(1) ミスプリ 23項 注釈の※1、※2が逆ではないか。 また、※1で記載されている基準一次エネルギー消費量の説明が尻切れになっていないか。 24項 国の温室効果ガス削減目標の年次は、2013年度、2030年度、2050年ではないか。 (東京都の目標年次は「年」なので、それに引きずられた?) 48項 図表3-22のタイトル「受水槽による飲料水確保」が図表3-21と同じで間違っている。「2回線受電」という感じのタイトルでは。(同一変電所からの本・予備では、それ程自慢できない)	109	ご指摘を踏まえ修正しました。
他-68	その他	図表3-21と同じ題がついている。	99	ご指摘を踏まえ修正しました。
他-69	その他	智慧、技術など、自分が知ってることは教えてお互いに奉仕できる場作りする。	67	区民の様々な交流を促進できるスペースについては、整備方針「協働・交流機能」(P12)に基づき、低層階に設ける協働・交流スペース内に導入を計画しています。

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-70	その他	委託した法人名と、外部の同法人に構想・設計等を委託した際の経緯と内容を区民に公開すべき。	99	ご意見として承ります。
他-71	その他	広町地区再開発は、各地で進む再開発とは異なり、大井町駅に接するまさに「品川の顔」となる100年に一度の大事業である。開発スケジュールを含めて品川区が主体となって全体を統括しながら進めるべき。A地区の説明会ではB地区のことは分からない、B地区の新庁舎整備基本計画の説明会ではA地区のことは分からない、では区民に対して不親切。住宅機能、業務機能、行政機能広町地区全体の計画を品川区が丁寧に説明してほしい。	103	広町地区は、区が策定した「大井町駅周辺地域まちづくり方針」に基づき、大規模土地利用転換による新たな都市機能の集積に加え、区庁舎再編と連携し、区を中心核としてふさわしい複合拠点的形成することを整備方針としています。各個別地区の整備内容については、進捗状況に合わせて適切な時期に、事業者が説明会などにより区民の皆様へ周知しております。
他-72	その他	東急大井町線下の商業施設もまた、永い間大井町独特の景観を作ってきた。区役所通りと呼ばれ、親しまれた賑わいを復活するためにも、再開発地区内の商業施設との緊密な連携が必要。	103	広町地区の整備にあたっては、鉄道事業者や地元商店会なども調整を進めております。
他-73	その他	「コンクリート建築（RC造り）の寿命は47年では?」と会場から意見があった。47年は減価償却の年数で、物理的な使用年数と異なる。イニシャルコストだけでも400億円以上かかる区民の血税を投入するプロジェクトを任せるわけにはいかない。本基本計画に係る副区長、部課長の交代並びに基本計画のゼロベースでの再検討を要求する。	107	ご意見として承ります。

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-74	その他	2011年に本庁舎の耐震工事が行われたと聞いている。そのほか現庁舎の補修、改修、新たな設備や什器の導入が行われている筈である。 これらは一体、施工時及び導入時に、何年現庁舎で使用する予定であったのか。スクエア荏原での配布資料9ページに「事業計画（事業スケジュール）」があるが、こちらと重ね合わせて1枚の線表を作成して、提示してもらいたい。もしその重ね合わせた線表について、導入金額とともに矛盾があるようなら、より詳細に説明するとともに、回答と公表を求める。	107	ご意見として承ります。
他-75	その他	この新庁舎事業は、JR東日本の公共性がない非運輸事業（不動産及び商業施設）と一体となって開発がおこなわれるのは事実であり、かつ現在の利便性のある区有地をJRに譲り渡すことによって開発を進められようとしているようである。そこで「事業計画（事業スケジュール）」と、「JR東日本の開発及び広町全体の開発事業のスケジュール」を1枚にして提示してほしい。各またそれに関連して品川区とJR東日本との契約や土地取引に関して契約書があるはずなので、それを区民に公開すべき。	107	広町地区では、土地区画整理事業により地区内の道路や駅前広場などを整備し、土地の区画を整えていきます。JR東日本および品川区の所有地については、それぞれの事業者が建築計画を進めていくものです。 なお、JR東日本の開発計画については、令和7（2025）年度中の竣工予定と聞いています。
他-76	その他	配布資料に一部赤字で「設計・施工の各段階で区民や区の意向を反映できること」と書かれている。 この記載によるとこのパブリックコメント以外に区民の意向を反映する場があると考えられる。「設計・施工の各段階」において、区民の意向を反映できる場を、いつ設けるのか、その内容を反映するのか。	107	基本計画の策定にあたっては、本パブリックコメント、令和4年1月に実施した区民アンケート、8月に実施した説明会および令和3年5月より開設している電子意見フォームなどにおいて幅広く意見を頂戴し、計画案に反映したところです。 今後の設計・施工の各段階においても、区民の皆様への情報発信と意見募集については様々な方法と機会を活用しながら行っていくとともに、可能な限り計画に反映できるよう努めていきます。

7 その他

※意見番号は、P64以降に掲載している意見原文の番号です。

番号	項目	意見趣旨	意見番号	回答
他-77	その他	<p>「これまでに寄せられた主な区民意見」について、アンケートが行われたのを知らなかった、という声がある。また回答数を見ても、当区人口規模からみて1桁から2桁少ないのではないか。品川区新庁舎整備NEWS第5号によると、委員からの意見として、「パブリックコメントへの意見は少なかったが、中身は濃いのではないか」との発言が掲載されているが、区民の回答数が少ないことが、中身の濃い意見と言えるのだろうか甚だ無責任な発言である。本パブリックコメント募集も含め、もっと大々的に宣伝すべきで、宣伝が足りないと考える。せめて区内で選挙を実施する場合並みに、宣伝、周知する必要がある。説明会の回数と場所も増やすべき。</p>	107	<p>アンケート調査については、統計上有効と考えられる標本数を得ています。詳細については、区ホームページ掲載の「品川区新庁舎整備基本構想の策定に向けた区民アンケート報告書」および「品川区新庁舎整備基本計画の策定に向けた区民アンケート報告書」からご確認いただけます。区民の皆様への情報発信と意見募集については、今後も様々な方法と機会を活用しながら行ってまいります。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
1	<p>初期費用よりランニングコストが膨大とのことで、地下の構造などで可能ならば、他区でも例のある高層化の上階を賃貸マンションにし、賃料をコストに充てるのが良いと思う。</p> <p>せっかくの一等地なので、広場は誰も使わない単なる広場にならないよう工夫してもらいたい。カフェを誘致し、全天候に対応できる屋内休憩スペースも設置するなどして、わざわざ遊びに来る魅力を作してほしい。</p> <p>大井町駅周辺には児童センターがなく、今の時期のように猛暑でも子どもが安心して過ごせる場所が必要だと思う。広くなるのならば区役所建物内に作ってもらいたい。単なる児童センターではなく、愛知県豊橋市のこども未来館ここにこのように品川区の子育て支援の目玉になるようなシンボリックな施設が良いと思う。</p>
2	<p>今日の朝刊に東京の地下鉄に核シェルター検討の記事を見ました。北朝鮮の核攻撃に備えてだそうです。明るい未来を子供や孫達に残してあげたいのに、こんな不安な時代になってしまい、悔しいです。私は品川区の新庁舎に隣の韓国やヨーロッパの国では当たり前前の核シェルターを残してあげたいと意見申し上げます。例えば核シェルターはフィンランドでは日常はジムで使用しているそうです。地震にも強いと聞きます。ぜひ品川区一安全な場所を作ってあげて欲しい。</p>
3	<p>庭での見晴らしが良く、目が良くなるような空間が欲しいです。</p> <p>スポル品川大井町のように、リラックスできる椅子と、自動販売機が欲しいです。</p> <p>視覚的に、広々とした空間が希望です。</p> <p>屋上でも良いのですが、気軽に行けるように、地上にできていると嬉しいです。</p>
4	<p>スポル品川大井町のように、公衆衛生面でも、夜間は、庭を戸締りした方がいいと思います。</p> <p>コンビニや、レストランを併設するなどして、きれいなトイレもあると助かります。</p>
5	<p>屋内ドッグラン併設希望</p>
6	<p>鍵付きの授乳室やおむつ替えスペースが複数箇所欲しいです。現在本庁舎にある形の授乳室は入る際に後ろから知らない男性に覗かれるなど危険を感じたことがあり、安全性の保たれたスペースがあると子どもを連れていかなければならない際の負担軽減になるかと思えます。</p> <p>また、働く職員の方が来庁者対応ブースから見える形だと、休憩をとっている時間や携帯電話を操作している時など不必要なクレームを受けかねないと感じております。職員の方のためにも、執務ブースは来庁者からある程度見えない形になると良いのではと思います。</p>
7	<p>今の庁舎も耐震工事をしたばかりで、あと13年ほど使用可能と聞いている。早急に新庁舎を建てる理由はどこにあるのか？額も高すぎると思う。建物の高層化反対です。地震や災害時にエレベーターがとまらないか心配です。ホテルなども駅前にたくさんあるので、必要ないと思う。作るなら、図書館や保育園や美術館など、区民の生活を豊かにするものを併設してほしい。非常階段で降りるなら、4.5階で十分ではないでしょうか。お金を余計に使わないでほしいです。</p>
8	<p>コミュニティバスの発着場所の設置。</p> <p>喫煙所の設置。</p>
9	<p>出来る限り、緑を取り入れて、季節感や花々の安らぎを感じるスペースを、自然との共生を取り入れてください。</p>
10	<p>現状の案では議会が高層階（最上階）に配置されているが、議会は1階や地下など、区民がアクセスし易い低層階に配置すべき。高層階に議会を配置することで区民と議会の物理的な距離が遠くなり、整備方針である「議会機能：区民に開かれ、使いやすい議会機能の検討を進めます。」と矛盾するため。</p> <p>また、展望の良い高層階は、展望スペースとするなど区民が広く使える場とすべき。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
11	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ耐用年数があるにも関わらず建て替えをする以上、都心によくある無機質な高層ビル形式ではなく、エコルとごしのように環境に配慮された技術を駆使し、ぬくもりがあり、友好都市の資材を使うなど建て替えの意義がある建物を建設してください。 ・歩行者デッキだけではなく、コミュニティバスを通すなど年配、子連れ、障がい者の方への配慮をしてください。（大崎～区役所～大井町を循環するなど利用しやすいコミュニティバス） ・今の庁舎周辺は殺風景ですので、周辺を緑化しぬくもりある建物にしてください。 ・高層化するとビル風もひどくなりますので、とにかく周辺環境を配慮してください。建ててから、高齢者や幼児がケガをしてからでは遅いです。 ・無機質ではなく数十年経った時に、保存を望まれるようなデザインの建物にしてください。 ・外観など決定前に区民の声を聴きいれる、機会を必ず設けてください。 ・区民が支払った税金を使って建設する、という意識を常に持って取り組んでください。
12	<p>大崎在住の高齢者世帯です。 現区役所も急坂で困難でしたが、さらに遠くなるのは大変です。 大崎→区役所の循環バスを運行して頂きたいです</p>
13	<p>誰にでも優しい新庁舎になることを期待します。</p>
14	<p>経済状況の今やるべきか。他にコロナ対策・医療・くらしの対策にお金をかけた方がいいのではないか。 JRに便宜を図るため、儲けのための開発ではないか。</p>
15	<p>非常時に備え、屋上にヘリポートを設置すれば良いと思います。</p>
16	<ul style="list-style-type: none"> ・ここに図書館や生活相談するスペースがほしい。区民協働スペースを、区民が来庁しやすい雰囲気にしてほしい。 ・庁舎全体が大井町駅に近い方がよい。 ・説明文書のカタカナ（例：Z E B、D X）等、一般人にわかりやすい言葉にしてほしい。 ・基本理念の「にぎわい都市」、「国際都市」は本当に区民が望んでいるものとずれている気がする。
17	<p>これは情報提供としてはよいが、オープンハウスは、駅の構内とかでする方が多くの方に来てもらえる。 合意形成をするなら、WS形式と説明会、意見交換会をたくさん実施してほしい。</p>
18	<p>品川区新庁舎の説明会に行きましたが、質問の時間が少なくて質問できませんでしたが、保健センター機能を一部新庁舎に移転するとの事ですが、どの部分か聞きたいと思いました。 私達は、高次脳機能障害と言う新しい障害の団体ですが、高次脳機能障害は精神手帳になり、窓口は保健センターです。身体に障害のある人は身体手帳で、窓口は福祉課になります。精神手帳の窓口も新庁舎になると、手続きが一か所で済み、情報も共有して頂けるとと思います。保健センターの機能のうち、精神手帳の窓口だけでも、新庁舎に移転して欲しいと思います。</p>
19	<p>子供が遊べるフロアを是非検討頂きたい。 品川区は室内で子供が遊べるスペースが少なく、児童館など小規模なものとなっている。 また、区役所を子供と訪れる際に待機スペースがなく、行きづらい。 区役所で色々なイベントを開催することも、区政の関心に繋がるものであり、そのような区民が集う場所にしてほしい。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
20	<p>新庁舎単独の計画とせず、広町地区全体をひとつのまちとして計画すべき。 100年に一度の大事業となるので、全国にほこれるまちづくりをしてほしい。 都度ごとに、計画の進捗状況を開示して下さい。 御用（料）車庫を含めて、土地の歴史を残して、未来につなげて下さい。 素案の中には、全国共通のスペックしか書かれていない。 この地区特有の条件に対する記述が全くない。…のが残念。</p>
21	<p>庁内の案内、表示などは高齢者にも分かりやすいようにして下さい。 カタカナ言葉には、日本語も付けて下さい。 庁舎の出入口は4方向（4面）だと住民は利用しやすいですね。 太陽光発電は予定されていないのですか。</p>
22	<p>保健センターの一部機能が新庁舎に入るとお聞きし、大変有難く思っています。 私達障害を持つ者が支援を受けやすくなるように、福祉課と保健センターの連携が出来るよう、体制を整えて頂きたいと思います。</p>
23	<p>新庁舎整備の話は区の方から聞くことが出来て良かった。 新庁舎整備以外の質問が多くナンセンスな方ばかり</p>
24	<p>日頃は区民生活の維持、向上に向けて務めていただいておりますこと、感謝申し上げます。 さて、新庁舎の件ですが、以下のとおり意見申し上げます。 ①庁舎は、区民のシンボルであり、ランドマークであるべきと考えますので、立派なものにしてもらいたい。 ②災害に強く、また、住民が使いやすいもの。シナモロールなどところどころにデザインするなど、遊び心あるもの。区民の憩いの場、子供たちが楽しめる場が望ましい。 ③情報発信や学習の場にしてほしい。いまある最高の省エネ技術を導入したり、最高の防災施設にしたり、他の手本になって欲しい。誇れる建物にしてほしい。 ④一つ気になるのは、立地です。あの場所は、周辺より低く、豪雨のときに水没しないか心配です。その対策をきちんとして欲しい。区役所が災害にあうと、区民の安全がまもれません。 予算が限られていると思いますが、最大限、最新の技術を導入してください。 以上、よろしく願います。</p>
25	<p>既存の区役所は最寄り駅からのアクセスが悪く、バスが運行しているわけでもないためアクセス性に問題があったと思います。 新設区役所は大井町駅から歩道橋が作られるとのことですが、後期高齢化社会のこんにちで歩いて移動するという考え方より、りんかい線経由で地下から新区役所へ行けるようになるまたは歩く歩道（空港などに設置されているもの）の設置をされた方がよいのではないかと考えます。 また、現在保健センター（難病手続き・自立支援手続き）と区役所が品川保健センターは最寄り駅が全然違います。 保健センターの機能を新区役所に組み込んでほしいです。1箇所で手続きが完了できるような形が区民としては助かります。 併せて、転入届や身体障害者の転入手続き等可能な限り同じ場所で、同じ書類もしくはタブレットを用いて必要最低限の書面記載でできるようにご検討頂きたいです。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
26	<p>予算、土地の価格についての情報がありません。また新庁舎についての説明は大変理解できましたが、現庁舎がどこまで使えるか、金額、予算データに関する情報がほとんどありませんでした。 JR東日本と交換する土地の価格がいくらなのか？交換して損するのか得をするのか。まったく金額の提示がありませんでした。都市開発課から説明を求めます。</p>
27	<p>新庁舎建設整備に際し、品川の大井町と共に100年の歴史を刻んできたレンガ倉庫を移築するなどして、文化施設等として品川区内にはほとんどないランドマークとして、何とかして残していただきたいです。 ましてや、御料車の車庫として使用されている歴史的建造物を取り壊して、その残骸を使用したモニュメントを建てて終わらせようとする姿勢に疑問を感じます。 歴史的遺産ではないと判断した専門家というのは何の専門家なのでしょう？担当の皆様は一所懸命やられているとは思いますが、誰がそんな判断をしたのか把握されているのでしょうか？ 歴史・文化は一瞬で壊し、なくすことができますが、それを取り戻し復活させるにはいくら時間とお金を積んでも戻らないことを理解していただきたいです。 何でも便利や安全という旗印と引き換えにして行うビルド&クラッシュばかりでなく、品川区にとって本当に何が「まちの宝」なのかをよく考えてください。</p>
28	<p>具体的な説明会（インタラクティブな）をより細く開催する。 アンケートの回答率が余りにも少ないので高齢者に対してはHPやSNSは使用できないと思われるので別の方法を検討して多くの意見を集収して活用してもらいたい。</p>
29	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺無電柱化を検討しても良いのではないか ・可能かどうかかわからないが、JRの車両基地が良く見られるのなら、そのための展望設備を作っても良いのではないか
30	<ul style="list-style-type: none"> ・説明会を開くのに所管外だとして答弁しないのはやる意味がないし、無責任だと思います。せっかく説明会をやったのにそう思わせるのは区への信頼をうしなうものになります。 ・ビジュアルで説明しましたが、説明者の女性の語尾が「…です」とか「…ます」と言うのは適切でふゆかしいです。 <p>また、写し出された文字がピントが合っていないのか不鮮明でした。改善してください。 ・何よりも区民の施設ですので、できるだけ多くの人の意見が反映されるよう、答弁もしっかりお願いします。</p>
31	<p>品川区民は今長引くコロナ禍の中 会社や店、倒産があいつぎ多くの人達が職を失わない生活苦でどうやって生きて行けるのか苦しんでいます。 又、コロナにかかっても病院の受入れ先がなかなかみつからない助かる命も死に至ってしまう現実、年金者はさらなる追い打ち年金はへる全ての物が上る食るものにも困る。本当に毎日が大変な生活です。 新庁舎の前に急いで区民の為にやる事があるのではないですか 区民をたすけて下さい。 どうしても進めるのでしょうか、2、3年おくらして下さい</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
32	<p>新庁舎建設に反対します。 区民が経済的に苦しい中、400億円以上もかけるのは反対です。 区内で高層ビル開発が多数あり、税金の使い道にギモンです。</p>
33	<p>広場1号の部分にスポーツ関係の施設を設けることは、可能でしょうか？ 体育館は維持管理は高いですが、屋外の平面施設はできるのではない。 周囲施設でのウォーキング、ノルディックウォーキングができる施設を確立できるかと。 子どもたち、高齢層のスポーツ環境を整えて下さい。 スポーツを管理する、指導員の勉強の場も欲しいです。</p>
34	<p>区内の障害者施設の自主製品販売ショップの設置。 区としてしっかり障害者の自立を後押しして下さい。</p>
35	<p>立地について 大井町駅前の広大な用地は、商業・経済の活性化に最適な場所であると思われます。そこを区役所が立地する必要があるほど交通の便が悪い品川区とは思えない。商業施設や企業誘致に活かすべきではないでしょうか？ 「DXを推進し区民の利便性向上と業務効率化を目指します」とあるが、将来的な国レベルでの人口減少とDX推進を踏まえて延床面積の増加は納得いかない。DX推進によって住民は来庁機会も減るモノと思われるがなぜ面積増加の検討なのか？ 「ハザードマップ」によると、新庁舎計画地の洪水による浸水の想定は、0.1～0.5m未満であるとの事であるが、そもそも親水想定区域内に新庁舎建設すべきではないと考える。 また、災害時想定として耐震性の高い中圧ガスおよびコージェネレーションシステムなどによる電源のバックアップを確保するのは良い事だと思う。その上で、そのシステムを充実させ、太陽光パネルの設置は見直して欲しい。 事業方式の比較について、DBやPFIが従来方式よりもメリットが少ないという評価自体が疑問である。客観性に基づく評価が行われているのか？</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
36	<p>・品川区新庁舎整備基本計画（素案）令和4（2022）年7月版について現庁舎の今後の扱いが明確に描かれておらず、どうなるか心配です。理由はP3で「現庁舎敷地および新庁舎建設予定地については、今後、事業の進捗に合わせて都市計画手続きを進めていきます。」とあり、曖昧なのとP50で「6. 外構計画 1) 周辺からのアクセス・第二庁舎へのアクセス」と記載あり、第二庁舎は残るようにも読み取れます。</p> <p>・P2 課題「⑦交流スペースや交通部分面積などの不足」に関して、駐車場が地下駐車場で便利になるのは良いですが駐車料金が跳ね上がりませんか？駐車料金が言及されていません。バリアフリーが必要な方は地下駐車場が必要ですが、現在の駐車料金サービスが無くならないか心配しています。（P17の現在のタイムズ品川区役所は「協定先や支援団体車両の駐車」と記載あり、一般利用の駐車が地下のみとなることで無料サービスが無くなるか心配。引き続き使わせてほしいです）</p> <p>・P39 2) 動線計画の考え方 歩行者デッキのことしか図に書いてないので、他の自転車・自動車・バス・タクシーについて考え方・意気込みしか読み取れませんでした。歩行者デッキの建設ばかりが目立ち、本当に動線が議論されているか疑問でした。</p> <p>・P41 4) ゾーニング計画の考え方 高層階が議会機能のみに違和感。「展望機能」記載なし 高層階が議会機能のみになっており、議会向き資料・議会の思い上がり・尊大さを感じました。このまま高層階が議会御殿にならないか危惧しています。 機能設計も問題あり非常に残念です。低層階に集まる区民と、高層階の議会とで分断されている象徴です。この配置は多くの区民から波紋を生むと思います。 低層階すべてに交流機能を偏らせてしまっていることも問題だと思います。展望ロビーで交流機能の一部を展開し、展望ロビー兼議場で、議場が展望ついでに眺められるならば理解できます。本来であれば、高層階のうち、少なくとも最上階層は展望階を設けて然るべきです。現庁舎でも屋上ルーフで飛行機を眺めた思い出があり、他の庁舎でも一般的に展望階は設けられているからです。それについて具体的に言及せず（P50屋上の緑化のみ）、高層階が議会機能中心とは極めて内向きで、残念な庁舎に見えます。富士山まで見えなくとも、新庁舎の場所柄、線路が展望でき、飛行機も展望できる場所である価値に着目されていないようです。</p> <p>・エレベータ 来庁者と職員向けの2種類しか設けておらず、最上階にアクセスする高層階専用のエレベーターもありません。何基のエレベーターを設けるか書かれていないため、また混みそうで心配です。</p>
37	生理用ナプキンがもらえる機械、（オイテル等）の設置
38	未来の品川のため頑張ってください

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
39	<p>精神障害者施設を作っていただきたい。 一人で生活が難しい精神障害者は、遠くの施設に行くように言われてしまいます。 住み慣れた街で、精神障害者が暮らすことは出来ないのでしょうか？ SDGSや、ジェンダー、障害者など対策がいろいろと行われる中 精神障害者への対応策は聞こえてきません。 少しでも、精神障害者でも、日常を取り戻せるよう。 お願いいたします。</p>
40	<p>品川区で生まれ、育った者です。この度の品川区新庁舎の完成を楽しみにしております。 品川区役所の新庁舎は、周りに遮るものがなく、東京湾を綺麗に渡すことが出来る素晴らしい立地ですので、都庁や文京区のシビックセンターに負けない展望スペースを作って頂けると、区内の住民だけでなく、観光客の方達にも品川区の素晴らしさを分かって頂ける良いきっかけになると思います。 また、副業などで事業を立ち上げる若い方が増えており、今後もその傾向は益々高まるかと思えます。シェアオフィスの空間（例えば、品川産業支援交流施設・SHIPのようなシェアオフィス）にフロアの一部を使わせて下さると、区内の中小企業（特にスタートアップ企業）を応援・支援していただけるかと思えます。 その為には、IT化を進め、ペーパーレス化を推進されるとオフィススペースがかなりコンパクトになるかと存じます。 (私の勤めていた会社は、事務所移転の際に、キャビネットの数を移転前の1/3まで削減しましたが、返って業務効率は上がりました。) 品川区民が誇りに思えるような素晴らしい庁舎になることを楽しみにしております。</p>
41	<p>確かに現在の区役所は大井町駅からは遠くて高齢者や障害者にとっては不便な立地ではありますが、この新型コロナウイルスによる経済的なダメージを考えると、区営住宅と高齢者住宅を先ずは考えて福祉活用で生活している区民を考えるべきだと思います。なので、区役所と福祉事業が一体となった特例区営住宅併設を考えて、福祉医療区政が一体となるモデル事業を都内に作るからこそその超高齢者社会を迎える今の喫緊の課題と考えこれが全国のモデル事業に発展して欲しいと考えます。</p>
42	<p>庁舎内に近隣住民が利用できる図書館を作ってほしいです。 大井町駅近くには図書館がありません。 また災害時にペットと同行避難ができる施設もご検討ください。 駅前の再開発にあたり、駅周辺の道路の整備もお願いしたいです。 大井町駅東口から品川駅方面へ向かう線路沿いの道は、細く電信柱が道中に立っていたりします。 いつも混雑しており、自転車の通行量も多いのでとても危険です。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
43	<p>ご意見させていただきます。</p> <p>現状の区役所は大井町駅から遠く西側にあり、区の東からのアクセスが非常に悪いです。若者の私でも行くのが面倒に感じる程です。新庁舎予定地も少し駅に近づくが、遠いことに変わりがなく、歩道を走る自転車も多い印象で、自転車侵入禁止の来庁者専用歩道があればと思います。</p> <p>また、現状行政サービス拠点がない東品川住民としては、区役所行きのシャトルバスのようなものを定期運行して欲しいです。現在の都営バス大井町駅終点ではなく、区役所に向かうことを目的とした公共交通機関の新設を希望します。</p> <p>また、いまテナントがほとんど入っていない品川シーサイドフォレスト内に、大井町駅前のような行政サービスの出張所を作っただけとありがたいです。イオンと駅があって人の往来も多く、周辺の居住者もここ最近増えてますので、東品川、八潮、南品川、東大井の行政サービスを担える出張所があれば、例えばイオンや駅に行くついでに寄ることもできますし、新庁舎の混雑緩和にもなるかと思います。</p> <p>他の自治体の役所も参考になるかと思います。ここ最近は再開発が多いかと思うので。私の地元の藤沢市役所も新庁舎となり駅から余裕のある歩道でアクセス良く、受付の屋根も高くして広々として、コンビニ併設、時間外窓口あり、江ノ島は見えませんが展望デッキもあり、とても居心地が良く、市民が使いやすい印象です。</p>
44	<p>構内も敷地内も全面禁煙とし、喫煙コーナーなんか一切設けないで欲しい。</p>
45	<p>子供連れでも気軽に利用出来るフリースペースや公園の様な場所を作って欲しい。</p>
46	<p>品川区民以外でも、すべての年代が気軽に休憩利用できるランチタイム（980円～1800円程度）、ティタイム、（350円～1500円程度）ディナータイム（1000円～3500円程度）利用可能な「美味しい」展望レストランを併設してほしい。</p> <p>品川区役所は、JRや東急の大井町駅から近く、立地条件並びに利便性も良い。 さらに、高層の新庁舎は、眺望も良さそうである。</p> <p>行政のレストランも、食べログ等のグルメサイトで評価される時代なので、料理などが美味しくないのはダメ。</p> <p>不特定多数の人が出入りする一般階、たとえば1～3階と展望レストラン階のみの直通エレベーターを設置するなどして、区役所職員や議員などの業務階と切り分けることも必要。</p> <p>21世紀の行政新庁舎には、行政業務だけではなく、メディアや人々の話題になるようなインスタ映える施設も必要だと、わたしは考える。 参考例) 練馬区役所の展望レストラン⇒ (https://nerimatenbourestaurant.owst.jp/)</p> <p>新庁舎は、現区民が喜び誇れるだけでなく、日本中、東京中の人たちが品川区に憧れ、住みたくなるようなシンボリックな新庁舎であってほしい。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
47	<p>子供が小さい頃、一番近い下神明駅がエレベーターがなく、ベビーカーに子供を乗せたまま降りて怖い思いをした思い出があります。また区役所までの道でちょっとした段差でもつまづいたりしてしまう方がいらっしゃいます。区役所までの道のりは全てフラットで、段差なく行けるようにして欲しいです。</p> <p>次に訪れる方が多い戸籍や住民票の窓口で待ち時間が長く、でも座れる場所がなく、区役所疲れをしたことがあります。また小さなお子さんを連れて来られる子育て関連窓口や身体の不自由な方、高齢者関連の窓口は、出来るだけ区役所の出入り口に近い所にできないものではないでしょうか？子連れで出かけることはとても大変なことです。区役所に行くのが少しでも負担を減らせるようにしてあげられないでしょうか？</p> <p>区役所近くに分散している子ども家庭支援センターや観光プラザ等も全て同じ庁舎内に入らないのでしょうか？例えば転入してきてきた時にフロア移動がないまたは少なくできるようにするなど動線を考えて頂きたいです。</p> <p>区立学校の生徒や区民の方の作品を掲示や展示するスペースを作ったり、憩いのスペースや展望室、区内のお店の商品を販売するスペースを作ってみてはいかがでしょうか？</p> <p>区民の方にも広く解放できる品川食堂を作って欲しいです。</p> <p>近くに品川中央公園もありますが、壁面緑化や環境に配慮した太陽光発電などを取り入れ、雨水はトイレの処理水に活用するなど検討して頂きたいです。</p> <p>真面目に働く区民の税金で作る庁舎です。駅からバリアフリーで雨にも濡れず行ける品川区役所になって欲しいです。</p>
48	<p>予算に関して 「合計400億円以上」と言うのはいかなるものでしょう。家計でも〇〇円以内に収める、と言う考え方が一般的かと思う。そもそも現代はリモート、縮小傾向にある世の中に反して面積を広げる事にも違和感を感じる。面積を増やせば当然維持費も高む。50年後の人口も減少しているであろう。更なる増税をして維持する事になるのか？</p> <p>ご一考願いたい。</p>
49	<p>素案に対して反対です。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 前回意見を述べた説明会の5か所以上の開催については感謝します。但し、出席した説明会では、残念ながら十分に意見を聞く姿勢は見られなくて残念です。 2. 素案について、基本的に現段階での建築は必要がないと思います。 3. 高層化については、高齢者や障がい者等にはわかりにくい。執務室が上階にあるが区民へのサービスとの関係ではどのような配慮がされていない。議会棟も上層階では、区民からの陳情も受けにくい。 <p>以上</p>
50	<p>現区役所から大井町駅にかけての通りは、非常に道幅が狭い中ガードレール内の歩道を大量の自転車が行き交います。区役所移転事業を含め駅前区間を整理することにより、人の往来がこれまで以上に増えるのだとすると、さらに自転車がが増えて間違いなく交通利便性が損なわれ、自転車の交通ルールを守らないことによる自転車事故も増えることが予想されます。</p> <p>区役所移転時には、広い道路を確保して自然誘導することで現区役所から大井町駅にかけての自転車量を減らし、一般の方も止められる一時利用駐輪場などを整備して駐輪場に向かう自転車の往来を減らすなど、意識的な交通対策を取るようお願いいたします。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
51	<p>第4章1. 基本計画の施設規模について。行政・防災・議会機能の規模を約35,000㎡と算出した根拠について、もう少し詳細に記載して欲しいです。</p> <p>第2章にオンライン化により「行かない」「書かない」窓口の実現と記載があること、また、職員のテレワーク推進等を考慮すると、従来の規模算定（一人当たり床面積）とは違う算定方法もあるかと考えます。昨今の働き方改革を踏まえた執務空間や、住民窓口の規模算定を検討していただけますと幸いです。</p>
52	<p>新庁舎の設計や耐震構造等のハード面は専門家にお任せしたいが、ソフト面に関しては、庁舎建物内に、「喫茶店」もしくは、スターバックスのような高価格カフェではなく、ドトールコーヒーやエクセルシオール等の低価格でコスパの良い「カフェ」を入居させてほしい。コンビニエンスに併設する広めのカフェスペースでも良い。区役所に所用がある家族同士の待ち合わせ場所としても、猛暑の休憩場所としても、区役所庁舎内に「着席できる」カフェスペースがあると、とても助かる。</p>
53	<p>防災対策、建設費抑制の観点から、高層ではなく第二庁舎を活用しながらの低層庁舎とすることを望む。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 震災時および火災時等のエレベータ使用不可時の身体障害者脱出対応 議会機能が高層階にあることによる高齢議員脱出対応 万一の火災時の対応能力強化 - 高層化による基礎及び躯体構造強化費用削減 - 来訪者や職員の業務における垂直移動削減による生産性向上など新しい自治体庁舎のあり方の具現化（次世代型庁舎に関して他自治体の範となる） <p>既存建築物や用地の最大限の有効活用、税資金の有効活用で最大限の効用を得るべく、実現していただきたい。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
54	<p>窓を大きく光を取り込み明るく玄関を二重にし夏は涼しく冬は暖かく園庭を1階にする。 物を少なく、レイアウトの変更が出来るようにする。 段差をなくし転倒をなくす。 野宿をしなくて済むように宿泊出来る部屋を作る。 郵送でお問い合わせの時は東五反田郵便局留めをお願いします。 広報とあて先が載っていたのですが本日(8/15)見当たらないので区役所あてに出しました。 新しい区役所についてのアイデアを送らせて頂きました 思いついた時に書いたので字が乱れていたり職務経歴を書いてしまい雑なあつかい方かもしれません。申し訳ありません。何か解らない事があ りましたら連絡を頂ければと思います。</p> <p>災害に強い 地震 停電 水害</p> <p>窓を大きく広くお陽様を取り入れて室内を明るくする。ガラスは割れにくい素材。段差を少なく(なくし)転とうしなくて済むようにする。 転ばない素材を使う 野宿しなくて済むように宿泊出来るようにする 屋上にある庭園を1階に作り子供、大人みんなが楽しめ笑顔あふれる場所にする 玄関を二重にし、夏は涼しく冬は暖かくなるように木材を多く使い”暖かさ”を出す。 テレビを置いて情報を得られるようにする。 今3階エレベーター横の口を使うとしたら 品川区のマークの飾りを作る 品川区のマークの鏡を作り飾る(区内のガラス専門家に頼む) 物を少なくしレイアウトの変更しやすいようにする</p> <p>※判読できなかった部分については、□と表記しています</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
55	<p>1. 2021年10月に、大井町駅の公衆トイレでわいせつ事件が起こった。大井町はたくさんの飲食店があるおかげで、夜遅くも人通りがあるので駅前ですんなり起こるのかと驚いた一方、あのトイレの作りだと犯罪に使われそうだなと納得もした。市庁舎や周りの歩道の整備については、死角や陰ができないよう、人目につく、開けた環境にして欲しい。子育て世代も多いので、家族連れが安心してゆったりできる空間があると嬉しい。</p> <p>2. 現在 朝の通勤ラッシュ時は大井町駅から市庁舎方面に向かっての人の流れが多く、大井町住民からすると逆流でキツイ。大井町線改札からイトーヨーカドー方面に降りる数段の階段のところと、そのあたりの歩道が人流に対して狭いので、広くしてほしい。</p> <p>3. 飲み屋が活況なのはとても嬉しいが、朝歩いていると吐いた後が至るところにあり、不快。特に上記で記載した歩道のあたりにあるとますます人が通れない。しかけ学的な観点から吐きにくい環境にしたり（壁を斜めにして吐けそうな角の場所をなくすとか）、清掃を重点的にするなどしてくれるとありがたい。</p> <p>4. 現在の品川区役所は、ご案内係の方がテキパキと対応してくださり、とても効率的。火曜延長などもありがたい。移転しても同じかそれ以上のサービススピードを保てるよう、ハード面でもソフト面でも工夫してほしい。</p> <p>5. 図書館の本の貸し出し&返却窓口も設置してほしい。</p> <p>6. 大井町は肉系で美味しいお店は多数あるが、魚系で美味しいお店がないので、焼き魚定食が美味しいテナントが入ると嬉しい。</p>
56	<p>庁舎内で働く全ての人が、しっかりと休憩を取りリフレッシュできるよう、来庁者（大衆）の目に触れない勤務者専用の休憩スペースを確保した設計になれば良いと考えます。</p>
57	<p>新庁舎については、5年前から少し建て替えの話などは私も少し聞いていたので、今回から本格的に方向性が向いたことになりました。区民にとっては念願がかなって嬉しい結果繋がりました。品川区はやっぱり住みやすい場所にして頂きたいと考えております。宜しくお願い申し上げます。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
58	<p>次の項目について、要望いたします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・財政規律を保持することは肝要であるが、5・10・50年先を見据えて、しっかりと財源を確保して新庁舎を建設して下さい。 ・国際情勢が緊迫する中、有事の際に対応するために「国民保護法」に規定されている避難施設を国、東京都のみならず、品川区においても区民の安全・安心を確保して避難・保護のため、初期の避難先としての地下避難施設を設置することを検討して下さい。 ・将来のエネルギー事情に鑑み、多様な供給源を考えるとともに、循環・省資源・再利用型のサイクル構造を構築することを検討して下さい。 ・予期せぬ異常気象、首都直下地震等々の大規模災害を想定して、強靱躯体を工作するとともに、災害発生時の区役所の業務継続能力を有するバックアップ装置を重層的に構築して下さい。 ・災害対策を強化するため、地下雨水貯留槽を設置して下さい。 ・旧国鉄施設と民間施設を有機的に連携させ、一体的な歴史的建造物の雰囲気を出す新庁舎を建設して下さい。 ・「国際平和・人権尊重」都市宣言品川にふさわしい新庁舎を目指して下さい。 ・地域振興を図るためにも自治体と多様な各種協定を結び、各地の特産物・農産物・海山産物の産地直送の販売スペースを新庁舎内に作って下さい。 ・議会図書室をはじめ議会施設を子どもたち・区民のために開放して、政治・行政の学習教育の場にする等柔軟性のある空間を作り、利活用の拡大を図って下さい。 ・将来の品川像、或いは直面する行政諸課題を解決・検討するための品川区独自のシンクタンクの常設の機構を設立し、有識者・区民・業界団体関係者等の横断的な会議を設置し、そのための特設の会議室を創設し、地域住民も自由に利用できるようにして下さい。 ・区長応接室を設置して、今まで以上に区長・副区長と区民とのふれあいの機会を増やして、意見交換の活発化に寄与して下さい。 ・AI技術の積極的導入と人智との連携による的確な行政判断・業務の効率化・作業の迅速化を期し、情報システムを推進のための総合情報管理処理センターを創設して下さい。 ・ワンストップ行政の推進・実現を図るため、デジタル化を推進して行政組織の再編と簡素化を行い、利用者の利便向上に資するフロアーを作って下さい。そのために必要に応じて、フリーアドレスのある業務室を設置して下さい。 ・各課にまたがる納付金・給付金を一元管理するシステムの構築を図って下さい。 ・生涯学習教育を充実するために、IT装置を具備した会議室・集会室・サークル室を設置して、「憩いの場」、「集いの場」「学習の場」を提供して下さい。 ・感染症対策を強化するため計画されている保健所センターについては、初期応急医療措置が施される組織とし、人材と危機の配備をお願いします。また、区民健康増進室等を設置して、健康情報発信機能センターとして保険業務を充実させ「健康長寿都市品川」を現実することに努めて下さい。 <p>※次ページにつづく</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
58 (つづき)	<p>・食堂運営については、抜本的な見直しを行い、地域住民の食への関心を高めるとともに、特に学校給食のない夏休み期間中等に区内の「子ども食堂」の枢要機能の役割を果たし、園児・児童・生徒等に食事の提供が可能になるサービスを実施して下さい。また、1人暮らしの高齢者・障害者の皆さんに配食サービスの検討もお願いします。更に今般の新型コロナウイルス対策の課題の一環としての自宅療養者への食事配布支援センターとしての運営をお願いします。勿論、職員の福利厚生充実の観点からも栄養バランスのとれたメニュー作りにも心掛けて下さい。そして設置場所は、上層階に展望ロビー室を創設し、そのコーナー内に食堂の設置をお願いします。</p> <p>・トイレ等洗面施設については、十分な数を確保するとともに、衛生的で機能性の高い設備にして下さい。</p> <p>・赤ちゃんコーナーを創設して、明るく清潔感のある授乳室をお願いいたします。</p> <p>以上よろしく願いいたします。</p>
59	<p>品川区新庁舎の整備計画を拝見させて頂きました。 3点ほど、提案いたします。</p> <p>①施設規模について、従前30,000㎡に対して、今回計画では35,000㎡と拡張しています。 DXの進展によって、対面でなくても、来訪しなくても行政手続きがでオンラインで身近にできる社会が想定されます。 その点において、将来のDXを見据えて、施設規模を検討すべきではないでしょうか。</p> <p>②カーボンニュートラルに向けて、ZEB-readyの取得を目指していますが、完全なるZEB（ゼロエネルギービル）を目指すべきではないでしょうか。防災機能としても完全なるZEBを達成できると、施設のエネルギーを自前で賄えるようになるため、行政機能の持続性を発揮できます。 周辺敷地を使った太陽光発電の設置、ソーラーカーポートのような屋根付き太陽光発電を最大限利用して、完全なるZEBを目指してはどうでしょうか。</p> <p>③新庁舎の構造において、木造CLTも検討してはいかがでしょうか。 国内において、戦後に植えられた杉が活用される時期に来ています。山林の木材の活用による樹木の代替わりを進めないと山林の治水機能やCO2の吸収効果が損なわれていきます。木材は温かみのある自然素材で、居心地の良い環境を提供してくれます。合わせて、コンクリート、鉄筋と違い、CO2の固定化にも寄与します。 人々が集まれる魅力的な新庁舎として、木材の活用の検討をしてみたいはいかがでしょうか。 参考に国産木材活用の事例として、東京海上日動の新本社のプレスリリースをリンクします。 https://www.tokiomarine-nichido.co.jp/company/release/pdf/220801_01.pdf</p>
60	<p>防災拠点とスポーツや文化振興、平時の収益性などを考えて今の劇団四季劇場のような形で区民アリーナを建設してほしい。大田区立アリーナはスポーツの国際試合やライブなども行えて理想的。ゆうぽうとなどこれまでの文化発表やイベントの場所がなくなっており、しながわシティを拠点とするクラブチームが増えている今こそ必要だと思います。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
61	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の基本設計をするにあたって障害者団体の意見を聞いていただきたい。また、新庁舎構想委員に障害者団体からも代表者を参加させていただきたい。 ・庁舎内の売店やレストランに障害者を優先的に雇用していただきたい。庁舎内の売店でかもめ工房やプチレーブで障害当事者の作った菓子やパン、雑貨などを販売するコーナーを作っていただきたい。 ・総合案内などには、障害のため出勤できない在宅の障害者の方をOriHimeなどを利用して雇用していただきたい。 ・障害者が区役所で各種申請をする場合に申請窓口をワンストップに（窓口のたらいまわしをなくす）していただきたい。 ・新庁舎にアールブリュット専用のミニギャラリーを新設していただきたい。 ・新庁舎内に障害者用の防災避難所を併設していただきたい。 ・現庁舎の福祉関係の窓口は、簡単な仕切りがあるものの相談内容が筒抜けで、プライバシーへの考慮がなされていない。新庁舎の窓口はプライバシーが保てるつくりにしていただきたい。 ・近々実施予定の「品川区障害者計画」「品川区障害福祉計画・障害児計画」の実態・意向調査の際、新庁舎への要望に関する質問や自由記述欄を設けていただきたい。
62	<p>最上階もしくは屋上に周囲を見渡せる展望スペースを設けて欲しい。</p>
63	<p>ドッグランの設営をお願いしたく存じます。 最近ではペットブームである反面、愛犬と出かけるスポットが品川区に少ないと考えます。 愛犬の遊び場、飼い主同士の憩いの場、ペットマナー推進の場などあらゆる効果をもたらすと思います。</p> <p>既に何度か企画書議員の方にお渡し、説明をさせていただいております。 もし可能であれば改めてご説明をさせて頂きたく。 何卒ご検討の程よろしく申し上げます</p>
64	<p>室内ドッグランや託児所の併設希望します。 室内ドッグランがない。しおさいは遠い。働いても24時間預けられる託児所が欲しい。 基本在宅勤務として区役所スペースの削減、費用削減を求めます。また待合時間の削減の努力をして欲しい。番号札や書類を案内するだけの人は不要。税金の無駄使いです。IT化を進めて下さい。</p>
65	<p>新庁舎を作るところにお金をかけるよりも、アナログ手作業な業務諸々をデジタル化するところにお金をかけてほしいです。 ①区からのお知らせや案内が全て紙ベース。紙が無駄ですし環境に悪いです。欲しい情報が見つかりにくいです。品川区のアプリなどを作り、各個人欲しい情報が入りやすいようにしてほしいです。紙よりもデータで見れるようにした方が、なくしたり、再度探すときに探しやすいです。 ②様々な申請が手作業でこれもまた紙ベース。申請などは電子で手続きできるようにしてください。わざわざ区役所に行かないといけないのもとても生産性が低いと感じます。マイナンバーなどと紐付けて、そういった手間を解消できないでしょうか？ ③区役所の業務がアナログすぎます。手作業が多すぎて、正直生産性が低いと感じてしまいます。業務効率化してください。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
66	<p>お世話になってます。核シェルターを地下に作るのも検討していただけないでしょうか。ウクライナ戦争や台湾近海で軍事演習があるなど冷戦後最大の核兵器による均衡が揺らいでます。政府も地下鉄を核シェルターにする案を模索していた状況でした。核兵器がないエジプトやイラク、ウクライナなどは自国の領土が戦地となっております。備えあれば憂なしとの言葉があるように凡ゆるシナリオに備える必要があるのではないかと考えます。また、大井町は海岸に近いエリアです。津波や濁流に備えるためにも柱の強度を上げる点や濁流で建物が流されない堅牢な高めの建物を希望したいです。いざとなれば避難場所と情報収集や司令塔的な機能も維持できるように設計できないでしょうか。私は普段配達員をしており、品川区を縦横無尽に駆け巡ってます。海岸エリアは特に、津波が来た場合の避難場所がなく高層マンションや高めのマンションが津波からの避難場所になると現状考えてます。ご検討いただけますと幸いです。宜しくお願い致します。</p>
67	<p>「宝の山」と言えば品川区役所一行けば引き出しがみつきり、人生のヒント！がもらえる。①食堂をレベルアップして見たことないような食を楽しむ場所にしてほしい。人を良くすると書いて、「食」。抗生物質や添加物のない安全な食品を使ったSL Creationsやタニタ食堂を利用して体が整う、養生できる食堂にする。食堂に行けばカロリー計算や自然と体調が良くなる発酵食の食事。②この世で最強なのは、人の欲求を見つける観察眼を持つこと。はたを楽にすると書いて働く。定年直後や予定の方々の智慧、技術など、自分が知ってることは教えてお互いに奉仕できる場作りする。③年齢問わず、自分を上機嫌にする習慣化。楽観力を身につける。明大の斎藤孝先生や斎藤一人さんのように、心を育むお手伝い。心をほぐす、癒す、明るくする方法を一緒に探るシステムを作る。品川には賢者がたくさんいらっしゃると思うから、パソコンでアクセスすれば、いつでも区役所で会えるシステム。ゆえに、品川区役所へ行くとたくさんのメリットがあり、帰る頃には心身共にほぐされる、心が軽くなって、帰路はスキップしてしまう場所になってほしい。</p>
68	<p>お世話になります。生まれた時から品川区民です。現在の庁舎は駅から遠く不便でしたが、新庁舎は駅に少し近くなるようですね。駅近の施設は駐車場を利用できないところが多いように思いますが、新庁舎も是非、駐車場設備が利用できるようにしていただきたいです。よろしく申し上げます。</p>
69	<p>YouTubeの動画拝見しました。概ね問題はないと思っておりますが、今の庁舎のような屋上開放については検討されていますでしょうか？また、食堂の開放なども検討されていますか？新庁舎建築にあたり、感染症対策のようなワードも出ていましたが、あくまで今のコロナの状況だから言っているだけだと思っております。逆にそこまでプライオリティの高い事項ではないと思っておりますが、具体的にどのようなことをする予定なのでしょうか？出来れば著名なデザイナーなどを使って、シンボリックな庁舎になると良いと思っております。建築費用をケチって変なものを作るぐらいなら予算増やしていいものを作ってほしいです。</p>
70	<p>わたしは1999年に地方から上京して以来23年間ずっと品川区に住んでいます。品川区は先進性と古き善き雰囲気が残る住みやすい街です。歴史も古く区内には複数の文化団体が有ります。中でも和太鼓の団体の演奏を聞いた時には感動と共に鳥肌が立ちました。区内でも9月に太鼓のイベントが開かれるそうですが、それらの団体の人に話を聞いたら和太鼓を練習する場が無いそうです。子供と一緒に聴いた歴史ある和太鼓を絶やすのは簡単ですが、維持し続ける為にも新庁舎にてその様な楽器を演奏・練習できる場があると良いですね。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
71	品川区役所新庁舎には反対です。 住民に知らせないまま勝手に進めず、情報公開すべきです。
72	りんかい線からも雨に濡れずに庁舎へ行けるルートを計画してほしいです。 手動車椅子ユーザです。車椅子は両手で漕ぐ必要があるため、傘がさせません。座ったままお尻を持ち上げてカッパを着るのが大変で、土砂降りでも濡れることを諦めている現状があります。 大井町駅北側の東急線やJR東口からは雨に濡れないルートが計画化されているかもしれませんが、りんかい線エレベータ口からのルートも計画してくれると有り難いです。JR南口からの濡れないルートがあれば更に助かります。 理髪一番前の坂を車椅子を漕ぎながら登るのが大変な方も居るはずなので、迂回ルートにはなりますが駅西側交番前エレベータからりんかい線エレベーター口までと、駅東側のスロープを屋根化してくれたほうがバリアフリーになると思います。 一部でも屋根がないところがあると結局濡れるので、420号線の上にも屋根が欲しいです。区道じゃなければ調整大変だと思いますがよろしくおねがいします。 計画区域外にあたることは想定してますが、駅とセットで考慮すべきと思い、コメントさせていただきました。 庁舎へ行かなくても済むようITを整備していただけるならそちらに費用を充ててください。
73	品川区新庁舎整備基本計画（素案）について 基本計画（素案）に反対です。 将来（20～30年後）人口減少が確実であり、そういう中で区内では高層ビル建設計画が増えています。 将来空室が増えて、高層ビルの廃墟化が予想されます。街づくりは永いレンジで考えるべきです。
74	<ul style="list-style-type: none"> ・東西との交通連携 ・となりの区との情報共有 など
75	新庁舎建築ともなるとそうとうな税金が使われるはず。高い税金が更に上がったりしないのだろうか。これ以上住みにくい場所にしてほしくない。それなりの区民への恩恵はあるのだろうか。
76	大井町駅の出口と直結していただきたい。
77	小中学校でも老朽化した施設があり、学校によって学習環境に大きな格差があります。庁舎移転には多額の費用がかかりますが、移転に費用を使うことで、そういった老朽化した学校の建て替えへ費用があてがえず、延期になったり見送られることのないようにしてもらいたいです。
78	手続き等が終わった後、庁舎内で休憩が出来るカフェ（民間経営でも良い）を作ってください。
79	<ul style="list-style-type: none"> ・現区庁舎敷地のアリーナ建設は反対。建設費だけでなく維持費にも多額の費用（税金）が必要。 ・品川区には、葛飾区・江東区のように区民が利用出来るサッカー場が無いので（天王洲グランドはサッカー場ではなく野球場）、フルピッチの人工芝グランドを作りたい。
80	宮崎駿、養老孟司の『虫眼とア二眼』を是非一読ください。日本国内に収まらず、世界に誇れる理想を叶えられる品川区であってほしいです。

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
81	<p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）について</p> <p>はじめに</p> <p>築54年を迎えた庁舎は、建設当初は斬新だった造りが災いして、劣悪な執務環境、移動が困難で構造のわかりにくい建物、坂が多く不便な立地と、住民サービスが悪かった。</p> <p>整備方針についての評価</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 区民サービス機能 <p>現在の不便な庁舎を新たな庁舎として建て替えるだけでも、サービス機能は向上すると思われる。アンケート調査の結果から、デジタル機能を活用し、より利便性を向上させることを期待する。</p> 2. 区民協働・交流機能 <p>立地が、現在の最寄り駅下神明よりも大井町方面へ移設となるため、距離感が遠い。このため、区民が利用しやすい庁舎にするためのアクセスの利便性を高める必要がある。</p> 3. 行政・議会機能 <p>議会機能を最上階としているが、区民から離れてしまう印象にならないか？また、最上階は、おそらく遮熱ができず暑い。</p> 4. 防災機能 <p>防災指令拠点の整備の重要性は、東日本震災・令和元年台風15号による停電事故などから、迅速な情報の収集・発信が区民の生死を分ける。このため、防災指令拠点の強化は必要である。</p> 5. 環境性能 <p>太陽光発電は、時間変動・季節変動が大きく、庁舎電源を安定的に供給することは難しい。また、屋上緑化とは、相反する。</p> 6. 将来性・経済性 <p>区民のニーズは、行政のデジタル化にある。デジタル技術の進歩・向上は、行政のライフサイクルの数倍速い速度で起こる。このため、計画段階での最先端は、建設時の時代遅れになってしまう。そこで、デジタル技術の導入には、最先端の先を考える必要がある。</p> 7. 共通機能 <p>基本計画アンケートを見ると、区民のニーズは、行政機能のデジタル化にある。同時に、デジタル化の進展は、情報利活用上のセキュリティ問題を顕在化する。このため、行政は、独立したデータセンターを持つ必要がある。これを維持するための独立した電源の確保も必要となる。完全無停電・連続データ更新には、3回線受電で電力供給の安定性を確保し、トリ・サーバー体制にする必要がある。</p> <p>建設ロードマップについて</p> <p>現行の事業計画では、令和4年度内に基本計画の策定を完了する予定となっているが、品川区は10月に区長選挙が予定され、新区長が誕生後、すぐに基本計画が決まる運びでは、新区長が計画に関与する時間がないと考えられる。選挙があることを勘案し、令和5年度上期まで計画策定を伸ばし、発注時期もこれに合わせて先延ばしすべきだと思う。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
82	いろいろな意見がでた。解決は直ぐに出さない。
83	<p>①オンライン申請や電話などによる相談を充実させるため、通信回線の大幅な増強と同業他社の複数の通信会社の導入を検討していただきたい。</p> <p>②外構整備で大井町駅から新庁舎までの歩行者デッキは、降雨・降雪などによる影響ないように屋根付きのペディストリアンデッキを採用していただきたい。</p> <p>③新庁舎内にちょっと立ち寄った区民に、一時休憩スペースを設置してほしい（特に外気温が著しく高い時などの一時避難、またスマートフォンなどの充電スペースの設置）。</p> <p>④手続きに必要な手数料、レストラン、自動販売機の支払いを電子マネーにしてください。</p> <p>⑤要望をご検討していただき、着々と新庁舎の建替えを実施していただきたい。</p>
84	<ul style="list-style-type: none"> ・3年続くコロナ禍のあとこのような状態がこれからも予想されます。働き方が大きく変化しつつあり、例えば大都市一極集中型から、仕事場が住居と共に地方分散型になる傾向。都市でも過密にならないよう職住接近、自然を生かした住みやすい都市づくりが求められていると思います。 ・この計画立案した今までとこれからの変化の曲がり角にあって、庁舎を含めた近隣の街づくりにどう変化・発展していくのか。 ・庁舎とそれを取り巻く全体を一体として理解していくようにしたい思いです。
85	<p>現庁舎の補修などについて耐震工事は2011年になされている。他にも補修がなされていると思うが、現庁舎を何年使うつもりで実施したのか。仮に20年ということであれば、あと10年以上ある。</p> <p>9ページに事業計画（事業スケジュール）が、それと合っているか。なぜ今この事業計画なのか。JR東日本の開発（商業）（ホテル等）にあわせた一体の事業計画になっているのではないか。</p> <p>JR東日本の計画と切り離して区民の声を聴き、事業計画をゼロベースで検討しなおすべきではないか。</p>
86	<p>前回も出しましたが、高次脳機能障害の家族会のものです。高次脳機能障害は精神手帳になり、保健センターが窓口です。今まで別なところにそれぞれ提出していました。</p> <p>今回、新庁舎に保健センターが入り、精神の手帳も庁舎で手続きができると良いです。また、その後の支援についても、保健センターと福祉課で連携をとってほしいです。</p> <p>この機会に障害全体の支援体制を使いやすく、わかりやすくして欲しいです。</p> <p>質問の時間をもっととって欲しいです。パブリックコメントが反映されてほしい。</p>
87	<ul style="list-style-type: none"> ・質問時間が短く、会場の疑問に答えられなかった。 ・計画は全て「そう考えている」という内容であり、具体化されていないのでイメージできない。個々の施設・機能について区民に広く要望を求め、具体化の方向へ ・老人は電車で事故にあいやすい。武蔵小山からは大井町は遠い。巡回バスが必須。なぜ区庁舎前までバスは運行しないのか。

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
88	<p>区庁舎は区民の財産です。 ①耐震工事をしたばかりの今、建て替えるのに疑問です。 ②万が一、建て替えるとして、区民に相談なく場所等を決め、説明だけすればいいという対応の仕方はいかなものか。 できるだけ大井町駅近く（たくさんの区民が来やすいように）駅前のきゅりあんのある場所ではどうか。またはもっと駅に近いところと交換するようにすることはできないのか。 多額の税金を使うのだからこそ、区民の意見を取り入れ、より行きやすく、使いやすいものにした。</p>
89	<p>DXの推進からIP電話の利用も想定されていることと思いますが、他区で導入した際につながりにくく、事業者も区民も利用できず混乱したことがありました。 コールセンターの設置や災害時の公衆回線の利用など、様々な手法を検討していただきたく思います。 また、災害時の電力確保など、防災センターとの連携も工夫が必要と感じました。ご検討をお願いいたします。</p>
90	<p>外構工事について質問したかったが、本件と直接関係があるとは思えず止めた。 新庁舎の玄関前に、今、運行しているコミュニティバスのターミナル駅を作って、新庁舎（区役所）を起点として3～4路線を考えた方が、本当に親しみやすい品川区役所となるのではないか。</p>
91	<ul style="list-style-type: none"> ・現庁舎の建替えを急ぐ必要はないと思います。規模の縮小、費用などを現実的に考えていただき、できるだけお金のかからない計画を強く求めます。 ・区民としては、自分の住む地域に、医療、防災などの施設が設けられることを願います。そうした計画の充実を図るためにも、新庁舎建設計画の見直しをお願いします。
92	<ul style="list-style-type: none"> ・大田区や目黒区のように、ビルを買う方向で検討する。 ・庁舎については、足りないことを作ればいい。 ・区画整理により土地の交換をやるようだが、お金の流れが不明になるので反対。
93	<p>本庁舎跡地は第二庁舎と広場1号、しながわ中央公園の防災機能を考えれば、連動性を高めるために防災機能を備えた方が良いのではないか。 あと周知の徹底もお願いします。</p>
94	<ul style="list-style-type: none"> ①キッズコーナー、高齢者コーナー、スペースの確保 ②区内の小・中・高・大学の情報掲示（公立・民間含む） ③在学生の為の相談室設置 ④レストラン、カフェの充実、品川シーサイドイオン、イトーヨーカドー大井町B1イートインを参考に！ ⑤外国人専門、専用受付の設置 ⑥下神明、大井町、東急、JR、りんかい各線からの案内図をわかりやすいところに、地図、看板の設置、外国版も設置を ⑦外国（品川区）大使館情報（イベント） ⑧各バス会社と連継の為、仮称品川区役所前停留所 ⑨職員の為の充実を
95	<p>庁舎は低層で 現庁舎、第2庁舎敷地を含めて、特養又は住宅などを作ってほしい</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
96	第2庁舎は建て直さないという説明があったが、「バリアフリー」、「老朽化」等、資料P3の課題を解決するためには、第2庁舎も建て直した方がよいのではないのでしょうか？
97	<ul style="list-style-type: none"> ・区民が利用できるレストラン、展望室等を上層階に欲しい。 ・区民の交流の場として会議室（中・小）を建設して欲しい。 ・今後基本設計等の原案時にこういった説明を実施するのか？ パブリックコメントの機会ありがとうございました。大変御苦勞様でした。
98	品川区新庁舎整備基本計画（素案）に対する追加意見 令和4年8月29日 <ul style="list-style-type: none"> ・建築資材の高騰化が懸念されるが、森林管理の涵養と併せて、「公共施設の木材使用」という法律上の要請も踏まえ、国産木材の積極的活用を図り随所に木質感を醸し出す新庁舎を建設して下さい。

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
99	<p>「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」に関する意見 ・意見</p> <p>1. 品川区および東京都都市整備局が実施した昨年10月「広町地区に係る都市計画案」のパブリックコメントを反映した内容になっているとは思えません。新庁舎移転のさい、現庁舎の取り壊し後の土地利用について、土地交換の価格がいくらなのか、本当に等価交換なのか、というのが検証がなされていません。新庁舎の建物の内容が中心ではありますが、建物は空中に浮いているわけではありません。本計画を検証するためには、土地交換、土地取引について明確な内容提示をお願いします。地価を含めた総費用において、現庁舎と新庁舎を比べ、本計画の是非を判断する材料が最重要課題として必要と考えます。速やかな区民への情報提示をお願いします。</p> <p>2. 1. で示した通り、現庁舎と新庁舎について、比較する材料の数字を示す必要があるのは前述の通りですが、現在は新庁舎整備費用400億円（イニシャルコスト）しか提示されておりません。では現庁舎を継続利用した場合の費用はいくらか。ランニングコストはいくらか。新庁舎のランニングコストはいくらか、については本計画（素案）には数字が見当たりません。コロナ禍や物価高などの現状で、区民の生活は決して楽ではありません。その中でイニシャルコストだけでも400億円かかる事業に対し、区民の血税を使ってまだ使える既存の区役所を壊して高層の新庁舎を整備するには明確な理由が必要です。新庁舎の利便性を強調するあまり、費用見積、利用者数見積もりがない、もしくは甘くなっているのではないのでしょうか。現庁舎と新庁舎の資金、費用、負担内容の比較とともに、それらの根拠を速やかに区民に情報提示願います。</p> <p>3. 土地交換されたあとの現庁舎跡地には JR東日本が賃貸住宅やホテル、アリーナを建てることを付近の区民に説明しています。これらの事業は同社の公共性のある鉄道、運輸事業とは関係がないとともに、品川区と土地等価交換がなされることが前提です。新庁舎と一体の開発事業といえます。果たしてこれが必要な事業でしょうか、「新庁舎の整備事業」なのでしょう。このような一体化した開発は区民にとって不要不急なのではないのでしょうか。新庁舎整備については、JR東日本の事業と切り離し、高層化の計画を断念し、ゼロベースで考え直す事を表明していただくとともに区民に確約願います。</p> <p>4. 各論の別紙の通り、新庁舎整備理由として、防災対応、ICT化対応では、新庁舎に速やかに移らなければならない理由が見当たりません。現状のICTでも、技術進歩のたびに端末側の負荷が軽く、大きさも小さくなっています。大規模な機器導入をする必要はありません。機器導入により利便性が増すのは当たり前であり、区民の生活が苦しい状況下では、予算を掛けず現庁舎でいかに区民のための利便性を向上できるかに焦点をあてるべきと考えます。これについても速やかに区民に説明すべきです。</p> <p>以上</p> <p>これらの内容であれば、失礼ながら区の職員だけではできないと考える。委託した法人名と、外部の同法人に構想・設計等を委託した際の経緯と内容を区民に公開すべきである。</p> <p>建設候補地が上がっているなら、その土地が誰の所有で地価はいくら、規制はないかなどの情報は記載すべきである。新庁舎整備検討のための可否に係る重要な情報である。</p> <p>また建設候補地があるということは、現庁舎の敷地を手放さなければ移れないという事である。現庁舎の継続利用した場合の費用についても情報を出すべきである。</p> <p>策定委員会の議事録および検討された資料・情報を区民に公開すべきである。</p> <p>※次ページにつづく</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
99 (つづき)	<p>負担の増大、問題点、老朽化、不足などの言葉が並んでいる。理念としてはわかるが、例えば図1-3左の写真例だと、現庁舎に何か所あるのか、改修費用は、など費用金額情報を出すべきである。現庁舎改修補修の費用と新庁舎建設費用を比べないことには、基本計画を前に進めることはできないし区民の同意も得られない。そうしなければ図1-3など悪い所だけ撮影しているのではないかと疑念を持たざるを得ない。</p> <p>土地区画整理事業ありきではないか。しかも対象がJR東日本と限られている。複数の案を検討すべきである。</p> <p>現在の区庁舎を活用した計画も検討すべきであり、他の自治体の事例についても既存の庁舎を有効活用しているデータも参考にすべきだ。また現在の区の財政状況や区民の生活における優先順位を鑑みた場合、400億円がどのようなインパクトを区政に与えるかも検討すべきである。</p> <p>様々な整備により来庁者の便宣を図るという内容は評価できる。しかしながら区民の多くが年何回区庁舎を訪問するかを考慮に入れているだろうか。このような施策は区庁舎のみ突出した形でなく、各地域センター、文化センターなど区民に身近な施設で整備すべきではないだろうか。また昨今、ICTから一歩進んでDXがキーワードになっている。区庁舎の窓口をICT化により整備するよりも先ほどの施設や区民のパソコン、スマートフォンなどで行える区民サービスを充実する方法はないか、根本的な部分から考え直すべきである。果たして証明書類を紙でかつ区庁舎で発行する必要があるのか、税や保険料の納付をキャッシュレスで行えるなら区庁舎の窓口で行わなければならないのか。相談はオンラインでできる部分はないか、区の職員が逆に地域センターに出向くなど、方法はないか。それらの検討により、区庁舎で行う業務を圧縮できれば、先ほどの400億円も圧縮するか現庁舎でも対応できる可能性は十分あると考える。</p> <p>デジタルサイネージなど、それほど金額的に高いものではないので設置には異存はないが、エントランスに豪華なものを置くより、小さくとも各階、各部署に適宜配置の方が好ましい。また「コミュニティの中心～」と書かれているが、新庁舎は高層の建物との想定であり各階の床面積が少なくなっている。果たしてこの条件で施策が実現できるだろうか。また低層階は防災対応で利用することが想定されるため、協働・交流スペースが邪魔になる。この部分を大きくきれいにする必要はないと考え、現庁舎でも対応可能と考える。現状で完成している他の庁舎を参考するよりも、数年先のサービスを見据えた設計や、先進的なテクノロジーが出てくるのを待つ、という考え方もできる。エントランスという部分に限れば、金融機関や病院も参考対象としてみるべきだ。全体に言えることであるが、そうしなければ、完成時にはすでに世の中の流れより陳腐化したものが出来上がる可能性がある。</p> <p>実際の費用をどれくらい見積もられているのかわからないが、豪華に見える。コロナ禍や物価高、年金減額等で苦しんでいる区民が多くいる中で、この写真のようなスペースを見ればどう思うであろうか。「お金の使い方が間違っている」と思うのではないか。それは本計画全てに言えることである。新しい庁舎の調査をやるよりも、古い庁舎で頑張つて住民サービスに熱心に取り組む自治体の事例こそ情報をあつめるべきである。</p> <p>※次ページにつづく</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
99 (つづき)	<p>ICTの活用については前述の通り、区庁舎になるべく先行投資しない方が望ましい。フリーアドレスの導入にあたっては、単に座席位置の問題にとどまらず、テレワーク導入、端末のシンクライアント化、もちろんペーパーレスなどを同じタイミングで実施しなければかえって非効率となる。またフリーアドレスになっているのに部課長に特別席、特別部屋を設けるようではスペースの連用活用はもちろん、システム導入の意義が問われる。</p> <p>記載事項の多くは現庁舎でも対応可能と考える。機能も大事だが、費用対効果を考えなるべく安価に構築することが適当と考える。</p> <p>図表2-19をみると「災害対策本部（指令拠点）」が低層階にはない。災害時にはエレベータが動かないことが予想され、階下との連絡に支障をきたす可能性があり、物資や機械の搬入搬出も困難である。また中層階以上が機能しないスペースになるのではないかと。上層階、中層階で火災が発生した場合も避難や消火に困難が伴う。将来的に品川区が新庁舎を作ることそのものには反対はしないが、災害に強い低層階による庁舎（現庁舎含む）で防災対応を図るべきであり、高層建築により床面積が狭いと活動に支障が出るのではないかと。また防災対応の物資や情報を区庁舎に集中すると、区庁舎にアクセスできない区民には届かないことになるため、区内各地に分散する防災体制が望ましい。</p> <p>新庁舎建設に伴うCO2排出量も算定すべきである。</p> <p>ここでいう平面構造が床面積に対応するものであれば、高層の新庁舎には不利な条件である。</p> <p>庁舎の中で完結する手続きをICT化するだけではDXとは言えない。区庁舎に来なくても区内各地や区民のパソコン、スマートフォンなどを活用し手続きできてこそDXと言えるのではないだろうか。またこれら手続きのため高層の区庁舎を立てる必要性はないと思う。手続きそのものを減らさなくてはならない。</p> <p>この制約のために、新庁舎は高層建築物にならざるを得ない計画になっているのではないかと。なるべく低層の区庁舎の方が防災上も区民の利便性も高いと考える。用地計画から根本に見直し、現庁舎を部分的に更新しながら新庁舎を建設するなど、0ペースでやり直す必要がある。さもなければ、床面積の狭い高層新庁舎が出来上がることが区にとってリスクである。またこの記載のあとの方に（りんかい線トンネルの上部においても建物を建築できる可能性～）と記述してあるが、我が国都市部に鉄道トンネルは数多くあり、現時点で設計時に「検討」というのでは遅すぎ事前に調査できなかったかとの疑問や、事業費が膨らむ要因になるため、考慮に入れるべきではない。</p> <p>これらの他庁舎については、コロナ禍以前の増収増見込める時期に作られたのではないかと。また書かれているが庁舎の一部を民間に賃貸している例も見られる。基本計画では庁舎の一部を民間に貸す部分は図表3-13の通り全くなく、また同じような規模の新庁舎を作る予算的裏付けもない。起債は区の借金であり、後年度経費を次の世代に渡すよりは、現庁舎をどこまで利用できるか検討すべきだ。古い庁舎を有効活用している自治体の事例こそ学ぶべきだ。</p> <p>新庁舎のイメージ図の後ろに現庁舎があるが、新庁舎が運用開始したあとに取り壊されると聴いている。付近住民に対して行われたJR東日本による説明では、既存の同社の土地と合わせ、ホテル、賃貸住宅、商業施設、などが計画されている。現庁舎の土地と交換用意される新庁舎用の土地は、①果たして土地評価上、等価交換に値する地価か。②JR東日本の開発に便宜を図っているのではないかと。と疑念を持たざるを得ない。そうでなければこの図をはじめ、広町に関わる周囲の土地に、新庁舎の土地とJR東日本の建設予定施設を併記し区民にこの土地交換が妥当かどうかの判断材料を示すべきではないかと。</p> <p>図表3-21と同じ題がついています。</p> <p>※次ページにつづく</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
99 (つづき)	<p>現庁舎が第二庁舎と合わせて約46,000㎡なのに対し、新庁舎建設想定規模が60,000㎡となっている、防災対応が多少膨らむのはわかるが、表では「行政・議会機能など」と一緒になっており内訳が不明瞭である。第二庁舎はそのまま使用するとすると、新庁舎の建設想定規模は50,000㎡以内に圧縮すべきではないか。不要なものが含まれているのではないか。</p> <p>現庁舎利用と新庁舎整備の価格比較を土地代含め、比較精査すべきではないか。現状新庁舎整備の400億円しか基本計画に掲載されていない。しかもイニシャルコストである。氷山の一角の絵の通りランニングコストも精査して金額をだすべきではないか。総トータルの価格がわからない買い物は区として容認できるのか。区長や区議会ですべて議論がなされているのか。</p> <p>現庁舎のランニングコストは年5億円と聞いている。400億円÷5億円=80年。5億円が正しいとなると、新庁舎整備は必要ないのではないか。</p> <p>食堂事業の問題で、新庁舎整備問題と結びつかないものと思われる。また、職員に対するアンケートであり、来庁者の意見を聴いていないので、偏りがあるデータとなっている。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
100	<p>『品川区新庁舎整備基本計画案（素案）』に反対の意見書 反対理由 1 「新庁舎整備」の必要性について、広報しながわ2022年8月1日付P3には「区を取り巻く環境の変化や多様化する行政への要望に対応する庁舎の機能が求められている事から」と記されている。 具体的にいつこの誰にどんな要望があったのか事例と実名を明記して公表して貰いたい。基本的な事が明らかにされてないまま事を進めようとしているのは、地方自治体としてはあるまじき行為と思う。「再開発法に基づいて進めている」というでしょう。</p> <p>2 この件について情報開示を求めてもその90%は「黒塗り」の非開示同様の回答である。 事業そのものは公金つまり税金によって予算と名を変えて賄われているものと思うが、区当局及び都当局にはその認識のかけらもない。情報開示できない理由は「関係者に混乱を生じるから」というが区民は混乱しません。事の経緯が明らかになればこの事業を推し進めようとする方に、混乱が生じるのではないかと心配するものである。 「黒塗り」の情報開示を速やかに隠すことなく全面開示する事が大前提である。</p> <p>3 「品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会」で検討を進めていると記されているが、「基本計画策定委員会」の委員はいつ・誰が・何を基準に決めたのか全く不明である。その経過も明らかにして貰いたい。区は区民の共有財産の処分に係る事であるを重く受け止め全区民に信を問うべき問題である。大井町駅に近い方の土地をJR東日本に譲渡するのは区民の利便性や区民が望む施設を考慮しない姿勢が顕著であると思わざるを得ない。JR東日本とは一線を画し、区は区民の求めている施設の拡充に最優先課題として取り組むべきである。区民は宿泊施設（ホテル等）は必要としていません。「良く将来を見て」とあたかも都市の将来像を述べて進められてきたが、どれをとっても衰退してるのが実情ではないでしょうか?街づくりは大手デベロッパーやゼネコン等を絡ませると、それらの利益優先が先走り、住み続けられる品川区の形成は出来ません。地域の街づくりは地元区民と最も身近な自治体すなわち品川区が、知恵を出し合い要望を出し合い高層より低層に、空が広く感じられる街づくりを進める事です。高層にすればするほど大企業が潤う一方区民は追い出される構造は改めるべき時と思います。近代的?高層建築物も老朽化は防げません。住んでる区民も高齢化が進んでる。売却すればそれまでという街づくりは許されません。</p> <p>4 人寄せのアリーナを造ってもそれなりの集客力のある施設は、都内各地・隣接区にも十分存在してる。それよりも区民が廉価でいつでも活用できるような小会議室・楽器練習室等の充実した施設を望みたいと思います。地域の企業の会議に区の施設が使用され、地元住民が使用できない時が多い。又手話教室や眼の不自由な人への対処法等の学びの場が必要で在る事を強く感じるものです。区民力、必要としている施設が基本計画には欠落している。</p> <p>5 以上まだまだ言い足りないが取り敢えず。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
101	<p>庁舎の建て替えは基本的に賛成です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高層になるのは土地が高いのでやむを得ないと思いますが、地震の発生時に上階からの避難がスムーズにできるように職員の安全を第一に考えて設計してほしい。 ・屋上庭園を作る。ビオトープや花壇を配置して誰でも憩えるようなスペースや散策路を設ける。 ・バリアフリーはもちろん、分かりやすい表示をお願いしたい ・展望レストランやカフェなど区民が手頃な料金で利用できるお店が庁内にあるとうれしい。できれば大手チェーンのカフェではなく、福祉施設が運営するようなコミュニティカフェが望ましい ・上記と関連して、無料でひと息つけるようなスペースもほしい ・再開発の部分では、シネコン、美術館などの文化施設、誰でも気軽に利用できるスポーツ施設があるとうれしい
102	<p>□1棟6万平米の高層庁舎は不適當：今後50年間利用することを考えれば、時代に合わせた機能、設備、収容人数等に適應させるため、複数棟（一部は仮設）にすることが合理的です。引越し回数が増えるとのことですが、十年単位で要・不要に合わせて部署を増減させれば、建設コストも運営コストも激減します。3割増しの増床とは、少子化、DX化が進む中、数十年遅れの発想です。</p> <p>□木材利用：現在国の政策として、公共建築物の木材（国産材）利用が推進されていますが、本計画ではまったくその気配が見えません。高層建築が前提とされているのが一因と思いますが、中低層であればコスト的にも低減され、かつ解体時の再利用も容易です（これからの建設費は解体廃棄費用を含まなければ意味をなしません）。</p> <p>□第2庁舎の利用：リノベーションして事務棟として継続使用してください。帰宅困難者一時滞在施設が必要であれば、周辺開発をするJRなどに、災害時の避難先として転用できる空間を、開発緩和条件付きで求めれば良いと思います。避難者収容場所は、集中させるのではなく、区内全域に広く分散することを、区民として求めます。</p> <p>□歩行者デッキは不要：20億円以上の外構工事費の過半を占めるとされる歩行者デッキは、区民ではなくJRの周辺開発に配慮したものと考えるのが妥当です。大井町駅からのアクセスは、地上レベルに緑豊かな歩道を設ければ、夏日にも快適な散歩路となり、防災上もはるかに有益です（落下物防止には屋根をつける）。</p> <p>□設備更新が容易な建築計画：30年後は確実に大規模修繕になりますが、現計画にはその点への配慮が見えません。空間の可変性はもちろんですが、それよりも30年後に想定される百数十億（建設費の3割として）の修繕費をいかに抑えられるかが区の財政にとっては重要です。</p> <p>□駐車場の規模は縮小：SDGsを標榜するならば、現在より駐車場面積を大幅に縮減すべきです。数十年後には公共交通機関の一層の充実が図られているはずで、また大井町駅との往復は、高齢者には自動走行車が用意されると思います。</p> <p>□区民からの賛意が求められていない：きわめて残念なのは、本計画が前区長選の公約では触れられなく、かつ次期区長選の前に通そうとしているのがあからさまなことです。単に金額だけでなく、品川区民全員にとって防災・福祉・情報において適切な計画であるのか、品川区として責任を果たしているようには思えません。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
103	<p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）について</p> <p>1. 広町地区再開発は、各地で進む再開発とは異なり、大井町駅に接するまさに「品川の顔」となる100年に一度の大事業です。開発スケジュールを含めて品川区が主体となって全体を統括しながら進めるべきです。A地区の説明会ではB地区のことは分からない、B地区の新庁舎整備基本計画の説明会ではA地区のことは分からない、では区民に対して余りにも不親切です。住宅機能、業務機能、行政機能広町地区全体の計画を品川区が丁寧に説明してください。</p> <p>2. 標題に関する説明会資料では、日本の何処の庁舎でも考慮すべき項目の羅列となっています。品川の広町地区の歴史的な記憶や、他の地域と風土や経済活動も何が異なるのか、また、大井町の品川区の中での位置づけ、品川区は東京都の中でどのような立ち位置にあるのか、それらを読み込んでどのように計画に反映しているのか、記載が殆どありません。このままでは他の再開発と何ら変らないまちになってしまうと危惧されます。</p> <p>3. 明治初期から広町地区の北側には品川白煉瓦、品川硝子製造所、南側には東京毛織など日本の近代産業を支えた会社がありました。大正からは日本国有鉄道大井工場が数千人の従業員を抱え、大井町周辺は共に発展してきました。JRの敷地内には煉瓦造の御料車庫や旧変電所が百年を越えて健在で、煉瓦建築ファンや鉄道ファンにとっては聖地でもある訳です。</p> <p>4. 品川区は今までに多くの歴史的な文化財を失って来ました。品川燈台や品川硝子製造所は愛知県明治村へ、日本酸素記念館は山梨県へ、土蔵相模は解体されました。もう失いたくはありません。前出の御料車庫、旧変電所は時代の変遷を生き延びた生き証人でもあります。同じく煉瓦造建築である日本ペイント明治記念館には、品川区教育委員会が保存の要請をしていますね。二つの建物も是非、保存・利活用をお願いします。</p> <p>5. 東急大井町線下の商業施設もまた、永い間大井町独特の景観をつくって来ました。区役所通りと呼ばれ、親しまれた賑わいを復活するためにも、再開発地区内の商業施設との緊密な連携が必要です。</p> <p>6. 地域の土地の記憶、残存する貴重な文化財を再度評価し、品川区が主導して広町地区の開発全体を俯瞰して、何処とも違う、ここにしかないまちをつくってください。そのためにも区民への分かり易い説明を繰り返しながら計画を進めてください。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
104	<p>御料車庫（※1※2）の保存利活用を望みます。 ※1：この呼称は日本国有鉄道大井工場著『大井工場90年史』昭和38年編で使用 ※2：鉄道博物館企画展「御料車～知らされる美術品～」2010年のカタログ011ページ「御料車のあゆみ」に「大井工場（当時は大井工機部）では御料車庫が」の記述あり</p> <p>当基本計画（素案）において、御料車庫は現庁舎と新庁舎予定地に挟まれ、整備予定道路が当該建築物北側部分を横断する計画となっており、その存続が心配されます。</p> <p>開発対象の広町地区には、大正4年以来国鉄大井工場が置かれ、日本の鉄道発展の重役を担い、大井町周辺の発展とも無縁ではありません。この御料車庫は大井工場建設初期から存在し、関東大震災をも逃れて既に百年を超えた煉瓦造建築です。前出（※1）には「そして壁上部には蛇腹を、両端にはニッチをとり、御料車庫として苦心を示している」と表現され文化財としての貴重さが伺えます。</p> <p>かつて広町北隣には明治8年創業の品川白煉瓦（株）があり、製造した煉瓦は東京駅や銀座のガス灯、富岡製糸場、横浜瓦斯局など多くの建造物に供給され日本の近代化に寄与しました。もちろん区内にも多くの煉瓦造建築がありましたが大部分を震災や戦後の経済活動などで破損、喪失しました。残存したにもかかわらず品川燈台や品川硝子製造所、日本酸素記念館などは他県に移築されてしまいました。現在区内で見ることのできる煉瓦造建築はこの御料車庫と、同じく大井工場北東端の旧変電所、南品川の日本ペイント明治記念館、北品川の法禅寺など僅かとなりました。大井町駅前広場に煉瓦柱を持つ案内版がありますが、普段は人目につかない柱頂部に品川白煉瓦製造の証である「SHINAGAWA」が誇るように刻まれています。</p> <p>煉瓦造建築物の保存利活用の例は数多く、旧小樽倉庫、横浜の赤レンガ倉庫、門司港の煉瓦建築群、弘前れんが倉庫美術館など各地でまちづくりのモチーフとなり観光名所となっています。煉瓦には素材が持つ独特の“ぬくもり”と歴史的な存在感があるからです。</p> <p>広町地区が持つ土地の記憶として、また日本の近代化に寄与した鉄道と煉瓦の歴史的象徴として、御料車庫は品川区が後世に引き渡すべき貴重な財産であり、その保存利活用は品川区のまちづくりにとっても重要な要素となるはずで 御料車庫の価値について十分な評価がなされ、保存利活用が実現することを望みます。</p>
105	<p>この度の新庁舎整備計画には周辺環境に配慮した、豊かな潤いのある市街地環境の形成が方針に挙げられています。今回の計画敷地には大正初期に建築された煉瓦の「御料車庫」が含まれています。関東大震災、東京大空襲にも残った煉瓦建物は品川の歴史を語る非常に重要な証です。この度の整備計画ではこの赤レンガを活かし、計画の一部として、活用した計画とするよう望みます。近年文化財は保存だけでなく、活用にも注目されています。東京駅を代表とする煉瓦建築は一度は消える方針でしたが、周囲の努力により、保存され今ではシンボルともなっています。本整備計画でも是非「御料車庫」を保存活用する計画として頂くこと用お願いします。構造補強の前例としては、東京駅のほか横浜赤レンガ倉庫などがあります。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
106	<p>品川区新庁舎整備基本計画（素案） 防災機能について 防災機能 防災指令拠点の整備の重要性は、東日本震災・令和元年台風15号による停電事故などから、情報の収集・発信が区民の生死を分ける場合があることが明らかである。また、ウクライナーロシア戦争で見ると、衛星インターネットが、通信インフラとして極めて強力であることも示されている。</p> <p>品川区の防災指令拠点として、災害非常時において、区内各出先機関や区外支援元との緊密な連絡調整を図るために、従来の防災無線以外にも、防災能力のデジタル化を図るべきである。</p> <p>ここで、情報サーバ拠点を通信大手3社など、外部に依存した場合、品川区が激甚災害に見舞われているような状況では、国内通信インフラを抱える事業者にも、大きなダメージを被っている可能性が高く、携帯電話網での通信に障害が発生し、防災拠点としての目的が果たせない恐れがある。</p> <p>また、防災無線だけでは、一方向通信のため、近年各地を襲う同時多発的な災害に対応するには、被災72時間の壁を越えられず、多くの被災者の命が失われかねない。</p> <p>このため、衛星インターネットを活用した独立した情報インフラの整備が重要課題となる。衛星インターネットシステム・区政情報を格納した独立したデータセンターサーバ・区としてのプラットフォーム・各出先機関での通信用端末などが必要となる。</p> <p>区外との情報途絶が起こるような緊急非常時でも、区の閉鎖したデータベースとシステムで、区民との情報交換の最後の砦を目指す。</p> <p>2019年台風15号による送電線の断線のため長期にわたり停電した災害の教訓から、多くの病院や、透析患者など、電源の喪失によって命に危険に晒される住人が出ることが分かった。また、災害による電源の喪失は、インターネットなどで緊密に情報インフラに依存する社会においては、情報途絶の危険をはらんでいる。新庁舎が、防災拠点として情報の収集・発信をする能力があったとしても、電源が喪失してしまうと、この能力は活かせない。</p> <p>このため、新庁舎には、安定的な発電能力が求められる。太陽光発電システムだけでは、天候・季節により、発電能力が大幅に変動するため、安定的な電源にはなりえないので、複数の再生可能エネルギーなどによる電源バックアップをできる体制を整える必要がある。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
107	<p>2022年8月30日 「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」に関する追加意見</p> <p>掲題の件、下記の通りとなっております。なお、28日に荏原スクエアで行われた「説明会」において、私は発言の機会を与えられませんでしたので、内容ご確認の程よろしく申し上げます。</p> <p>記</p> <p>意見</p> <p>1. 説明会の質疑応答の中で、「コンクリート建築（RC造りのことをお話していると思われる）の寿命は47年では?」と会場から意見があり、区司会者から、「回答ありがとうございました。」と発言がありました。部長、課長の方々からは全く意見が出ませんでした。役職者の方が、この意味を知らないの問題ですが、現庁舎が築53年ですので、47年を超えているから建て替えた方がいい、とお考えなのでしょうか。では質問しますが、国会議事堂は47年以上経っておりますが潰すのでしょうか?東海道新幹線の橋梁も取り換えるのでしょうか。中古マンションを購入している方で住宅ローンの支払い終了時期が築47年を超えている方はいないのでしょうか。（私は超えています）わざと「47年、答えてくれてありがとう」なのか「知らないふり」されているのかわかりませんが、47年は減価償却の年数で、物理的な使用年数と異なることは、近所の不動産会社で聴いてもわかるような問題です。新庁舎整備担当さんに入入りし一体開発を進める設計会社や、JR東日本が知らないはずがありません。これは恥ずかしい問題です。大変失礼ですが、この程度の知識を答えられない品川区役所の役職者に、イニシャルコストだけでも400億円以上かかる区民の血税を投入するプロジェクトを任せるわけにはいきません。本基本計画に係る副区長、部課長の交代並びに基本計画のゼロベースでの再検討を要求します。本件の回答と公表を求めます。</p> <p>2. 1.とも係わることですが、2011年に本庁舎の耐震工事が行われたと聴いております。そのほか現庁舎の補修、改修、新たな設備や什器の導入が行われている筈です。これらは一体、施工時及び導入時に、何年現庁舎で使用する予定であったのか。スクエア荏原での配布資料9ページに●事業計画（事業スケジュール）がありますが、こちらと重ね合わせて1枚の線表を作成していただき、提示していただきますようお願い致します。もしその重ね合わせた線表について、導入金額とともに、矛盾があるようでしたら、つまり導入年数と想定使用年数にずれがあるようでしたら、より詳細に、説明するとともに、回答と公表を求めます。</p> <p>※次ページにつづく</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
107 (つづき)	<p>3. この新庁舎事業は、会場で出た区民の意見の通り、JR東日本の公共性がない非運輸事業（不動産及び商業施設）と一体となって開発がおこなわれるのは事実であり、かつ現在の利便性のある区有地をJRに譲り渡すことによって開発を進められようとしているようです。そこで先ほどの配布資料9ページ●事業計画（事業スケジュール）と、JR東日本の開発及び広町全体の開発事業の線表を1枚に重ね合わせて提示をお願いします。JR東日本の事業計画は区役所ではわからない、と言われるのなら、JR東日本に提出を求めればよいと思います。各スケジュールを並行して並べて、比較できるようにお願いします。作成頂く線表により、JR東日本の線表と新庁舎の●事業計画が分かりやすく区民に提示できます。またそれに関連して品川区とJR東日本との契約や土地取引に関して契約書があるはずですので、それを区民に公開するようお願いいたします。回答と公表を求めます。</p> <p>4. 同じく配布資料9ページの上段、中段に●事業計画（事業手法）が書かれており、「本事業においては従来方式を採用します」と記載してあります。その上の行に一部赤字で「設計・施工の各段階で区民や区の意向を反映できること」と書かれております。この記載によると、1基本計画の策定前に行われている8月のパブリックコメント以外に区民の意向を反映していただける場があると考えております。「設計・施工の各段階」において、区民の意向を反映できる場を、いつ設けるのか、その内容を反映していただけるのか、回答、公表願います。</p> <p>5. 会場の質問で述べられた通り、障害者の各種行政手続きや各サービスの案内などについて、導線も含めてワンストップサービスを提供することは品川区役所の努めであると考えております。現在考えられている新庁舎においては、駅から遠い上に、床面積が狭くなり、かつ高層化したビルになるため、一フロアで、かつ1階に障害者のワンストップサービスが提供できるのか不安を感じます。品川区新庁舎整備NEWS第7号によると、保健所と保健センターが中層階にゾーニングされています。障害者がエレベーターやエスカレーターを使用しなければならないことは、あってはならないと考えています。障害者手帳についても発言がありました。現在障害者手帳の発行には申請（更新含む）、と受領で2回役所に出向かなければなりません。写真撮影を入れると3回外出を強いられます。当たり前ですが運転免許証の更新に3回外出する必要はなく1度ですべて済みます。庁舎窓口でのワンストップサービスを実現することは大切なことですが、申請者に引き替え用紙を渡す運用を止め、ペーパーレス化できないか、DX、オンラインなどにより外出回数を減らせないか、障害者についてもワンストップ行政サービスにより、複数の窓口を回らなくとも、一つの窓口による一人の担当により、すべて済むようにできないか、など課題はあると考えます。新庁舎に移らなければ実現できないということではないのはもちろんです。都や国の制度に絡む部分がありますが、品川区として働きかけることにより、区民である障害者および障害者団体の声を聴いた上で今後の行政を進めて頂きたいとの要望について、回答と公表を願います。</p> <p>※次ページにつづく</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
107 (つづき)	<p>6. 会場配布資料10ページの「これまでに寄せられた主な区民意見」について、会場質疑でもあった通り、アンケートが行われたのを知らなかった、という声があり、私も知らなかった一人です。また回答数を見ても、当区人口規模からみて1桁から2桁少ないのではないかと考えます。品川区新庁舎整備NEWS第5号によると、委員からの意見として、「パブリックコメントへの意見は少なかったが、中身は濃いのではないかと」の発言が掲載されています。区民の回答数が少ないことが、中身の濃い意見と言えるのだろうか甚だ無責任な発言です。本パブリックコメント募集も含め、もっと大々的に宣伝すべきで、きゅりあんの催物以上に、目立つところにポスターを大きく張り出すべきではないでしょうか。ひっそりと図書館の隅に「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」が置かれているようでは、宣伝が足りないと考えます。新庁舎問題は区民にとって多額の血税を投入する一大事業であるとともに、将来にわたって区政を左右する重大な問題です。せめて区内で選挙を実施する場合並みに、宣伝、周知する必要があると考えます。説明会の回数と場所も増やすべきです。万人単位以上の意見をまとめて初めて、「区民の声が聴けた」と言えると思います。本6項の内容に対し、回答と公表を求めます。</p> <p>以上</p>
108	<ul style="list-style-type: none"> ・ たくさんの区民からの意見を聞いた形にしてほしいので、説明会をあらゆる年代に合った物を企画して下さい ・ 事業費約400億円以上高いと感じる。少しでも安くする方法、考えはありますか？ <p>更に移転費、解体工事費、備品更新費がプラスになるのだから、この部分の概算額を表示するべきと思いますが</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基本設計の前に利用者（障害者）の意見が反映される会の企画はありますか ・ 超高層は希望しません、低層で

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
109	<p>2022/8/30 品川区新庁舎整備基本計画（素案）に関する意見 近年、気候変動により頻発化・激甚化する台風や局地的豪雨等による大規模な風水害や首都直下地震等が発生するリスクが一段と高まっています。こうした状況において、新庁舎の基本理念の一つとして、「『環境都市』の実現とともに、災害時にも区民を守る、力強く持続可能な庁舎」を掲げられたことに大いに賛同致します。 その理念をより高度化・具体化する視点から、以下のとおり意見を提出します。</p> <p>○意見 「導入機能の整備方針4）防災（ア）周辺施設との連携機能」（P.17）において、災害発生時の周辺施設との連携が記載されている。周辺施設は別途検討中とされているが、災害発生時には新庁舎から周辺施設に対してエネルギー供給が必要になる場合があると考えられることから、以下の追記、変更を提案します。 基本計画（素案）記載内容 追記・変更 17項</p> <p>○周辺施設との連携 ・広町地区内の各施設、しながわ中央公園と災害時の役割を分担・補完しあいながら防災指令拠点の強化を目指します。 ・第二庁舎は災害対応従事者の休憩・宿泊場所、第二庁舎駐車場は協定先や支援団体の車両駐車スペースとするなど後方支援拠点としての活用を検討します。 ・第二庁舎等の周辺施設に対し、必要に応じて、災害発生時における本庁舎からのエネルギー供給を検討します。 ・効率が良く低炭素で、災害時の業務継続性を可能とする面的エネルギーシステム導入を検討します。</p> <p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）パブコメ (1) ミスプリ 23項 注釈の※1、※2が逆ではないか。 また、※1で記載されている基準一次エネルギー消費量の説明が尻切れになっていないか。 24項 国の温室効果ガス削減目標の年次は、2013年度、2030年度、2050年ではないか。 (東京都の目標年次は「年」なので、それに引きずられた?) 48項 図表3-22のタイトル「受水槽による飲料水確保」が図表3-21と同じで間違っている。「2回線受電」という感じのタイトルでは。（同一変電所からの本・予備では、それ程自慢できないような）</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
110	<p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）への意見 パブリックコメントの一つとして。</p> <p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）を拝見した。この品川区庁舎の建替えについては、隣接の広町二丁目のJRサイドの開発と併せてこれまでも幾たびか目にしてきた。大井町駅周辺地域まちづくり方針あたりからつまり二年程前から、公表の機会のたびに少しずつ細部が顕に見えるようになってきたのだが、やはり今回もそこに新鮮味や意外性、つまり個性的な魅力・オリジナリティを感じることはできなかつた。言い換えれば想定された範囲内（の下の方）に位置する内容である。</p> <p>広町地区全域の構想は、随分と大昔から練り続けられてきたものであろう。それとは別に民間でも、例えば建築家志望の学生らによる広町の未来予想図的なプランも見かけた記憶がある。様々な機会に取り沙汰され、様々な人が関わってきたはずである。時間的にもマンパワー的にも幾らでも拡張できた計画である。それでこれなのか？</p> <p>今般の広町全域の計画は改めて言うまでもなく、品川区の玄関に位置する、品川区の顔となるべき開発である。然し乍らこの計画では（隣接の大井町駅部分も含めて）ありきたりのどこにでもある高層ビルの立ち並ぶ絵面以外の想像ができない。</p> <p>事あるごとに私は今日の開発事業に苦言を呈してきたものだが、此れだから反対するのである。こんな事なら何もしない方が余程良い。以前のただっ広い開けた土地を残しておいた方が個性的で面白い。「この空間勿'体無いね～」と思えること自体がその土地の魅力であり個性となる（延いては人を引き寄せる）のだが、あっちでもこっちでも経済効率一辺倒の開発ばかりではないか。最初のうちは百歩譲ってまだ良かったかもしれない。物珍しかったうちはだ。しかし、とうに見飽きてしまった頃に、莫大な費用を投入しても、それに見合う「街」を、思い描く「未来」を作ることにはできないのではないかともう飽きてしまったものは「未来」ではなく過去のものなのだ。</p> <p>私ごとで恐縮だが建築科の学生だった頃、課題を提出しても、それが何かに「似ている」ありきたりなものだったら合格点は与えられなかつた。つまり0点である。多少荒削りであっても、どこかにオリジナリティがあればそこに10点、他にもあれば又10点と評価してもらったものだ。今からでも間に合うはずだ。時間をかけて、より良いものを創らなければ。品川区の「顔」になるのだから。<終></p>
111	<p>レンガ造の御料車庫は大正期の関東大震災前に建てられた歴史ある建物で、建築的な価値の非常に高いものです。御用車を収めてきた鉄道の歴史・文化の上でも貴重な建築です。歴史的建造物を保存活用して高層棟を増築した庁舎には、群馬県庁、神奈川県庁などの例があり、参考になると思います。歴史的建造物が実在することは、まちに歴史を伝え風格を与えます。御料車庫はまちにとっても重要です。ぜひとも保存再生し、市民が使う施設として活かして欲しいです。</p>
112	<p>大井町には子供が遊べる室内施設が少ないので、赤ちゃんから小学生くらいまでが遊べる場所があると助かります。</p>
113	<p>品川区におかれましては日頃より区民生活の安寧にご尽力いただき感謝申し上げます。永年既存庁舎を大切にお使いになられ今般、新庁舎をご計画されている事に個人的には異議ございません。ただ一つ、現庁舎と新庁舎の間に存する素晴らしいレンガ倉庫の上を区画道路なる物が横切っています。このレンガ倉庫の保全と将来の利用は必ず行って下さい。誰の目にも素晴らしい宝であるレンガ倉庫を無下に解体する事はしないでください。繰り返します。現庁舎と新庁舎の間に存する素晴らしいレンガ倉庫の保全と将来の利用を必ず行って下さい。お願い申し上げます。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
114	<p>8月28日スクエア荏原で開催された説明会に参加しました。意見要望としましては、質問ですが、3割ほど現在の庁舎より容量が大きくなるということですが、それは15階から20階の高層にした場合でしょうか？それとも高層にしなくても3割増は可能でしょうか？また最低限必要な機能（議会棟や、執務機能、都の機関、災害対策機能、窓口機能など）を入れるのに15階から20階の高層建築が必要なのでしょうか？それともそういった区の機能とは別にホテルやカフェ、といった商業施設を含む複合施設にされるつもりなのかその辺のところを教えてください。また、現庁舎の跡地をJRに売却？する予定と聞いていましたが、説明会では跡地の利用は何にするかまだ未定という説明でしたが、JRに譲り渡す可能性はありますか？教えてください。</p>
115	<p>品川区庁舎新築計画地と現庁舎の間にある、レンガ造の御料車庫の保存再生・利活用を希望します。 市民の憩いの場、安心の拠点、シンボルとして、庁舎の建物本体だけでなく、周辺環境である駅や周辺建物との一体的な環境整備が不可欠と考えます。貴重なレンガ造の遺構を活かし、過去の資産を継承するという市民へのメッセージを盛り込んだ、広域な視点による計画を希望します。</p>
116	<p>煉瓦造の御料車庫の扱いがどうなるのか心配です。 せっかくの震災戦災を免れた建築を活かして欲しいです。 今あるものを最大限利用して欲しいです。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
117	<p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）パブリックコメント</p> <p>①P8 窓口での待ち人数がわかる「番号表示モニター」の設置 知的障害のある方は、一人で留守番出来ない方もいて、どうしても一緒に来庁しなくてはならないこともあります。もし、受付番号がQRコードでの読み取りで待ち状況がわかれば、庁舎を出て公園や店舗等で待つことも出来ます。ご検討の程お願いいたします。</p> <p>②P11 区民協同・交流スペースについて 区民が利用できるカフェやコンビニには、障害のある方が通う施設や、障害のある方を積極的に雇用している企業の導入をお願いします。福祉作業所で作られた自主製品販売する「kurumiru」（東京都福祉保健局自主製品魅力発信プロジェクト）のようなお洒落な店舗を設置してください。</p> <p>③P15 議会機能 幼い子供連れの方に対応できるよう、防音性の高いブースを設けます。 知的・発達障害のある方は見知らぬたくさんの人に囲まれたりするのは苦手な方が多いです。また、聴覚過敏の方も多くいらっしゃいます。そのような方にも開放していただけますようお願いいたします。</p> <p>④P27 利用しやすい環境整備 新国立競技場に設置された「介護などによる異性付添利用対応」のトイレ、「待機者への付添利用対応」のトイレの設置もお願いいたします。 universaldesignworkshopnITsuITe.pdf (jnsport.go.jp) 「カムダウン・クールダウンスペース」の設置をお願いいたします。有明アリーナ、新国立競技場、羽田・成田・旭川空港等に設置されています。知的障害のある方だけでなく、発達障害、精神障害、認知症のある方や乳幼児が、慣れない視線・音・光等の刺激に過敏に反応してしまった時に、気持ちを落ち着かせる場として設置をお願いいたします。</p> <p>⑤防災機能について P17 新庁舎および周辺施設は災害時、帰宅困難者一時滞在施設となっています。その際、ヘルプマークを付けている配慮の必要な方、乳幼児を連れている方、外国人、高齢者など、ゾーン分けをお願いします。また、知的・発達障害のある方、外国の方へのコミュニケーション支援をお願いします。（例：荒川区で作成した「コミュニケーション支援ボード」） 品川区の二次避難所のほとんどはシルバーセンター、福祉避難所のほとんどは特別養護老人ホームです。是非、新庁舎および周辺施設にも福祉避難所機能を持たせてください。</p> <p>⑥庁舎維持のために必要な「清掃」は、障害のある方が通う施設や、障害のある方を積極的に雇用している企業の導入をお願いします。</p> <p>⑦是非、新庁舎を利用する当事者、当事者団体へのヒアリングの場を設けてください。トイレ、エレベーター、庁舎内の動線、構造化など。完成してしまってからでは遅いので。 以上。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
118	<p>計画敷地内には大正初期に建設された煉瓦造の「御料車庫」が立地しています。本整備計画において煉瓦造の「御料車庫」を保存利活用していただくことをお願いします。煉瓦造建築物の保存再生・利活用は、旧小樽倉庫、横浜の赤煉瓦倉庫、東京駅など数多く存在。日本の伝統的な『曳家の技術』を使えば利活用も充分可能です。住民が使いながら保存（動態保存）され、尚、品川地区の文化遺産として後世に継承できることを望みます。</p>
119	<p>1. 新庁舎の基本設計をするにあたって障害者団体の意見を聞いていただきたい。また、新庁舎構想委員に障害者団体からも代表者を参加させていただきたい。2. 庁舎内の売店やレストランに障害者を優先的に雇用していただきたい。庁舎内の売店でかもめ工房やプチレーブで障害当事者の作った菓子やパン、雑貨などを販売するコーナーを作っていただきたい。3. 障害者が区役所で各種申請をする場合に申請窓口をワンストップに（窓口のたらいまわしをなくす）していただきたい。4. 新庁舎にアールブリュット専用のミニギャラリーを新設していただきたい。5. 新庁舎内に障害者用の防災避難所を併設していただきたい。6. 新庁舎内に保健所の機能を持たせていただきたい。</p>
120	<p>今回の計画敷地には大正初期に建築された煉瓦の「御料車庫」が含まれています。「御料車庫」は、「御料車」や原宿駅のプラットフォームと共に帝都としての記憶であり、品川区だけでなく東京都、ひいては国としての「帝都遺産」とでもいうべきものとして扱う必要のある建築物だと考えます。関東大震災、東京大空襲にも生き残った煉瓦建築は品川の歴史を語る非常に重要な遺産です。この度の新庁舎整備計画には周辺環境に配慮した、豊かな潤いのある市街地環境の形成が方針に挙げられていることもありますので、この度の整備計画ではこの煉瓦建築を活かし、計画の一部として、活用した計画とするよう望みます。近年文化財は保存だけでなく、活用にも注目されており、東京駅を代表とする煉瓦建築は一度は消える方針でしたが、周囲の努力により、保存され今ではシンボルともなっています。構造補強の前例としては、東京駅のほか横浜赤レンガ倉庫などがありますので、本整備計画でも是非「御料車庫」を保存活用する計画として頂くことをお願いします。</p>
121	<p>1. 新庁舎の基本計画を策定するにあたって品川区の主要な障害者団体から個別にヒアリングを行っていただきたい。 2. 新庁舎の基本計画策定にあたって品川区の障害者団体（協力団体）の代表者が委員に選定されていないため、障害者区民の代表的意見が基本計画に反映されにくいという問題点がある。基本計画策定や、これから基本設計をするにあたって、障害者団体代表者を委員に選定し、障害者区民の意見を今以上に新庁舎施策に反映できるようにしていただきたい。</p>
122	<p>新しく区役所を建て替える計画について、いくつか意見を述べます。 先ず、広町にあった区の土地につくらないのかという点です。出来るだけ駅前につけてほしいのです。なぜなら、私は八潮に住んでいますが、大井町には路線バスで来ても区役所までは10数分歩かなくてはなりません。コミバスが走り始めましたが、そのコースは全く違う地域しか通りません。区役所は大勢の区民が利用する場所ですから、出来るだけ便利な場所につくるべきです。 次に、建て替え計画に区民の声が反映されていない点です。つくる位置が明確に示しています。免震工事を過去にして、まだもつというではありませんか。まだ、時間があるので区民意見をしっかり聞いて計画に生かすべきです。その作業を怠ると結局は区民に支持されない計画で終わってしまいます。区民を信頼して、区民の様々な意見を大事にして生かす区政運営を出来る区政になって下さい。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
123	<p>・窓口の待ち時間がわかる「番号表示モニター」の他に、QRコードから携帯電話で自分が順番がわかるものがあると便利です。こちら豊島区で採用されています。待っている時に、トイレや授乳、飲み物を買ったり、子供が暴れてしまったりなど子供の都合で席を外す時等に助かりました。</p> <p>・感染症はこれからも続くと思います。屋上や緑がある部分はテラスなど少し外の空気が吸ったり外にでられる場所（できれば小さなベンチなど）があると嬉しいです。</p> <p>・オンラインでの窓口相談は時間予約の他に、窓口のように順番待ちができるような仕組みがあると今後便利になると思います</p>
124	<p>JR東日本は、産業および社員含めて品川区民として過去及び現在も共に進んできた仲間である。そのレガシーとして線路と煉瓦倉庫の建物を残し、活用することで街の個性を発揮した再開発及び区画整理ができるのではないかと。また、再開発事業においては、他事例もあるように歴史資産は床面積からも除外可能なはずであり、将来にわたって語り継げる財産として活用すべきと考える。是非とも、JRと一緒に歩んできた区政の財産を見捨てない施設になるようにしてもらいたい。</p>
125	<p>品川区新庁舎整備基本計画（素案） 環境性能について 素案では、太陽光発電システムのみが再生可能エネルギーの活用に取り上げられている。 太陽光発電は、時間変動・季節変動が大きく、これのみでは、庁舎電源を安定的に供給することは難しい。時間変動・季節変動を抑えるために、蓄電設備との併用が望ましい。 蓄電設備には、従来から使われている鉛蓄電池を使用した設備、現在主流となっている東芝などのリチウムイオン蓄電池、将来的には、より安全性が高くエネルギー密度の高い全個体電池の開発も進んでいる。 太陽光発電導入に当たっては、リチウムイオン蓄電池など蓄電池システムを兼用し、ピークカット・ピークシフトをして、電源の安定供給化をはかる必要がある。 一方で、太陽光発電は、屋上緑化事業とは、設置場所が重なるため、二者択一となる。このため、敷地面積1,000㎡を超える建築物となる場合、太陽光発電を設置できる面積は限られてしまう。すると、発電能力も制限され、・などの認証取得のためには、再生可能エネルギー・カーボンニュートラルなエネルギー源を必要とする。 そのため、水力・地熱発電は難しいと思われるが、風力・バイオマス発電など他の再生可能エネルギーの導入も検討すべきと考える。 バイオマス発電の場合は、家庭から定期的に出る生ごみなどを厳格に分別収集し、これを燃料資源とすることで、廃棄物量の削減にもつながり、環境性能が向上すると考える。 また、発電過程で発生するリンや窒素などを肥料化し、早川町・山北町など友好都市での農業生産に活用するなど、生産性向上を図ることができる。 太陽光発電化から供給される電力を1次電源とすることで、単独ではコストのかかる別の発電システムを活かすことができる。上記のバイオマス発電の場合、家庭ごみを選別する機器の電源、発酵させ燃料化するための電源などとして、また、水を原料とする水素発電では、水素発生にこの1次電源を使用することができる。 これらの設備については、新庁舎や公園の地下部、民間商業施設の地下部の活用を、駐車場設置条件との調整が必要だろうが、考えるべきと思う。 その上で、再生可能エネルギー関連施設の管理運営のための事業体で行い、区会計に繰り込みたい。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
126	<p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）の立地・アクセスについて 区民協働・交流機能の場としての新庁舎 立地が、現在の最寄り駅下神明よりも大井町方面へ移設となるため、距離感が遠くなる。 新庁舎の立地位置が、東急大井町線下神明駅と大井町（JR京浜東北線・東急大井町線・りんかい線）の中間位置であるので、アクセスとしては、大井町駅・下神明駅両駅から徒歩15分程度と考えられる。 庁舎利用を最終目的として、品川区各地区から新庁舎へ移動する場合、鉄道を使う場合は、この両駅を使うことになる。庁舎前のコミュニティバスを導入する場合は、庁舎周辺にいくつかのルートของバスルートがあり、バス停を確保する必要がある。 このため、各交通ターミナルから庁舎への移動について利便性を高める必要がある。 バス停については、庁舎前に到達する道路が整備されれば、確保ができる。 鉄道ターミナルから新庁舎からのアクセスは、大井町駅からしながわ中央公園に向かって、2階部分に歩行者デッキにて、フラットスペースでのアクセスを可能とする計画になっている。しかし、大井町駅から直線で約200m、歩行距離とすれば300m強をオープンエアで風雨に晒される環境を健常者でない方も通行することを考えると、バリアフリーになっているとは言い難い。商業スペースとしては、魅力的な計画だと思われるが、バリアフリー対策を別途施す必要があると考える。歩行者デッキの下部、1階フロアの方がむしろ、天候に左右されず、安定的に、新庁舎にアクセスできると考える。ここに、新宿西口から都庁方面や、東京メトロ霞ヶ関駅の乗り換えのような、動く廊下設備を設置すれば、移動が困難な方も容易に新庁舎を利用できるようになる。 立地条件も、大井町駅から下神明駅へかけて回遊できるような遊歩道整備が進めば、広町地区一帯としての開発が進んで、賑わいのある、住みよい街づくりにつながるのではないかとと思われる。</p>
127	<p>新庁舎は、15階から20階建てになる計画とのことですが、 「おおよその高さが何メートルになるか」を公表していただきたいと思います。 区民が新庁舎の姿をイメージしやすくなると思います。 公表しない場合は、その理由を教えてくださいたいと思います。</p>
128	<p>新庁舎内にぜひ各種障害者施設を入れてください。 障害児者総合支援施設は新しく建てられましたが、それ以外の各種障害児者施設は古い建物を転したもののばかり。 どの施設も手狭になっています。 しかもそれらは大井町駅から遠い所が多く、同じ品川区内であっても誰でも行きやすい場所とは言えません。 品川区は家賃や土地が高く、新しく土地建物を取得あるいは借りて障害児者施設を作ることは難しいです。 新庁舎内に障害者施設を併設するのは無理というのであれば、せめて旧庁舎に各種障害児者施設を入れてください。 区役所は新しくしたが、障害児者施設は古い庁舎でやってねというのも、印象悪いです、 それでも現状よりましです。現庁舎ならば、大井町駅から比較的近く、品川区の中心部になりますから、 品川区内の各地にお住まいの区民の利用がしやすくなります。 ぜひ区民目線、障害児者およびその家族目線で新庁舎の構想をお願いいたします。 新庁舎の検討には障害当事者の意見を取り入れてください。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
129	設計が進む段階で日影図を区役所ホームページ上に掲載してほしいと思います。
130	新庁舎建設予定地は、羽田空港新ルートの下下エリアにあたりますが、外壁や窓ガラス等における騒音対策を考えてほしいと思います。
131	併設施設の要望です。 中学生や高校生が、しずかに勉強できる場所、自習室を設置してほしいです。

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
132	<p>品川区は約38万人の人口規模の都市です。 約50年ぶり、400億円超事業費のプロジェクトを進めるにあたって、住民参画の手法がアンケートや合計300名定員の説明会5回、説明用の動画配信は公開3週間で約600アクセスで、あまりにも住民の意向を引き出す努力をしていないと感じます。 構想にある「区民にとってわかりやすく・区民の協働と交流の拠点」を具現化するには程遠い、状態であることをまず、認識と反省し、今後の進め方を今一度改めて、検討していただきたい。行政がアウトリーチする姿勢がなくては、区民との協働と交流の拠点は実現しないと考えます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新庁舎の計画及び、隣接する区事業のにぎわい施設に関しては、住民参画の機会を増やしてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・住民参画を恐れずに取り組んでください。住民と区は敵対する関係ではなく、協働する関係です。 ・まずは区から区民活動を育み人材を育成する姿勢がなくては、協働関係は構築されません。 2. 新庁舎の計画は、広町地区再開発と一体で進めてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎の計画敷地は、広町地区再開発地区に含まれているため、他の施設と整合を取りながら計画を総合的に進めてください。 3. 新庁舎の計画は、品川区庁内で一丸となったプロジェクトチームをつくり進めてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・各部を超え、横ぐしの連携の取れる体制で進めてください。 4. 広町地区の開発は、品川区が主体となって、その他地権者とも調整を進めてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・広町地区再開発は、ただの再開発ではなく、大井町駅に接する“品川区の顔”となる品川区の中心地区であり、区民の期待も大きいため、開発スケジュールを含めて、品川区が主体となって全体を統括しながら進めてください。 5. 煉瓦造の御料車庫建物を文化施設などとして前向きに活用してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・この煉瓦造建築は、極めて歴史的に貴重な車両等を製造補完してきた車庫（大正4年竣工/L約90m・W約15m）といわれています。また同時代の残存する煉瓦構造物は、重要文化財の東京駅（大正3年）、横浜市認定歴史的建造物の横浜赤レンガ倉庫群（明治44年・大正2年）などがあげられます。 ・この建物を品川区の地域資源ととらえ、文化施設やにぎわい施設、交流施設などに活用することをぜひ考えてください。 <p>大井の地だからこそできる、唯一無二の再開発をぜひ考えてください。発注者がしっかりと指示をすれば、コンサルや設計者はしっかりと検討します。手綱をもっているのは、区役所です。</p> <p>御料車庫という名称は ※1：日本国有鉄道大井工場著『大井工場90年史』昭和38年編で使用され、国会図書館などで誰もが閲覧可能 ※2：鉄道博物館企画展「御料車～知らされる美術品～」2010年のカタログ011ページ「御料車のあゆみ」に「大井工場（当時は大井工機部）では御料車庫が」の記述あり</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
133	<p>飼い主のいない猫の保護・譲渡のための預かり施設を作ってほしい。 具体的には、イオン品川シーサイドショッピングセンターの「イオンペット」のような、譲渡のための展示施設。</p> <p>あのような施設があれば、譲渡までのミルクボラも、離乳後の子猫、成猫のお世話をしてくれるボランティアも募集出来るようになり、現在のように「施設がないために、飼い主のいない猫を保護できない」という現実の課題がクリアされる。</p>
134	<p>区庁舎の整備には400億円ものコストがかかるとのことですが、その後の庁舎の維持管理コストを抑えることは区民の財源を守るために非常に重要な観点になると思います。当初の計画案にあった13から15階建てのシンプルな立方体のビルに比べて、現在のイメージではさらに高層で複雑なフロア構成となっています。シンプル形状でワンフロアを広く取った構造に比べて、高層化することでエレベーター等の共用部分の面積のぞうかによる維持管理やビル全体のメンテナンスコストが上がるのが想定されます。サステナブルで環境負荷の低いビルになるとすれば、区民の立場から再考が必要と考えます。当初の理念にあった維持管理のしやすいビル設計を検討いただきたいと切に望みます。</p>
135	<p>区役所が新しくなると聞いて、まず思ったのは、食堂です。今は地下なので、ぜひ最上階にしてください。他区の食堂のように最上階で見晴らしの良い席で食事したいです。屋上部分にテラス席などがあると、区民の憩いの場になると思います。最上階で明るいので、照明も減らせるので省エネ化がはかれ、エコ効果も高くなるし、開放的に外気も取り入れて換気がよくなり、コロナ等の感染症対策にもなると思います。</p> <p>一階には、区民が一休みする場として、カフェなど誘致して欲しいです。タリーズ、ドトール、スタバなどを誘致している区役所や病院等が増えています。待ち時間や休憩に役立ちます。見やすいところに、電光掲示板などがあると、順番待ちで呼ばれたのがわかって便利だと思います。</p> <p>エレベーターは性能の良いものにしてください。今のエレベーターは皆上に上がってしまったり、下がってしまったりで待つのにストレスがたまります。ぜひ性能の良いエレベーターにしてください。</p> <p>最後は区役所とは直接関係ありませんが、またぜひ劇団四季を大井町に誘致してください。「四季劇場夏」は、大井町駅から近く、羽田空港や新幹線品川駅からも近く、日本全国から来る四季ファンにとっては大変魅力的な劇場で、ずっと広町にいてほしかったです。今は江東区に行ってしまう大変残念です。</p> <p>キャッツシアターは、期間限定の劇場なので今は名古屋に行っていますが、数年後にはまた東京に戻ってくる可能性が高いです。その時にまた誘致出来る様に広場的な空間を作っておいてキャッツが東京に来る時に、誘致出来たら良いと思います。（もちろん四季側には事前に打診しておく）あざみ野にある劇団としても、大井町は色々な意味で大変便利だと思うので乗ってくれるはず。そうすれば、全国からまた大井町にお客様が来てくれます。そして、劇場が大井町にある間は、ふるさと納税の返戻品として「キャッツ」のチケットなどを出せば品川区への納税もかなり増えると予想出来ます。</p> <p>ざっと意見を書かせていただきましたが、既に決まっていることもあると思いますが、ぜひ取り入れてくださいますようお願いいたします。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
136	<p>庁舎建設に関する意見 1. 本当に今高層の庁舎を建てる必要があるのでしょうか。 ①コロナで、区民の多くが困っている。 子ども、高令者の施設、中小企業、生活、くらし ②ウクライナ戦争で心も不安、物価値上り、 そんな時に400億円（もっとかかる）かけて新庁舎を建てる必要があるのでしょうか。 2. 温暖化、自然災害（特に地震）を考えると高層の建て物はこれ以上必要ありません。 ビル風でお年寄、子どもはたおされそうで町を歩くのもこわいです。 建てかえるのであれば現庁舎を利用した低層の人にやさしい行きたくなる庁舎を望みます。 ※今すぐに決めるのではなく、もっと多くの人の声を聞いて下さい。 2022年8月31日</p>
137	<p>8/28に足りなかった分の追加です</p> <p>①キッズコーナー、高齢者コーナーの充実 ②品川区在の中学、高校、大学の一括情報館 ③幼稚園 保育園の情報館 ④現庁舎には外国語板案内図が少ない ⑤大井町には区役所があるとシンボル化！ 大井町、五反田、武蔵小山、旗ノ台、大森駅に宣伝板を作ったらどうか ⑥インフォメーションには外国語の出来る人の勤務は？ 西武鉄道、主要駅、新宿、小田急、京王デパートには話せる語のワッペン、バッジをつけた人がいる。 外国人にわかりやすい ⑦自転車来庁者には1回百円を入金してもらう。 時代的に自転車優遇は遅れている ⑧レストランカフェの充実 シーサイドイオン、イトーヨーカドのイトーインを参考に ⑨職員の更衣室、休けい室の充実 ⑩外廻りして来た職員用のシャワー室を、簡素で良い 利用時間は10分程度に ⑪職員の声も大事にして ⑫現・エレベーター前での案内はやめたら、IT化進めば、検索機で足りる、 各階に案内図を置けば良い 現状案内板はわかりにくい。 まだありますが、情世変化により又、投書させていただきます。 誤字、脱字ありましたらすいませんです。</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
138	<p>2022年8月31日</p> <p>「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」に関する追加意見2</p> <p>掲題の件、30日提出の追加意見に加えて、下記の通り提出いたします。内容ご確認の程よろしく申し上げます。</p> <p>記</p> <p>・意見</p> <p>1. 8月28日に荏原スクエアで配布された資料においては、基本理念、基本方針について述べられていますが、基本となる「新区庁舎はどこにあるべきか」について区民に広く意見を求めたような記載はありません。アンケートも示しておりません。これについては、「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」についても、食堂の在り方についてアンケートはとられていますが、区庁舎のあるべき位置については記載がありません。正直申し上げまして、食堂は庁舎のごく一部であり、建設後も変更可能と思われるが、重大な「新区庁舎はどこに建てられるべきか」について広く区民のアンケートをとった形跡がありません。現在、当然ですが新庁舎は1mmも建設されてはおりません。今なら間に合います。最優先で「新区庁舎はどこに建てられるべきか」の意見を集め、取り入れたのち「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」を組みなおすべきと考えますがいかがでしょうか。本件の回答と公表を求めます。</p> <p>2. 30日にFAXしました追加意見について、わかりにくい文章であったかと思しますので、再度掲載します。現区庁舎は2011年に本庁舎の耐震工事などが行われ、そのほか現庁舎の補修、改修、新たな設備や什器の導入が行われていますが、これらの導入時期と導入金額、何年使うつもりであったかを提示願います。それをスクエア荏原での配布資料9ページに「事業計画（事業スケジュール）」に併記して1枚の時系列が分かる線表を作成していただき、提示していただきますようお願い致します。線表について、導入金額とともに、矛盾があるようでしたら、説明して頂くとともに、回答と公表を求めます。</p> <p>3. この新庁舎事業において、策定委員会の方々などが加わり現在の「品川区新庁舎整備基本計画（素案）」ができていくかと思いますが、これだけの立派な内容について失礼ながら策定委員会の方々や職員の方々だけで作り上げたとは思えない出来栄です。オフィスの運用にあたっては（株）イトーキ殿が資料の一部を提供されているようですが、ほかに専門的なコンサルタント会社、設計会社が加わっていると見受けします。それらの素案作成に携わった企業・法人と個人を公開願います。区民の意見を少しでも反映できるように、それらの会社の業務、実績、選定理由についても区民に示すことをお願いするとともに、それについて、回答、公表願います。</p> <p>※次ページにつづく</p>

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
138 (つづき)	<p>4. パブリックコメントの実施時期の問題ですが、現在は基本計画段階で行われています。区民にとってこれだけの大事業ですから、区民の意見をより取り入れるために、パブリックコメントは、基本精想段階にて行われるべきではなかったでしょうか。この疑問について、回答、公表願います。</p> <p>5. 策定委員会の方々は公募区民も含め、本委員会が終了するまでまったく同じメンバーで行われるのでしょうか。広く区民に意見を求めるといふ観点から短い任期で交代し、新しい意見を取り入れることにより斬新なアイデアを取り込める考えはありませんでしょうか。策定委員会の在り方とともに、メンバーの在り方について考えて再考頂くとともに、再考結果を回答、公表願います。尚、現在のメンバーを入れ替える、または追加する機会がありましたら、僭越ながら私は立候補させて頂きます。現在の勤務先は別途必要があれば提示しますが、個人としてDX、オフィス運用などの幅広い知識、経験を持つていと自負しております。</p> <p>以上</p>
139	<p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）への意見書</p> <p>品川区新庁舎整備基本計画（素案）に反対します。</p> <p><反対理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・あと14年もつ現庁舎の建て替えを急ぐ必要はない。工事費に見積もられている400億円は区民の血税であり、新庁舎建設よりも困窮する区民生活に、コロナで疲弊している業者に等、急を要している用途は他にある。私達の税金の使い方が間違っている。 ・そもそも、区有地とJR東日本の土地を交換する理由の説明がされていない。駅に近い区有地は区民がもっとも望む利用方法として活用すべきもの。 <p>今回の計画は白紙に戻し、区民の意見を聞くことから始めるべき。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・超高層ビル区役所のデメリットの説明が足りない。

意見原文

※同一の方から複数の意見が提出された場合は、意見ごとに掲載しています。

意見番号	意見原文
140	<p>品川区新庁舎整備計画（素案）に反対です</p> <p>品川区の住民から空を奪い取らないでいただきたい この計画の完成図を見るとゾッとする。おだまりの高層ビルオフィスと高級住宅、ホテルが入り、劇場・ホールのようなものが加わる。上っ面だけの高級感には文化は感じられず、軽薄な虚しさがそびえ立つのみだ。大井町駅周辺は旧国鉄時代からの工場や車庫があるため広大な空を見渡せる稀有な地域だ。国民の共有財産・区民の共有空間を巨額の税金を使って醜悪な建造物で埋め尽くすのは野蛮極まりない行為だ。未来の区民にこのような計画を引き継ぐわけにはいかない。</p> <p>災害時において区民のために役立つ庁舎を、あらためて検討していただきたい 区民の命を本気で守ろうとするならば、あえて狭い土地に停電などの弱いとされる超高層の新庁舎を新築する意図が理解できない。大規模災害が起きてから「想定外」では済まない。あらゆるリスクを考慮し最も安全性の高く区民の役に立つ新庁舎を計画するのが行政の当たり前の姿ではないのか。未来の区民にこのような計画を引き継ぐわけにはいかない。</p> <p>再開発ありき、現住民を苦しめる計画は、断じて許すわけにはいかない 品川区の再開発は都内でも目立って多いと聞いている。今回の新庁舎整備計画が大井町駅周辺の再開発の呼び水として企まれているとも聞いている。そこに住んでいる、営業している一人ひとりには、かけがえのない生活がある。再開発の名の下に生活を踏み潰していく。これでは北の国の野蛮な政権と本質は同じではないか。そんな残忍な計画は品川区には要らない。未来の区民にこのような計画を引き継ぐわけには断じていかない。 これらの理由により私は、品川区新庁舎整備計画（素案）に反対する。 以上</p>

品川区新庁舎整備基本計画（素案） 修正事項について






品川区新庁舎整備基本計画（素案）の内容について、パブリックコメント、区民意見フォーム、区民説明会、オープンハウス等においていただいたご意見を踏まえ、答申案において以下の通り変更を行いました。

頁	項目	種別	修正内容
第2章 導入機能の基本計画			
p.7	SDGs について	追加・修正	◇目標 5,8 の内容について追記・修正 ◇目標 1,2,3,4,13,14,16,17 についての記載を新たに追加 (詳細は答申案をご覧ください。)
p.12	区民協働・交流機能の整備方針	追加	◇次の一文を追加 「・ 障害者が製作した商品の販売を行う店舗や障害者アートの展示を行うギャラリーなどのスペースの設置を検討します。」
第3章 施設計画			
p.32	第二庁舎の活用 現庁舎跡地の活用	追加	◇次の記載を追加 「第二庁舎（防災センター）は建物を残して、別途活用します。また、現庁舎跡地の活用方法については、中長期的な視点から総合的に検討を行っていきます。」
p.42	ゾーニング計画	追加	◇高層階のゾーニング計画の方針に次の記載を追加 「・ 来庁者が気軽に展望できる空間の確保」
第4章 新庁舎の規模の整理			
p.52	第二庁舎の活用	追加	◇次の一文を追加 「また、第二庁舎（防災センター）は建物を残して、別途活用します。」
第6章 事業手法			
p.60	CM 方式について	修正	◇以下の通り修正(太字部分) (修正前)「CM方式（コンストラクション・マネジメント方式）などの管理支援業務の 導入も視野に入れ 」 (修正後)「CM方式（コンストラクション・マネジメント方式）などの管理支援業務の 活用を企図し 」

新庁舎の整備を進めるにあたり、計画・設計から建設工事、完成後の運用の各段階において、実現可能性のある内容や念頭に置くべき内容を下記に示します。

図表 2-1 新庁舎整備に深く関連するSDGsの項目

	<p>○病気や失業などの事情での経済的な悩みに関する相談を行いやすいよう、プライバシーに配慮した窓口機能や相談機能を整備します。</p>
	<p>○食品ロス削減に向けた啓発、情報発信やフードドライブイベントなどができるスペースを整備します。</p>
	<p>○保健センター機能を再編し新庁舎での保健所機能の強化を図ります。 ○障害者や高齢者を含むすべての人が適切な福祉サービスを受けられるよう、分かりやすく利用しやすい窓口機能を整備します。</p>
	<p>○就学や学校生活における様々な相談を行いやすいよう、プライバシーに配慮した窓口機能や相談機能を整備します。 ○障害者を含めた多様な人が教育や就労に関する情報を得られるよう、相談機能や情報発信機能を充実させます。</p>
	<p>○オールジェンダートイレの整備など、性別を問わず誰もが利用しやすい環境を整備します。 ○プライバシーに配慮したブースや個室などの整備により、センシティブな相談にも対応可能な庁舎を目指します。</p>
	<p>○給排水衛生設備は、衛生的でかつ節水に配慮したものとします。 ○災害時の上下水途絶に備え、飲料水に使用可能な貯水槽を確保するとともに、トイレ洗浄水に利用する雨水槽や中水槽を整備します。</p>
	<p>○良質な建物性能および、省エネルギー技術の活用と再生可能エネルギーの導入により環境配慮型の庁舎とします。 ○良好な屋内環境の整備と消費エネルギー削減の両立を図り、ZEBの取得目標「Nearly ZEB（ニアリーゼブ）」を目指します。</p>
	<p>○機能的・効率的で職員が働きやすい執務環境を整えます。 ○将来の組織や働き方の変化に柔軟に対応可能な執務環境とします。 ○障害者を含めた多様な人が活躍できる職場環境の整備と、障害者の新たな就労機会の創出を目指します。</p>
	<p>○災害時にも行政拠点として機能を発揮できる強い庁舎を目指します。 ○柔軟性が高く、技術革新や行政ニーズの変化に対応可能な、将来にわたり長く使える庁舎を目指します。</p>
	<p>○国籍、性別、年齢や障害の有無にかかわらず、すべての来庁者や職員が不自由なく利用できるよう、ハード面とソフト面において、ユニバーサルデザインに配慮します。</p>
	<p>○自然災害のリスクに備え、高い耐震性やバックアップ機能を備えます。 ○庁舎内や敷地内に区民の憩いの場を形成します。</p>
	<p>○長寿命で可変性があり、メンテナンスのしやすい建物とし、将来にわたり長く使える庁舎とします。 ○建設時、運用時、改修時など各段階において、廃棄物量の抑制と資源循環に配慮します。</p>

<p>13 自然環境に 調和的な設計を</p> 	<p>○自然光や自然換気、建物の熱特性を考慮した建物設計と脱炭素型エネルギーの利用により、温室効果ガス排出量の削減を目指します。 ○気候変動に起因した暴風や洪水などに耐えうる、安全で強い庁舎を目指します。</p>
<p>14 廃棄物を減らし 資源を</p> 	<p>○建設時、運用時、改修時など各段階において、非分解性の廃棄物の削減に配慮します。</p>
<p>15 緑や木々を 活かそう</p> 	<p>○庁舎の建材として木材を活用し、森林資源の循環利用に貢献します。 ○建物屋上や壁面なども活用しながら敷地内に緑を配置し、周辺の緑地と一体として緑豊かな潤いのある市街地環境を形成します。</p>
<p>16 平和と安全を 守りて</p> 	<p>○公共施設としてあらゆる人にとって差別なく安全な場所となる庁舎を目指します。 ○新庁舎の整備状況について、様々な機会や手法を活用して広く情報発信に努めます。</p>
<p>17 パートナーシップで 目標を達成しよう</p> 	<p>○上記の各目標の達成に向け、区民、各分野の専門家、区職員、その他新庁舎に関わるあらゆる人と協力しながら新庁舎の整備および運用を行います。</p>

品川区新庁舎整備基本計画 要約版

答申（案）

令和4（2022）年10月



あなたの **わ!** **しながわ** と出会ってください。

 品川区

目次

1. 基本計画の位置付け	1
2. これまでの検討経緯	1
3. 現庁舎の課題から導かれた整備の必要性	2
4. 基本理念および基本方針	2
5. 導入機能の整備方針	3
1) 区民サービス	3
2) 区民協働・交流	3
3) 行政・議会	3
4) 防災	3
5) 環境	3
6) 将来変化・経済性	4
7) 共通機能	4
6. 建築計画	4
1) 建物配置計画の考え方	4
2) 動線計画の考え方	5
3) 平面計画の考え方	5
4) ゾーニング計画の考え方	6
5) 外観計画	6
7. 構造計画	7
8. 設備計画	7
9. 新庁舎の規模の整理	8
10. 事業費の算出	9
11. 事業計画	9
1) 事業手法	9
2) 事業スケジュール	10

1. 基本計画の位置付け …基本計画本編 p. 1

令和3（2021）年12月に策定した「品川区新庁舎整備基本構想」では、新庁舎整備の大枠や整備方針を示しました。基本計画では、次のステップである基本設計に進むため、基本構想を踏まえて具体化を進めた整備方針に加え、建物配置や動線、ゾーニング計画、建物性能などの施設計画を示します。また、地域経済の活性化につながる事業手法を検討し、昨今の情勢も踏まえながら、事業費や事業スケジュールの精査を行った結果をまとめています。



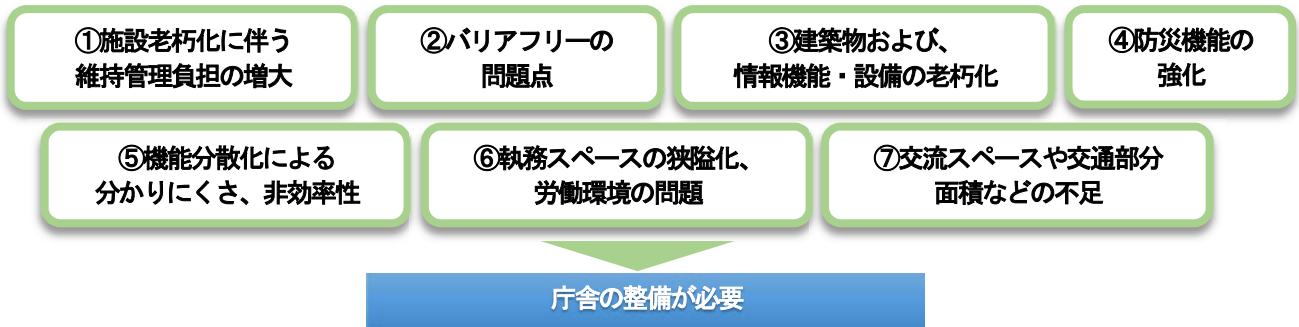
2. これまでの検討経緯 …基本計画本編 p. 2

現庁舎は築54年を経過しており、経年劣化が多く見られることから大規模な改修などが必要となり、区庁舎のあり方の検討が進められてきました。

時期	内容
平成 29 (2017) 年から	区議会行財政改革特別委員会にて新庁舎整備の方針について検討
令和元 (2019) 年度	区議会行財政改革特別委員会にて、広町敷地への庁舎移転に向けて検討を進める
令和 2 (2020) 年度	品川区庁舎機能検討委員会を開催
	「新庁舎の機能に関する事項について」 答申
令和 3 (2021) 年度	品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員会を開催
	品川区新庁舎整備基本構想・基本計画策定委員長から区長へ基本構想の答申
	「品川区新庁舎整備基本構想」 策定

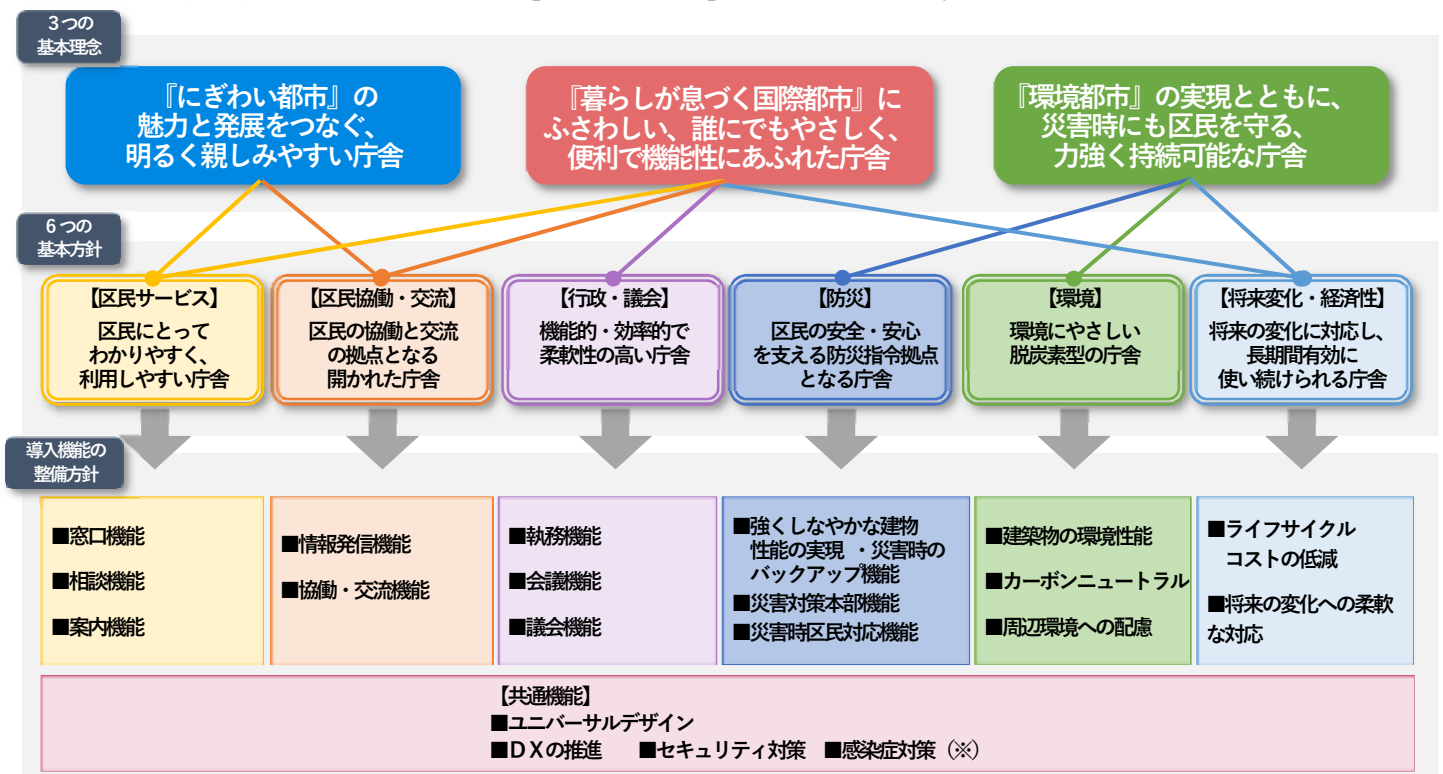
3. 現庁舎の課題から導かれた整備の必要性 …基本計画本編 p. 4

現庁舎の老朽化やバリアフリー対応、狭隘化などの課題を考えると、大規模修繕や耐震改修といった方法では、庁舎の抱える課題のすべてを解決し、区を取り巻く環境変化や多様化する行政への要望に対応することは困難であると考えられます。また維持管理費の観点からも、建て替えによる新庁舎の整備が妥当と考えました。



4. 基本理念および基本方針 …基本計画本編 p. 4

基本構想において、これまでの検討内容の整理・区民意見の集約を行い、策定委員会での検討を経て、新庁舎の「基本理念」「基本方針」を策定しました。



※ 感染症対策は基本計画段階から【共通機能】として新たに整備方針の項目として追加しました。

5. 導入機能の整備方針 …基本計画本編 p.8

基本構想時に設定した各導入機能の整備方針について、区民意見やオフィス環境調査結果、職員ワークショップの結果などを踏まえ改めて検討を行いました。

1) 区民サービス

「区民にとってわかりやすく、利用しやすい庁舎」

窓口機能：区民にとってわかりやすく利用しやすい窓口機能を目指します。

相談機能：プライバシーに配慮し、安心して相談できる環境を整備します。

案内機能：来庁者がスムーズに手続きできるわかりやすい案内機能を整備します。

2) 区民協働・交流

「区民の協働と交流の拠点となる開かれた庁舎」

情報発信機能：情報発信の拠点となる協働・交流機能を目指します。

協働・交流機能：コミュニティの中心となる協働・交流機能を目指します。

3) 行政・議会

「機能的・効率的で柔軟性の高い庁舎」

執務機能：機能的・効率的で柔軟性のある執務環境を整えます。

会議機能：多様な打合せに対応し、効率的な運用が行える会議機能を整備します。

議会機能：区民に開かれ、使いやすい議会機能の検討を進めます。

4) 防災

「区民の安全・安心を支える防災指令拠点となる庁舎」

周辺施設との連携機能：周辺の各施設と相互に補完しあいながら、防災指令拠点の強化を目指します。

耐震性・災害時のバックアップ機能：防災指令拠点として高い耐震性やライフラインのバックアップ機能を備えます。

災害対策本部機能：災害時に迅速に活動でき、各機関と連携がとれる災害対策本部機能を目指します。

災害時区民対応機能：庁舎低層部、周辺空地において災害時の活動場所を確保します。

5) 環境

「環境にやさしい脱炭素型の庁舎」

建築物の環境性能：CASBEE（キャスビー）-建築（新築）の取得目標「Sランク」を目指します。

カーボンニュートラル：費用対効果を見極めながら、ZEB（ゼブ）の取得目標「Nearly ZEB（ニアリーゼブ）」を目指します。

周辺環境への配慮：周辺環境に配慮し、豊かな潤いのある市街地環境を形成します。

6) 将来変化・経済性

「将来の変化に対応し、長期間有効に使い続けられる庁舎」

ライフサイクルコストの低減：長寿命で維持管理しやすい庁舎を目指します。

将来の変化への柔軟な対応：可変性があり、将来にわたり長く使える庁舎を目指します。

7) 共通機能

ユニバーサルデザイン：誰もがわかりやすく、利用しやすい庁舎を目指します。

DX(※)の推進：DXを推進し区民の利便性向上と業務効率化を目指します。

セキュリティ対策：利便性・効率性を向上させたセキュリティ環境を整備します。

感染症対策：感染症発生時においても臨機応変に対応できる体制を構築します。

※ デジタル・トランスフォーメーション：進化したIT技術を浸透させることで、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念。

6. 建築計画 …基本計画本編 p. 38

1) 建物配置計画の考え方

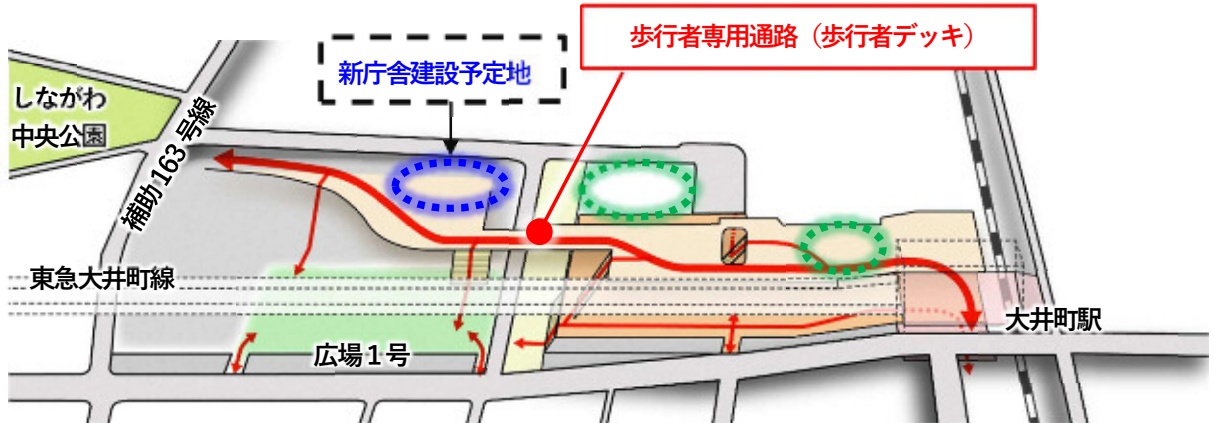
新庁舎の建設予定地である広町地区に係る都市計画やガイドラインなどを踏まえ、次のとおり建物を配置します。



2) 動線計画の考え方

敷地内には安全でゆとりある歩道空間を整備するなど、歩行者による庁舎建物へのアクセス動線を検討します。来庁者用の車両は、新庁舎地下に整備する駐車場へとスムーズにアクセスできる計画とします。

なお、災害時の公用車の出動や、物品などの搬出入を行う業務用車両や清掃車両などの動線と、来庁者の車両動線ができる限り交錯しない動線計画にします。また、バス、タクシーなどの公共交通機関と調整を行い、利用者が庁舎建物へアクセスしやすい停留所位置や待合空間の創出など、利便性の向上を検討します。



3) 平面計画の考え方

整備方針の実現に向けて望ましいコア（※1）配置を比較し、平面計画の検討を進めます。

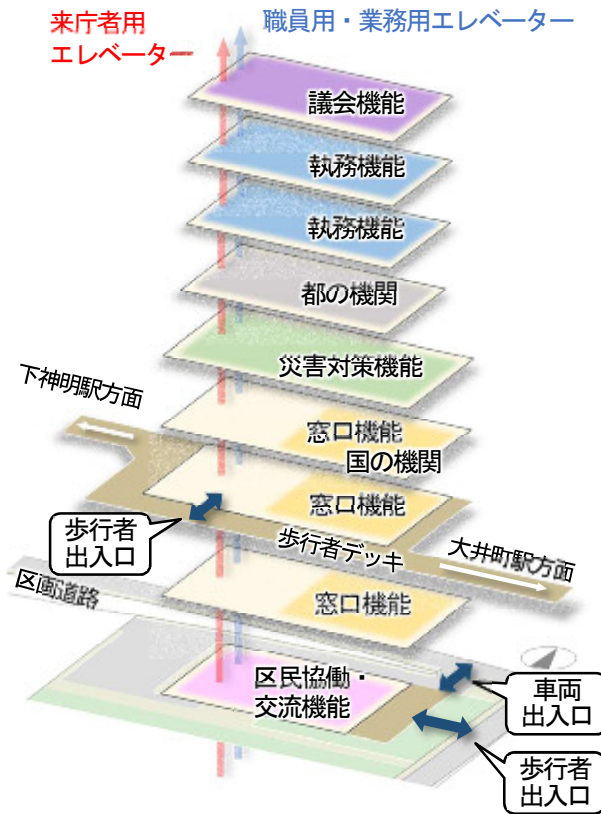
※1 廊下・階段・エレベーター・トイレ・機械室など。

配置イメージ (中高層基準階)	中央コア（センターコア）型	両端コア（ダブルコア）型	偏心コア（片コア）型
 来庁者エリア 執務エリア			
概要	<ul style="list-style-type: none"> 南北が分断し計画上の自由度が低い 来庁者と職員の動線分離はややしにくい レントブル比（※2）の高い計画にしやすい 構造的にバランスがよい 2方向避難の確保が難しい場合がある 	<ul style="list-style-type: none"> 計画上の自由度が高い 来庁者と職員の動線分離はしやすい レントブル比が低くなりやすい 構造的にバランスがよい 2方向避難を確保しやすい 	<ul style="list-style-type: none"> 計画上の自由度が高い 来庁者と職員の動線分離はややしにくい レントブル比の高い計画にしやすい 構造的に偏りがあり、配慮が必要 2方向避難の確保が難しい場合がある

※2 延床面積に占める専有部（共用部以外）の面積の割合。

4) ゾーニング計画の考え方

新庁舎の低層階は、開放的な空間とするなど、上層階よりも階高を高くします。中層や高層は、各室の大きさや快適性の観点により、適切な天井高さを確保したうえで、構造や設備計画との整合性、経済性にも配慮して階高を設定します。

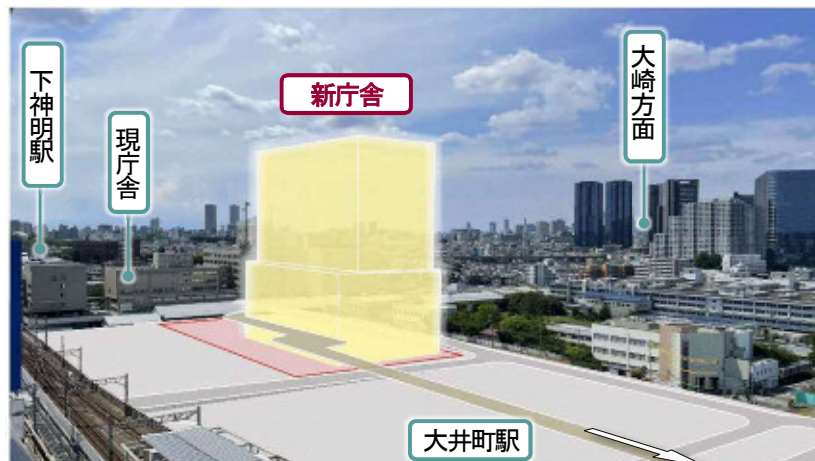


※ 建物形状、各機能配置および出入口位置などはイメージです。
 ※ 図は各階層の代表的なフロアを示したもので、実際の階数とは異なります。

ゾーニング計画の方針	
高層階	<ul style="list-style-type: none"> ・議会は、フロア単位で配置し行政機能と明確に区分 ・大空間となる議場の上に室を設けず、合理的な構造計画 ・来庁者が気軽に展望できる空間の整備
中層階	<ul style="list-style-type: none"> ・関連性の高い部署は、近接配置して連携を高め、区民や事業者対応に配慮 ・保健センターの管轄区域を再編成し、一部を新庁舎内に集約 ・来庁者対応エリアと区分けして職員用リフレッシュスペースを設け、休憩や飲食、打合せなどに利用 ・都の機関は、利用者の利便性に配慮して配置
低層階	<ul style="list-style-type: none"> ・災害対策関係諸室は、区長関係諸室と近接して配置し、連携を強化 ・会議室を集約し、災害時に本部機能を拡張 ・窓口は、集約配置して区民の利便性を高め、エスカレーターで円滑な上下移動 ・協働・交流スペースは、広場と接続しやすい位置に配置しイベント開催時などの連携を強化するとともに、災害時などは臨時対応スペースに転用 ・国の機関は、利用者の利便性に配慮して配置
地下	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場は、地下に設けることで敷地を有効利用 ・歩車分離により歩行者の安全性を確保
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・食堂やカフェなどの飲食スペースは、現庁舎の利用実態や希望調査、周辺の整備状況を踏まえ計画

5) 外観計画

新庁舎は、区のシンボルとして建設後も長きにわたり利用される建物となります。新庁舎の外観デザインは、華やかな意匠を避け、区庁舎として相応しく、シンプルで機能美が現れるものとしします。また、品川区の歴史を踏まえつつ、周辺環境などと調和した景観の形成について検討します。

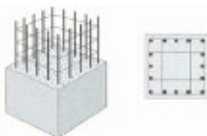
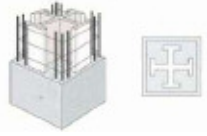
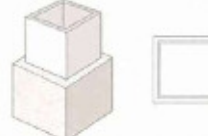



※ 建物形状は現段階でのイメージです。今後変更となります。

7. 構造計画 …基本計画本編 p. 44

新庁舎は、災害応急対策活動の中核となる施設であるため、高い耐震性を確保するため、国土交通省が定めた「官庁施設の総合耐震・対津波計画基準」の最高水準である「構造体Ⅰ類、非構造部材A類、建築設備甲類」を目標とします。

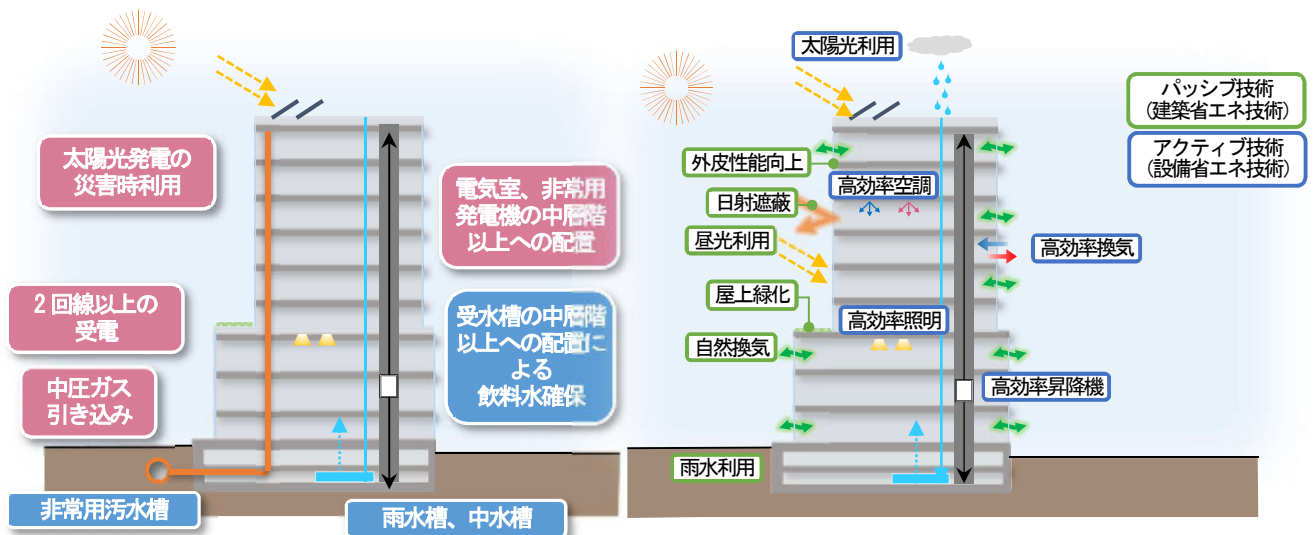
また、地盤特性に応じた適切な基礎形式の検討や、免震構造などの導入、架構形式、荷重条件に応じた合理的な上部構造計画について、建築計画や設備計画との整合を図りながら、設計時に検討を行います。

	鉄筋コンクリート造 (RC造)	鉄骨鉄筋 コンクリート造 (SRC造)	鉄骨造 (S造)	コンクリート充填鋼管 構造 (CFT造)
イメージ				
特徴	・鉄筋とコンクリートを使用した、耐震性に優れた構造	・RC造とS造を組合せ、両方の特徴を兼ね備えた構造	・鋼材を使用した、靱性（粘り強さ）に優れた構造	・鋼管の柱にコンクリートを充填した高耐力の柱の構造

8. 設備計画 …基本計画本編 p. 48

新庁舎の設備については、災害時の防災拠点機能としての対応を踏まえ、必要な設備を導入します。

また、国によるネット・ゼロ・エネルギー・ビル（ZEB）の実現に向けての長期目標や、建築環境総合性能評価システム（CASBEE）に基づく評価なども注視しつつ、費用対効果を見極めながら、環境品質に配慮した施設とします。



9. 新庁舎の規模の整理 …基本計画本編 p. 51

令和3年度に実施した現庁舎における執務環境調査の結果を踏まえ、行政・防災・議会機能の規模は、文書・物品削減量50%を目標として、約35,000㎡と算出しました。

屋内駐車場は、現庁舎駐車場と同等数以上かつ東京都駐車場条例における附置義務台数を確保することを基本に、適正規模について検討を進めます。

区の保健センター管轄区域を再編成し、その一部機能(2,000㎡)を新庁舎内に集約します。

合計面積は基本構想で示した約60,000㎡から変更せず、全体調整の中で検討していきます。また、第二庁舎(防災センター)は建物を残して別途活用します。

・現庁舎規模

区分	面積
区(本庁舎・議会棟・第三庁舎)	約18,000㎡
区(第二庁舎)	約12,000㎡
駐車場	約9,000㎡
国および都の機関(使用面積)	約7,000㎡
合計	約46,000㎡

・新庁舎建設想定規模(基本構想)

区分	面積
行政・防災・議会機能など	約37,000㎡
屋内駐車場	約11,000㎡
国および都の機関	約10,000㎡
協働・交流機能	約2,000㎡
合計	約60,000㎡

・新庁舎建設想定規模(基本計画)

区分	面積
行政・防災・議会機能など	約35,000㎡
保健所/保健センター	約2,000㎡
屋内駐車場	約11,000㎡
国および都の機関	約10,000㎡
協働・交流機能	約2,000㎡
合計	約60,000㎡

10. 事業費の算出 …基本計画本編 p. 52

概算事業費は以下の金額を見込んでいます。

なお、現時点における試算の結果として示したものです。事業費については、建設物価などの社会経済情勢の変化に留意するとともに、ライフサイクルコスト低減の観点も踏まえ、設計段階などにおいて維持管理費を含めて精査していきます。

概算事業費（税込）		
調査・設計費	約20億円以上	工事監理費含む
建設工事費	約360億円以上	60万円/㎡以上×60,000㎡（建設想定規模） ※ 単価は先行事例などより想定
外構工事費	約20億円以上	歩行者デッキなど
合計	約400億円以上	※ 物価状況や費用対効果を見極めたZEB化対応などより価格の上昇が見込まれる

※ 国および都の機関の整備費を含みます。

※ 備品更新費、移転費、現庁舎の解体工事費は含んでいません。

11. 事業計画 …基本計画本編 p. 55

1) 事業手法

新庁舎整備においては、基本構想に謳った基本理念・基本方針を具現化しつつ、区民の意向を柔軟かつきめ細やかに反映していくことが非常に重要です。その観点からは、従来方式は、設計・施工の各段階で区民や区の意見を反映しやすい手法です。設計施工一括発注方式（DB方式）およびPFI方式を採用する場合、区や区民の意向を発注前に十分整理しておくことが必要となります。

さらに、従来方式は、事業の進捗状況や情勢に合わせて段階的に発注方法を検討できるため、最も区内企業が参加しやすい方式と言えます。

よって新庁舎整備における事業手法としては「従来方式」を採用することとしつつ、一層のコスト削減を目指すこととします。

また、建築の技術的知識を持つ専門家が区の立場に立って各種マネジメントの支援を行うCM方式（コンストラクション・マネジメント方式）などの管理支援業務の活用を企図し、万全の管理体制を構築し本事業を確実に推進していきます。

従来方式	DB方式	PFI方式
区が自ら資金を調達し、設計と施工、維持管理を民間に分離発注する方式	設計と施工を一括して設計・施工企業に発注する方式	PFI法に基づき、設計・施工から維持管理までを包括的に民間事業者グループに発注する方式

	従来方式	設計施工一括発注方式（DB方式）	PFI方式
早期の事業着手・事業期間	○ (早期に事業着手できる)	○ (着手にやや時間を要する可能性が高いが、工期短縮は期待できる)	△ (着手に時間を要する可能性が高い)
区民や区の意向反映	○ (段階毎にチェック・反映できる)	△ (一括発注のため、チェック機能が働きにくい)	△ (一括発注のため、チェック機能が働きにくい)
区内経済の活性化	○ (区内企業も比較的事業に参加しやすい)	△ (区内企業は参加しにくくなる可能性がある)	△ (区内企業は参加しにくくなる可能性がある)
管理体制	○ (管理支援業務の別途発注を検討する)	○ (一括発注の中で設計者が管理支援業務を行う)	○ (一括発注の中で設計者が管理支援業務を行う)
総合評価	○	△	△

※ コストは、市場調査結果を踏まえ、3方式で大きな差は生じないものと想定。

新庁舎の事業手法には、現庁舎の課題や区民要望へ対応していくために**早期に事業着手**できることや、設計・施工の各段階で**区民や区の意向を反映**できることに加え、**区内企業が参加しやすい**ことが求められます。



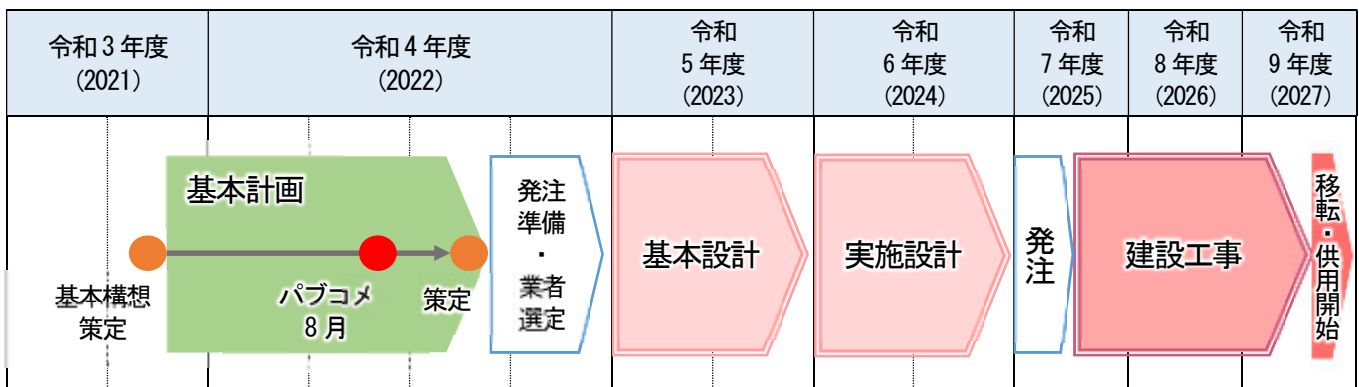
本事業においては、従来方式を採用します

2) 事業スケジュール

従来方式で事業を進めていくスケジュールは、以下のとおり想定しています。

- ・令和4（2022）年度に、基本計画を策定します。
- ・令和5（2023）年度から令和6（2024）年度にかけて基本設計・実施設計を行います。
- ・令和7（2025）年度から建設工事を開始します。

※今後、設計段階において工事期間を精査していきます。



品川区新庁舎整備基本計画 要約版 答申（案）

発行日 令和4（2022）年10月
編集・発行 品川区 総務部 新庁舎整備課 新庁舎整備担当
〒140-8715 品川区広町2-1-36
TEL：03-5742-7801
FAX：03-5742-7143
